

WE HOPE

となみ野の希望溢れる未来を追求し歩むべき道を切り拓く体现者となろう



公益社団法人となみ青年会議所
となみ野フェス2016
市民小会議

2016.9.4

@南砺市福野文化創造センターヘリオス

となみ野を真剣に考える市民約100名を **緊急招集**

まちづくりとは何か？
各ジャンルに分かれ徹底追究！

本冊子は2016年9月4日に行われた「となみ野フェス2016」内の企画『市民小会議』の内容を取りまとめたものです。「市民小会議」とは、まちづくりの根底にある市民の活動を軸に、各市民が各活動や職種、趣味や文化的活動のジャンルごとに分かれ小会議を行い、①「各分野への『希望』」②「砺波市への『希望』」③「南砺市への『希望』」を見出す企画です。

生徒会長

西村 本日は日曜日のお休みの中、となみ野フェス2016市民小会議にご参加いただきありがとうございます。私、本日の司会を務めさせていただく西村大仁郎と申します。書記を務める松本一総です。よろしくお願いいたします。それでは、みなさん自己紹介を一言つつお願いします。

西島 砺波工業生徒会の西島ふうかです。よろしくお願いいたします。

太田 南砺福光高校の太田です。よろしくお願いいたします。

田中 南砺福光高校 生徒会副会長の田中ゆうとです。

北村 砺波高校生徒会 会計の北村ゆかです。よろしくお願いいたします。

島田 砺波高校生徒会 副会長の島田もえなです。よろしくお願いいたします。

前川 南砺平高校の前川ゆうきです。よろしくお願いいたします。

山田 南砺平高校の山田みはるです。よろしくお願いいたします。

城宝 南砺福野高校生徒会の城宝です。よろしくお願いいたします。

宮田 南砺福野高校の宮田です。よろしくお願いいたします。

西村 本日の趣旨説明。生徒会の皆様に集まっていたきまして、学生の方の視点から、町がこうしたら良くなるのという意見をたくさん聞けたらと思います。

まず初めに、となみ野がこうなったらいいとか、不便に思っている事とかを話していただけたらと思います。

宮田 電車の車両数は増やしてほしい。行事の時に乗れないことがある。

城宝 となみ野の括りがあやふや。どこまでがとなみ野かわからない。どうしても福野だけになる。統一のスローガンがあればいい。また、放課後集まれるようなところがほしい。

山田 平高校はバス通勤だが、行事など集中するときにバスに乗れないことがあるので、解決してほしい。

前川 平高校は、山にあるので他の高校と触れ合える機会が少ないので、増やしてほしい。

島田 駅で自電車を良く壊されるので、駅に防犯カメラを設置してほしい。

北村 交差点に歩道が無いところがなかったり、歩道が無かったりする道があるので整備してほしい。

田中 電車の本数を増やしてほしい。電車を、待てる施設がほしい。

太田 各町の商店街が過疎化してるので、人を取り込む工夫をしてほしい。

西島 砺波工業は、冬になると車で送って貰う人が多いが、学校の前の道が渋滞してクレームになるので、学校に行けるバスの本数を増やしてほしい。

城宝 こうゆう他校の人と触れ合う機会が少ないので、機会があると良い。

西村 昔は学園祭とかあったけど、最近はどうなの？

島田 他校の人がくることはほとんどない。

西島 工業は男ばかりなので、女子が男の子を見に来ることがある。だから屋台なども出している。

宮田 他校の人を呼ぼうという発想が無い、自分たちの制作したものを展示する会。

以前他校の人を呼び込めないかという話になったが、学校的にNGになった。

島田 砺波高校は、文化部の行事という考えが強い。運動部は来ないこともある。

城宝 福野高校は、クラス単位でやっている。
砺波高校は勝ち組な気がする。立地条件も良く、周りに何でもある。

松本 学校のセールスポイントとかありますか？

宮田 学校に文化財がある。

前川 小・中合同運動会がある。

島田 立地がよい。マックもツタヤもある。運動会もクラス単位なので、先輩に気を遣わなくて良い。仲が良く、いじめなどもない。教師陣が充実している。アツイ教師が多い。

太田 のどかでのんびりしている。チームライフル部がある。先生がやさしい。
西島 工業高校なので不良が多いイメージがあるが、不良が多いわけではない。荒れているわけではない。就職率が良いので、受験勉強しなくても良い。

西村 体育祭の学校・学年対抗などをするっていうのも面白いな。交流もうまれるし。
南砺市に合併したと思うけど、どう思う？

西島 面積は大きくなったが、何も無い。南砺市のいいところを聞かれても、なかなか言えない。

太田 散居村・田んぼが良いところだと思うが、遊び施設が無くて、弱みに思う。

北村 曳山会館が出来たが、ほとんど知られていない。もっとPRするべき。商店を活性化させるべき。

前川 有名な祭りや企業が各地にあるのに、うまく発信できていない。となみ野全体でPRする方法を考えるべきではないか。

城宝 となみ野は良いよという教育を小さい頃から受けているのでわかるが、となみ野以外の人が良さに触れる機会が少ないのではないかと。砺波にはイオン・小矢部にはアウトレットが出来たので、南砺市にも何か若者が集まる施設があれば良いのでは。

宮田 富山に若者が住むにはと話し合った時に、富山市の話ばかりになった。県に対して、南砺市のことをPRすべきでないか？

西村 施設がほしいのは分かりましたが、逆にどんな施設なら集まると思いますか？

城宝 ほしい施設は、ちょっと行けばある気がする。

宮田 今までなかったものを作る必要があるのではないかと。

城宝 駅前の発展が重要なのではないかと。

松本 地元で就職したいなと思う人はどのぐらいいますか？（3割程が拳手）

宮田 大学に行ってから考える。南砺市に拘る必要はないのかな。

城宝 働くとなると、職種が限られるのではないかと。

西島 のんびり育ってきたので、都会は怖い気がする。

島田 大学は、太平洋側に行こうと思うが、戻ってこようと思う。安全で、のんびりしている。

前川 地元で出来ることが少ない気がする。

山田 地元で就職したい。都会に行っても、移動が出来ない。

北村 県外に行こうと思うが、となみ野は災害も少なく安全な所だと思う。空気も良いし健康に過ごすなら良いが、仕事や世界で活躍するなら太平洋側に行かないといけないとおもう。

城宝 研修旅行はどこに行きましたか？

東京が多いと思うんですけど2、3日は良いけど、戻ってきたら、空気うまい・水うまいを感じて住むにはとなみ野は良いと思う。無理に都会化する必要はないのではないかと。でも、最低限のものは必要。

城宝 電車をいじることは難しいのかな？

西村 利用頻度が多い時間を増やすことは出来るのではないかと。その為には、要望をし続ける必要があるのではないかと。

城宝 電車がいじれないのなら、バスをいじったらどうか？どんなバスがあるのか、また乗り方が分かりにくい。

島田 砺波のバスは、使いやすい。

西村 通学の時間に合わせたバスを走らせることで解決できるのではないかと。そういう声を市に届けたい。

交通の便が学生さんには大切。また、駅前に時間を潰せる場所があれば良いと思う。図書館を駅前に作るとか。空き家を市が借り上げて、勉強スペースとして開放するなど。学生さんが生徒会などで市への要望などをまとめて提出してはどうか？

城宝 ネットだと言える人もいると思うのでSNSを活用して届けたいのでは？

西村 声を届ける場を多く作ることが出来れば、良いと思う。

城宝 こんな授業をしてほしいとがありますか？

他の街が再生したという成功事例などを聞ける授業があると良いと思う。

宮田 福野高校は勉強しろという授業ばかりなので、工業のように企業の人に来てもらって話を聞く機会があればいいと思う。

西村 となみ青年会議所は、会社経営をしている人も多いし、そんな授業をしてあげること出来ると思う。また、例会で講演会も行っているので、学生さんにももっとアピールできればいいと思う。

松本 ちなみに、今日、橋本徹の講演会があるんだけど知っている人はいますか？（2人のみ）

もっと告知できていると思っていました。

西村 終了の時間が来たので、これで終了します。ありがとうございました。



サブカルチャー

石崎 本日はお休みの中、となみのフェス2016市民小会議に参加頂きありがとうございます。司会を務めます石崎です。宜しくお願いします。

それでは皆さん、自己紹介をお願いします。私は南砺市福光で建設業を行っております。まだまだ未熟者ですが宜しくお願いします。

高橋 高橋です。南砺市職員です。もともとは東京の武蔵野市職員ですが、人事交流でこちらに来ております。職場の方はアニメのボロモーション関係の仕事をしております。

岩井 南砺市五箇山で五箇山和紙を作っています。七年前までは東京でアニメ関係の仕事をしておりました。

石崎 ありがとうございます。今回の市民小会議ではサブカルチャーと題しまして皆様の視点からこのとなみ野への要望や問題点等様々な意見を聞きたいと思っておりますので宜しくお願い致します。今回議論した結果をまとめてフェス終了後公開致しますのでご了承ください。

石崎 それでは始めさせていただきます。サブカルチャーと言ってもジャンルが広いですが昔NHKでMAGNETという番組がありまして、Mは漫画のM、AはアニメのA、GはゲームのG、NETはインターネットということです。

私はオタクなのでしっかりと観ていた記憶があります。皆さんはアニメに関わっていたということから自身楽しみにそして詳しいところまで聞きたいと思っておりますので今日はそれについて議論しようと思えます宜しくお願いします。

石崎 となみ野に対してMAGNETについて要望は？

岩井 昔は酷くて、テレビ朝日やテレビ東京のアニメを見なかった。レンタルビデオもなかった。

石崎 そうですね。アニメ過疎地でしたね。

高橋 東京と大阪に行ったとき、聖闘士星矢のベガスファンタジーが放映されてなくてわからなかった。ど真ん中の世代のはずなのにわからなかった。

石崎 PAWORKSのTRUB TEARSから近年アニメの流れが始まったと思います。

高橋 クロムクロがその枠でやっていた？

石崎 その枠でやっていました。自分も今の仕事に就く前は東京でアニメが沢山見れて天国だった。深夜アニメを見て寝不足で翌日出勤するのが当たり前でした。

岩井 最近はニコニコ動画もあるし、非常に豊かになった。何処でも簡単に見れる環境になりました。

高橋 そういうことは小さなこともかもしれないが大事。南砺市でPAWORKSに委託して恋旅という事業をやっている、市民に認知してもらおう為、地域で端末を置かせてもらうなどした。知らない人(特に年配の人)に説明するのが大変でした。自分たちの世代のように小さい時からそういったものに触られることは大事なことだと思います。

石崎 年配の方に理解されにくい所はありますね。

岩井 同年代で飲み会をしてもアニメの話をしたりすることもあります。

石崎 本当ですか？僕が恵まれていないだけなのかな。

岩井 子供の頃からジャンプで育った。こち亀がちょうど二百巻終わる。秋元さんはもう連載を辞めたいのだろう。

大学の友達が漫画家のアシスタントをしていて、美味しんぼの作画の人のアシスタントをやっていたが、「先生はもうやらない」と言っていた。

高橋 世代交代の意味もあるんですかね。

石崎 そういうことからすると、鳥山明はうまいタイミングで筆を置いたなと思う。終わった後にちよこちよこ書いて儲けている。

高橋 ドラクエとかね。またドラゴンボール始まったんですね。

岩井 監修で参加しているだけでも、ドラゴンボールの名前だけでお金は入ってくるでしょうね。

石崎 南砺市で恋旅が発信されていますが、次は何か考えているのでしょうか。

高橋 そこが難しいところで悩んでいます。従来のアニメファンを大事にしていくのいいのか、ライトファンを拡大していく政策を取るのか。私個人では前者を大事に考えています。アニメファンの発信力は強いので、そこからファミリー層に向けて広げていくことをPAさんと日々模索しています。いろいろなイベント出展を含め恋旅のコンテンツを深めていきたいです。

石崎 アニメファンの立場からすると、恋旅はちよこちよこでも続けないか心配してしまふ。せめて一年に一回とか新しいシニアアニメとかあれば嬉しい。かといってファミリー層になるとやはり難しいのかも。

高橋 先日アニメ教室をした。恋旅の三つあるストーリーの内、前編だけを放映しました。親子連れにはちょっと合わないかなと感じました。基本的に恋話なので、子どもには刺激が強い。

石崎 中学生向きですよ。過去のストーリーを描くと小さい子供向けの物があればいいですよ。アニメファンからしても、語られていない部分というところが非常に興味をそそるんです。

岩井 そういった面では恋旅は掘り下げて作られているんですか？

高橋 そうですね。

あおいちゃんとはるきくんは元々幼なじみで、元々つかず離れずの関係だったけど、高校生になって意識し始めるという設定。キャラクター自体は深く設定されています。

岩井 サブカルだけでも嫌という人にとっては、オタク寄りすぎるもの(例: 岐阜かどこかの農林という女性やセクシーな海女さんなど)などはNGですか。かといって浅すぎるとオタクに受けない。

石崎 自分はよくコミケに行くんですが、アニメキャラの袋を持って電車に乗ると拒否反応を示すものもある。ちょうど持ってきているんですよ。

高橋・岩井 いいですねー。(笑)

石崎 これはそんなに刺激がないやつですが、もっと刺激のあるやつなんかも持っています。堂々とこれを持って電車に乗るので結構叩かれるんです。

岩井 嫌いな人は嫌いですからねー。

コミケの中でも刺激の多さを好むサークルもありますからね。結構叩かれるでしょうね。自己防衛をしないと。

石崎 自分はリュックに入るくらいの物を持ち帰っています。たまに馬鹿でかい袋の時はちよっと困ります。

高橋 アニメ自体よりは、女性キャラの露出が多いことが問題視されているのではないかなと思う。

石崎 恋旅は健全ですよ。

高橋 ワンピースが好きで東京で麦わらストアに行ったりするんですが、そのキャラが大きく紙袋に書かれていても世間から白い目で見られることはない。

石崎 国民的漫画ですからね。認知度がたかいというか。

岩井 ワンピースのプリントTシャツだと問題にならないが、露出の高い女性キャラの服だと白い目で見られる。理解のある自分でもさすがにそれは引く。

石崎 見苦しい物をお見せしてみませんでした。

石崎 恋旅はコミケには出ていない？

高橋 コミケには出ていませんが、十月にある、ぼんぼり祭り湯涌温泉でPA主催で行っている。

そこで恋旅のブースを展開しています。PAのファンの方が沢山いる。

しかし恋旅のことを知らない人が多くいました。



高橋 継続して出展していくことが大事だと思います。その他に埼玉のアニメ祭り、吉祥寺でのイベントに出展予定。知名度を上げていきたい。

石崎 自治体では鳥取県も漫画で出店しています。南砺市もやればいい。うちわとタオルを配布していたが、普通のコミケで配布するものとは違ってずれているような気もしました。

岩井 P A W A O K Sとしても企業単位でコミケに出ているのですか。

石崎 出てますが、新作をPRするので、恋旅は後回しになりがち。

岩井 ほとんど新しい物を売っていかないといけませんもんね。

私は和紙を作っているが、2年ほど前にP A W O K Sから銀閣金閣というアニメで販売するから和紙人形で作って欲しいという依頼がありました。舞台が京都ということと京都販売すること。結構地元のものを使った作品が多いのだと感じた。

石崎 それは知りませんでした。地元の物を使ってくれるのはありがたいですね。

高橋 恋旅のグッズでも和紙に絵が描いてあるものがありますね。

岩井 それは私が作っているんです。

石崎 それは意外な展開ですね。

岩井 相倉の和紙漉き体験館においておくと結構売れるという話ということ。

モンスタースインクの監督が来場してサインしていた。マクロスの河森正治監督が五箇山の出身らしく、うちの組合長と同級生で河森さんのサインが入っている。

高橋・石崎 へえ。そうなんです。

石崎 富山県出身のアニメ関連の方は意外と多いですよ。高岡のあみたん娘の作画家も富山県出身だということ。ゆるゆりの漫画家さんも富山県出身だということだった。探せばまだまだ多いそうですね。

岩井 藤子不二雄の出身地であるし。

石崎 ファンの方も五箇山に来られるものなのか。

岩井 城端を舞台にしたT R U B T E A R Sのために城端には来るらしいが、五箇山にはそんなにこないみたい。

白川郷には村を挙げてではないものの、地元作品の関係で一時期来ていた様子。舞台にするなら萌系の方がいいと思う。

石崎 涼宮ハルヒの憂鬱はうまくやったと思う。

この学校がモデル校だということで、入学者も増えたと言いました。

僕は福光出身なんですけど福光高校存続危機とかで書いてくればいいのと思います。

高橋 高垣彩陽さんという声優さんが砺波でコンサートに出てもらったが、結構それよかったようです。砺波文化会館の他、じょうはな座でも行った。

石崎 声優さんいいですね。声優についてくるファンがいる。

高橋 昔は、声優はそんなに露出しなかったが露出する時代になったと思う。

野沢雅子さんが悟空の声をしたりとか。今の声優さんは昔と違ってアイドルみたい。

高橋 昔は露出しなないミスティアスな感じが良かった。

岩井 今ではライブを行ったりとすごいですよね。ルックスも売り出すために重要らしいですよ。

高橋 僕ヒーデルの声が好きです。

石崎 僕も同じです。子供の頃、あの声に恋してました。

高橋 声優さんが露出しないうところがいい。

石崎 あります。あります。
今はルックス重視でのファンも多いと思います。

石崎 自治体でアイドルを呼んで人を集めるのもありですね。

高橋 今年2月に声優さん1名に来てもらったトークイベントがあったが結構人が来た。

石崎 本当に好きなら、全国どこからでも来る。経済効果にもつながる。

高橋 結構来られたファンは観光名所を回って宿泊もして帰られるので経済効果は大きい。

石崎 オタクは好きなことならかなりお金を使うのでバカにできない。好きなイベントがあれば東京にでも行く。

そこは南砺市にお金落としてくださいよ！
一人突っ込みでした。

石崎 和紙を作っていらっしやいますが、アニメとのコラボはされていますか？

岩井 和紙にアニメを書くことはあまりしていない。他ではやってるようではあるが、著作権の問題もあるので持ちかけられた話に乗る程度。趣味でやる程度ではいいけど、オリジナルでやるのは難しい。恋旅のグッズは作っています。

石崎 色紙に萌えキャラを印刷するだけでも結構売れると思います。

高橋 アニメは権利関係が非常に難しいという面があります。いろいろなところが作成に関わっているため、権利関係の処理が非常に難しいので大変です。

岩井 たとえば和紙にガンダム印刷して売ったら問題だ。あまり著作権の法務部まで持ってる会社はないがサンライズは内部にちゃんと持っていて、厳しい。
むかし170メートル位の大きさのザクを無許可で販売しようとしたら破棄してくださいと言ったらしい。

高橋 展示もダメなんですか？

岩井 原寸大のスクーブドッグを鉄で作成したものについてはネットに公開するだけだったので特例で認めた事案があったが、金銭を伴うものはダメということだった。

石崎 本日は参加人数が少ないにも関わらず、大変盛り上がった良い小会議となりました。
南砺市の取り組みなど知ることができ、大変ためになりました。恋旅のさらなる発展を願います。

それでは、時間となりましたので市民小会議を終了させていただきます。短い時間ではありましたが、ありがとうございました。

本当に好きなら、全国どこからでも来る！



ラグビー

野村 本日はご多用の中、お越しいただき有難うございます。ラグビーについての皆さんのご意見や要望を出していこうという会議なのですが、堅苦しくならず、皆さんでざっくばらんに意見を出しければと思っております。

私は本日の司会を務めます野村昌浩と申します。ラグビーは経験ありませんが、スポーツを通じて良い体験をさせていただいておりますので、皆さんからの要望などを聞かせいただければと思います。よろしく願います。

水野 本日は司会のサポートをさせていただきます。水野哲平と申します。よろしく願います。

野村 皆さんから一言、自己紹介をお願いします。

菊池 理事長をさせていただいております。菊池と申します。出身は井口です。よろしく願います。

白井 副理事と普及部長をしております。白井です。よろしく願います。

森河 普及部の森河です。よろしく願います。

穴田 社会人クラブのとなみクラブの代表をしております。穴田と申します。よろしく願います。

大谷 砺波高校ラグビー部の顧問をしております。大谷申します。よろしく願います。

野村 ラグビーについての皆さんの意見や要望を出していただきたいと思います。まず、ラグビー人口は多いのですか？

白井 少ないのでそこが一番問題点かと思えます。まず知名度がいまだに低いと感じます。昨年のワールドカップを期に知名度も上がってきたと思うので、小学校などでは安全なラグビーを取り入れて頂き、催しなどできたら良いと思っています。そして、指導者も発見していきたいと思っています。

野村 ラグビーはどうしても格闘技といったように思えてしまうのですが、安全なラグビーとはどういったものなのでしょうか？

大谷 ぶつかることを排除したボールゲームです。タックルは禁止で、ボールを持ち、相手をかわしてパスをするといった感じになります。小学校では全国的にも普及し始めていて、ラグビーをこれからもちと広めようとなってきた中、協会としても活動を進めています。しかしながら、子供が少ないですね。

野村 ラグビーに興味のある子供が少ないということですか？

大谷 それもあるのですが、砺波地区全体で子供が減ってきていることもあり。現在、少年団含めて各競技団体で討論組合をしている状態で、協会としても是非ラグビーをやってもらいたいのですが、やはり子供たちは野球やサッカーといったスポーツがあるので、どうしても馴染みにくい競技ではあるのかなといった感じですね。

野村 ラグビーに興味を持った子供たちにとって、例えば少年団のような機関というものはあるのでしょうか？

大谷 ラグビー少年団はあるのですが、砺波市内に一つしかありません。活動場所が無いことも問題です。小矢部などではあるようなのですが。

野村 やはり遠くになると送り迎えということもありますね。そうなる親御さんの考えなどもあり、子供たちが興味を持って、近くにあるサッカーや野球を勧めたりなど、なかなか難しいところがありますね。

福光では、わんぱく相撲といった相撲指導教室もあるのですが、そちらでの話しによりますと、相撲も知名度は低く同じ悩みがありますが、年に一度わんぱく相撲大会というものを行っています。大会を開くことによって人を集め、相撲をする機会をつくることで、広められるのではないかと仰っておりました。ラグビーでも、大会ではなくとも、ゲーム感覚のレクリエーションに近い感じで、そういった催しのようなものはないのでしょうか？

大谷 全国大会があります。年に一度、富山県大会があり、勝ち上がると全国大会へ繋がるという感じです。あとは、各学校単位でチームを作っていたり、県予選へ行くという流れが来てほしいのですが。学校側からは、ラグビーは経験が無く、教え方がわからないという意見があります。まずは簡単に楽しく始められることを知っていたら、近いうちに砺波地区から県予選チームができたらいなと思っています。現在、ラグビー少年団というものが他市にはありませんか？

白井 魚津にあります。魚津では体育授業でラグビーを取り入れることもあり、ラグビーに携わっていない人も試合に出たりしています。なので、こちらでも授業で取り入れていただき、盛り上げれば、活動していく中でチームを作り、大会に出ようといった流れができることを期待しております。

野村 でしたら、小学校単位でクラスの仲のいい子供が集まり、チームを作って出られるようなものがあればよいと思います。継続的にその中で一人、二人とラグビーを始める子ができたなら、ラグビー人口も増えていくのではないのでしょうか。

大谷 子供の人口が減ってきている中、人数を確保できないという問題もあります。野球やバスケットボールでも、なかなか人を集められないことがあります。

学校の少年団に入ると、普通はその入った種目を三年間続けなければいけないと思います。しかし、例えば夏と冬や、前期と後期で種目を別け、前期の活動を続けることも出来るし、変えることも出来るような方法など、色々な少年団に参加出来るような仕組み作りもしていく必要があるのではないかと思います。そのようなことが提案出来るのであれば、子供たちも様々な競技に触れることができ、様々な経験や、新たな可能性も出てくるのではないかと思います。私たちも、半期だけでもラグビーを体験していただきたいという想いがあります。

野村 南砺市の小学校や、砺波市の小学校には既におおかた働きかけておられますか？

大谷 いえ、昨年から動き始めたので、まだ南砺で2校、砺波も2校ですね。

野村 その中で興味をもった子供はどうしたらよいのでしょうか？

大谷 現時点では、砺波市にラグビー少年団がありますが、まずは体育の授業で取り上げていただきたいと思っています。

白井 知ってもらうことも大事なのです。体育の授業でラグビーを取り上げていただいて、そこからスポーツ少年団につながると思うので、まずはアピールですね。

野村 そうですね。野球でも人数が少なく、4〜5人程度みたいです。子供が少ないこともそうだし、あとは親の負担が非常に大きいことでした。送り迎えや、他にも怪我をする危険性など、スポーツが好きなき子でも親がシャットアウトしてしまい、スポーツをやりたいくても出来ないといった環境になることもあるそうです。そういった要因も一つあるのではないかと思います。

最近までは、テレビに野球もラグビーも取り上げられなかったりしていましたよね。しかし、ラグビーは昨年のオリンピックの7人制ラグビーがあったことにより、話題になり盛り上がりました。そのように盛り上げられ、ラグビーのことを知らない人でも、メディアに取り上げられ、少しは関心が出てきたりするのはいいでしょうか。それが更に相乗効果となり、学校の授業にも取り上げられる事につながっていくとよいですね。親御さんの問題については、何か手助けといいますが、そういったものがあれば、状況が変わると思うのですが。

大谷 小学校だけではなく、中学校でも少子化で部活動などが小規模になりつつあります。例えば、どこかの学校の男子バレー部が無くなったとか。小学校には少年団がありますが、中学校は学校単位になります。なので、例えばサッカーがしたいと思えば、どの地域に居てもサッカーが出来る環境があることが望ましい。しかし、進学した中学校ではサッカーが出来ないということがあります。このような現状が、すごく面白くないと思います。学校単位で部活動をつくり、競い合うという時代ではなくなってきたのではないかと思います。このような問題から、中学校の部活動の在り方も見直しているかなければいけないと思います。

例えば、小矢部市のホツケーでは、3〜4校が各校ぎりぎりの人数の中、時には組んでプレイをしています。そうするのであれば、小矢部市で選抜チームを作ることで、より強いチームを作れますし、小矢部市の5〜6人のチームが別々で活動するより、皆で集まって二十人で練習をしたほうがずっと良いと思います。同じことが少年団にも言えます。4年生だけで練習するより、例えば南砺市広域で上手な子供たちや、4〜5年生で集まることにより、全体で二十人程になれば、ちゃんとした指導を受けられるのではないかと感じます。学校単位の合併なども増えているので、そうなるとスクールバスで送迎ということも出来ないことはないのではないのでしょうか。スクールバスなどをうまく活用して、広域でスポーツのまとまりや、括りを作っていくという時代になってきているのだと思います。中学校ではほとんど広域での活動を行っています。小矢部市のホツケーに関しては、石動中学にしかありません。ですから、ほかの学校からも週に1回くらいはスクールバスでそこに集まって、一緒に練習をする。例えばそのかわり、大谷中学校ではサッカーをする。石動中学にもサッカーはあるのですが、大谷中学校で集まって皆でサッカーをする。そうすることで、指導者も少ない人数で済みます。もしくは、大谷中学校や石動中学校で指導していた方たち両方の指導を受けれることになります。

ソフトボールでもダイヤモンドキッズというソフトボールチームがありますが、すごく強いんです。そちらは、砺波市を拠点にしていますが、実は呉西地区広域のジュニアスポーツクラブなのです。高岡からも、射水からも子供が来ていますし、もちろん砺波地区からも南砺地区からも来ています。この少子化の時代、単独で地区での活動は厳しいのではないのでしょうか。スポーツ形式の枠組みを変えていかなければならないと思いますし、そうではないとデメリットばかりが増えてくるのではないかと感じます。小学校だけでなく、中学校くらいまでは広域でやっていけばいいのではないかと思います。

白井 砺波市で強いチームがあったら、高岡市の方が砺波市に住所を変更して、学校へ通っているという例も実際にありますからね。そう思えるほどに魅力のあるチームがあれば自然に人が集まる。

ルールの中に、この市に住んでいなければ、この学校に入っていないといけないという決まりがある。そういった枠組みが無くなっていけば、自由にスポーツができ、より良い環境になっていくのではないかと思います。

大谷 富山市では自分で選ぶことができます。

白井 今の話でいえば、庄西中学校の新体操では、高岡市の子が新体操をしたいため、砺波市にある親戚の家に住所を変更して通っていますね。

大谷 そうすることで指導者の負担も減らすことができます。

野村 例えば運動が得意ではない子や、文化部系に興味がある子にとっては、中学校で運動ばかりの部活動だとかわいそうですよ。運動が得意な子ばかりだというのは、そのような問題にも、何か受け皿のようなものがあればいいですよ。

大谷 文化部の中でも吹奏楽が難しいですね。吹奏楽は人数も必要ですし、専門の指導者も必要です。また、吹奏楽は指導者にも専門の知識が必要となりますよね。本当に吹奏楽がやりたいと思っている子には難しい環境ですよ。

白井 本気でやりたいと思っている子にとっては、実力を伸ばす受け皿があれば、どんどん伸びていくという可能性がります。しかし、小さいところで活動しては、結局才能があっても伸びづらいということはあると思うのです。

野村 指導に恵まれなかったら、どんなに機会があっても伸びることは難しいということですね。先ほどから聞いていて水野さんは何か感じましたか？

水野 私は出身が小矢部で、実はホツケーをやっていました。それがもう何十年も昔の話ですけど、その時はまだ子供の数もいたもので、私の中学校にもひと学年に十人くらいはホツケーをしている子がいました。中学校のホツケーの必要人数は6人ですから、人数も足りていましたし、ほかの中学校もだいたいこのような様子で、人数に困るということをしなかったことはあります。しかし最近では、人が少なくなり、先ほど言われたような合同になってチーム作ったり、なんとかして全国大会にいったりしているという話も聞いております。

そう考えると、先ほどの部活動の在り方とか、その辺を本当に考えていかなければいけない所にまで来ていると感じました。



野村 部活の在り方はおっしゃるとおり、もうぎりぎりかもしれないですね。

白井 特にラグビーは十五人必要ですからね。一番人数を必要とするスポーツで、十五人の人を集めるとなると逆にチームとしては三十人近く集めなければいけないということになりますね。

野村 それだけないと練習とか、練習試合とかいろいろなことが出来ないということですね。

大谷 ラグビーといえば僕らの時から人数は少なかったですね。厳しい監督でしたから、皆辞めていきましたよ。入部したときは十六人でしたが、秋には8人になっていました。

白井 スクールウォーズによって一時的なラグビーブームがあったのですが、私たちの時は六十人いましたね。

野村 六十人も。それはいつのときですか？

白井 高校の時です。砺波工業高校だったのですが、学年ごとに二十、二十、二十といましたね。

大谷 多いですね。話は戻るのですが、小矢部のホッケーでは地域のクラブチームにクラブの頂点があつて、中学校でも高校でもホッケーがあつて、ピラミッド構造というものがあつたよ。小矢部市はホッケーの会場もあるので、スクールバスを循環して週に3日でもそこに中学生が集まってくる、中学生が終われば高校生も来る。そこに社会人も参加してというような枠組みを作れば、ホッケーは形になると思います。同じことが砺波市や南砺市でも考えたときに、もうひとつがコアになる活動場所の確保が必要になります。拠点づくりです。グラウジーズとかサンダーバースとかありますけど、ホームグラウンドがあると違うところがあると思います。そこで南砺や砺波で考えたときに少ないのが、グラウンドですよ。人工芝は呉西地区にはひとつもないです。

野村 庄川沿いの西部体育館のあるところはどうか？

大谷 あそこは天然芝ですね。

白井 場所は綺麗ですよ。ただ、そこはソフトボールも使用していますので、結果取り合いになったりしますよ。ましてや、ゲートボールもあります。そういった専門的な場所の確保も私たちとしては、要望としてあります。結局ばらばらで作るよりもお金を抑えて先ほどのように小矢部にはホッケー場、南砺市にはまた違うサッカー場などを作ればよいのではないかと思います。

大谷 呉東の方には大会を開くことができるような人工芝があるのですが、呉西には高岡市を含め、ひとつもないです。ですから活動の拠点が呉西には無いのです。

野村 でしたら、やるとしたらサッカーのグラウンドなどで練習しているということですか？

大谷 そうです。

野村 本試合はどこでしているのですか？

大谷 スポーツコアのサッカー場です。冬場は仕方ないのですが。

白井 小中学校からは屋根付きが欲しいと言われていますね。そして子供たちの安全面などを考えるとやはり芝、もしくは人工芝が望ましいということから、今は芝生の取り合いとかもありますね。

野村 そうですね、すべりこんだりしますから。昔は小学校のグラウンドで週2回やっていましたが、今はそんな感覚ではないということですかね。

大谷 グラウンドですと危ないので理想的ではありません。県内で春先四月、初期大会がありますが、芝クロスなのです。ようは、春先は根も緩くなっている、芝が傷んでしまうので芝クロスなのです。また、五月の大会に関しては、呉東の人工芝があるところもサッカーやラグビーを一応やれるのですが、公式戦のレベルではない。練習にはなるのですが。

野村 ラグビーに関しては、富山県は遅れている部分があるということでしょうか。ほかの地域でも取り組みとかそういう格差というものは大きいものですか？例えば魚津の方はもう少しいいとか、他の北信越のほうがいいとか。何かこのあたりで取り入れられそうな取り組みなどはありますか？

白井 まずは小学校の体育で取り上げてもらって、面白みを分かってもらうことです。

野村 まあ今、色々な種目で問題点というものがあると思いますよ。

大谷 やりたいことをできる環境づくりというものが現代にはないですね。みんなで集まって活動するということがない。皆で集まって活動する場所があつて、更に、上を目指したいと思つた子にとつても違う環境があり、そして、色々なスポーツを楽しむといった環境もあつてほしいです。やはりたくさんの子が集まってくる、大きなチームを作り、その中から更にエリートクラスがあつて、エンジンイクラがあつてといった感じです。双方どちらも楽しめるような環境が理想です。皆がハッピーになれる。そういう枠組みを作りたい。強くなりたいと思う人がいても、強くできる指導者がいない。そうではなく、広域で大勢が集まれば凄くいい試合も出来ると思います。

最後は大会になりますが、中学校なら地区大会の地区戦、県戦、そして最後は全中。サッカーの場合は県体でリーグ戦があつて、高校でしたらインターハイ、全国高校サッカー選手権があります。しかし、地区や県では中学校は中体連、高校は高体連しかないですよ。広域では普通の練習などはいけるのですが、そのゴールはどこだということについては、まだ見えていません。そうすると、大きいくりで中学や高校の全国活動、学校単位とはまた違う枠組みでの取り組みが必要になってくるのではないかと思います。

しかし、なかなかいけない全国をまわつてもしょうがないので、広域ですることができればいいですね。例えば地区選のような、そのようなゴールを作りたいと思います。私たちのように競技場の少ない県では、そのような方法もとれるのではないかと思います。そのような方法を考えていけば、いい時代になっていくのではないかと考えています。

野村 指導者の方というのは学校の先生もおられると思うのですが、そうではなくて普通に仕事しておられる方が、夜は指導者として活動されるほうがどちらかといえばいいと思います。スポーツ少年団は保護者で仕事を終えられた方が夜だけ指導されるという仕組みになっていきます。土日だけとか。基本的に少年団はクラブチームではないので、報酬はないです。ラグビー協会さんも基本的にそのような集まりなのではないでしょうか。

大谷 そうですね。ボランティアです。

野村 そうですね。ラグビーが好きで取り組んでおられると。そういったところにバックアップは必要だと思います。先ほどのスクールバスの話ではないですけど、大きなバスとかじゃなくても何か移動を支援するような仕組みでしたりとか。学校と連携するようなものがあれば普及するかもしれないですね。

大谷 そうですね。ラグビーは実は結構単純ですよ。ボールを持って走ればいい。ぶつかりはありますが。例えば、バスケットボールでは五人優秀な子がいると、あとは皆応援団のような試合に出られない子がたくさんいます。野球にしても打てなければ話にならないです。ずっと在籍しているのだけ、脚光を浴びていない子供たちがいます。そんな子にこそ、ボールを持っているだけなのでやってもらいたいと思います。ラグビーはそんなに難しいルールはないですよ。

白井 体の大きい子はぶつかっていいですし、足の速い子は逃げていいじゃないですかね。

野村 そうですね、ラグビーは難しいという先入観ですね。

白井 砺波市には高校ラグビーがあつて、砺波の人には知識は少しあると思うのです。

大谷 多少ですか？

白井 多少です。しかし昔はそのようなクラブが無かったので、携わることが無かったです。ですから、福光とか城端の方なんかは分かっています。たまたま広告とかが入り、やってみようという方もおられました。少数でした。知らない部分を小学校でのスポーツ授業として取り入れて頂いて、それがアピールになってほしいと思います。

野村 そうですね。ところで、ラグビーは結構上下関係など厳しいのですか？

白井 まあ、どこのスポーツも厳しいですよ。しかし最近は緩くなってきて、まだだいぶ良くなってきたのではないかと思います。

大谷 今は上下関係というものは昔ほど厳しくないのかなといった印象です。

大谷 私たちラグビーだけではないですけど、先ほども言ったように、学校単位で競い合うといった感じではなくて、広域で子供たちのそういったところやスポーツ環境を整えていきたいですね。

例えば剣道、柔道、サッカー、野球をやっている子にも、たまに僕らの所に来てラグビーをしてみたい。僕はラグビーチームをしているが、あなたはやはり野球が向いているとアドバイスすることもできる。いろいろな可能性を知ることや、自分の力を活かせることが子供にとっても一番いいことだと思います。ラグビーに限らず、その子にとって一番いい環境で、一番いい選択ができればいいと思います。

白井 そうですね。全てまとめて、チームとなみ野、みたいな感じで。

大谷 そうすれば指導者も皆集まり意見交換なども出来ますね。

野村 グラウンドの取り合いもなくなりますね。

大谷 枠組みをどういったものにしたらいいか、どうすればそれを実現できるかなど、より良い形になっていくように考えていくことが大切ですね。

白井 団体みたいなものがあればいいですね。常に応援してくれるチームや団体があることはいいことですね。

野村 ちなみに野球だと三十代、四十代でも続けられるじゃないですか、ラグビーをされている方って三十代とか四十代でもおられるのですか？

大谷 この間、オールドの試合がありましたね。

野村 年齢が高齢ということですか。

大谷 はい、歳によってパンツの色が違います。

森河 タツクルをすることはOKなのですが、上の年代では触ることもだめです。ですから年代別にはなっています。

大谷 やはり私もいくつになってもラグビーを楽しみたいと思います。高い競技レベルとなると三十代が限界かなと思いますが、その後、教えることをしてもいいと思います。あるいはオールドで年代別に分かれて試合をするにしてもいいと思います。いろんなことが出来るからラグビーは楽しいという環境を作りたいと思っています。ですがやっぱり競技場が少なくて、なかなかオールドだけで試合とかが出来ないですね。

小学生でも楽しい。中学生でも、高校になっても大人になっても歳をとっても、楽しい。そのような環境づくりを目指していきたいと思っています。

野村 なるほど。本日のお話で出たことだけが答えではないと思いますが、様々な要望や意見を出し合うことで、新しい世界観を知ることができました。本日は皆様の貴重な意見と時間をありがとうございました。

いくつになってもラグビーを楽しみたい



サバイバルゲーム

斉藤 本日は、ゲーム中わざわざ抜けてお集まりいただきましてありがとうございます。本日も進行を務めさせていただきます。斉藤です。宜しくお願いいたします。それでは名前だけでよいので、簡単に自己紹介をお願いいたします。

寺西 寺西雅典です。よろしく申し上げます。

光田 光田礼奈です。よろしく申し上げます。

田屋 田屋公一です。お願いします。

坂本 坂本竜大です。お願いします。

小八木 小八木雅文です。お願いします。

向井 向井翼です。よろしく申し上げます。

中嶋 中嶋かずきです。よろしく申し上げます。

富田 富田ひろみちです。よろしく申し上げます。

斉藤 それでは、自己紹介も終わりましたので、趣旨説明をさせていただきます。今回は小市民会議ということで、砺波広域圏の様々なジャンルから多くの方々に参加していただいています。本会議ではサバイバルゲームということで、皆さんの視点でとなみ野に対しての要望や意見、問題点などをお聞かせいただきたいと思います。時間的には、50分程度を目安にお願いしたいと思います。なお、小市民小会議で議論した内容は、となみ野フェス終了後にまとめて公開させていただきます。

それでは始めたいと思います。それでは、このサバゲーでとなみ野に対して何か問題点や、実際に活動されていて切実に感じる点などありますでしょうか。

田屋 そうやね。現状としては、僕ら自身自由に使える施設とか不動産とかがなかなか無い。これだけ過疎化が進んでいる市で休眠不動産とかがいろいろあると思うので、それに対してこちらに側も門戸を開くことができれば、自由にそういう関係も楽しむことができると思うのですが、なかなか難しいという現状ではありますね。

斉藤 現在、いくつかのフィールドを持っているのですか？

田屋 現状では、予定地を含めると4つ。砺波、小矢部、福野で活動しています。

斉藤 何か若い方のほうで場所とかこうなっているという思いってありますか？

中嶋 交通の便ですかね。もっと行きやすい場所があればうれしい。

斉藤 なるほど。会場が誰でもいける場所ですね。

中嶋 そうです。車でスツと入っていきるところや屋外だったたら道の悪いところを入っていかないといけないので、車が傷つくなどあるからです。

斉藤 それはあるかもしれませんね。他に何かありますか？

小八木 他のサバイバルゲームが活発に行われているところに比べたら、僕らの環境はサバイバルゲームできるという装備を揃えればすぐに出来るわけではなくて、まずやる場所を自分たちで探して、そしてそこに行ってやっと出来るという環境です。簡単に出来るという環境では無いので、そういった意味では不便さを感じます。あとは、県民性なのか閉鎖的な部分があって、他の地方とは違いチームそれぞれが活動していて、他のチームと交流などができるところとできないところがあるので、もっとサバイバルゲームがメジャーでオープンになっていけばもっと楽しく多くの人たちが交流がもてると思います。

斉藤 それは富山県人が閉鎖的と言われましたが、他の県はそうでは無いのですか？

小八木 そうですね。あまり多くは行ったことがないですが、富山県よりかは相手方から話しかけて交流がもてたことがあったのでそういうふうに思いました。

斉藤 県外のフィールドに行ったときに、そういう感じだったということですね。他どうですか？

寺西 場所的にサバゲーというのは特殊なスポーツであって、やっぱり付近住民のことを考えれば離れたところでもやるのが仕方ないのかなと思います。ただ、サバゲー自体が富山県で浸透してないのもあって、フィールドが整備されているのは関東の方に多く、大都市圏ばかりなので、その辺地域の格差があって参加する人たちの種類、たとえば女性とか若い方が参加しにくい環境にあるのではないかなと思います。

私の友達にもサバゲーと言っても、うまく伝わらないですね。自分の知り合いの女の子でもカラオケに行く感覚でサバゲーやったことあるっていうのが都会ではあって、日常会話の中で出ています。準備をしなくても、服などをレンタルして半日遊んで帰ってくるという感じですね。

斉藤 富山県ではそうでは無いと。

田屋 認知度が低いですね。市民権を得ていない感じがです。

寺西 サバイバルゲーム自体が「何それ？」って言われることが多いです。

富田 森の中に入って好きな人たちがやっているっていうのが、知らない人たちのイメージですね。

田屋 敷居が高いというイメージですかね。

富田 そうですね。手軽に出来るようなものではなくて、いろいろ道具が高そうですね、知識も難しそうなイメージがあります。

斉藤 そういったイメージがあるかもしれませんがね。光田さんは、始めてどのくらいでしたか？

光田 始めて2ヶ月です。

斉藤 どういった経緯で始めようと思ったのですか？

光田 最初は田屋さんにたまたま誘われてやりました。そしたら、その楽しさにはまりました。

斉藤 その時は、サバゲーするって誘われたのですか。

光田 そうですね。

斉藤 最初はぜんぜん知らないわけですよ。サバゲーって何っていう感じでしたか。

光田 そうですね。でも撃ち合いをするっていう知識くらいはありました。

斉藤 なるほど。富田君は、サバゲーって言われたらどうですか。

富田 初心者だし、やったことがないけど、小さい頃にエアガンで遊んだことを思い出す程度ですね。サバゲーっていったら、自分で興味を持ったらネットなどで検索したら出てくるけど、普通に生活していたら耳にしないのもっと言葉自体が身近になったら入りやすいかもしれませんね。

田屋 確かに迷彩服を着てエアソフトガンを持っているので物騒に見えるので、その辺は受け入れられにくいかもしれませんよね。でも、私には日本刀と竹刀、拳銃とエアソフトガンぐらいの違いがあるし、サバゲーも礼に始まり礼に終わるので礼節さを持つていないといけない。ルールを守ってやらないといけないので人を思いやる気持ちがないとできないと思うし、人間性が出ると思います。格好はすごいので傍から見ると怖いと思うけど、実際やっている人たちはルールを守って人を思いやってやっているの、意外とイメージとかけ離れてやっていると思いますよ。

富田 今回のような機会があるからいろいろな話を聞けるが、今みたいな話を聞く機会が無いのでなかなか伝わりにくいですね。

斉藤 あと、何でもいいのでこうなってほしいとか、何か思いってありますか。

寺西 チーム運営に携わらせてもらって、自分たちの力の限界や知識の限界を感じます。サバゲーを広めたいという思いは強いのですが、それをサポートしてくれる施設や組織、行政があれば、もっといろいろなものがみえるのではないかと思います。

斉藤 そうですね。交通の面などにおいてもそういったところの協力が必要ですよ。

田屋 それに駐車場も必要になってきますしね。人数が50〜60人くらいになることもあるので、これは絶対に必要になると思います。

斉藤 現在サバゲーをやっていると、近くを一般の方が通ると思うのですが、何か言われるってことはあるのですか。

田屋 それは意外とないですね。大抵話を掛けてくる方は、撃ちたい人だと思います。

寺西 一度、動画で場所を特定して来られた方もいましたよ。

斉藤 富山県のサバゲー人口はどれほどなのですか。

田屋 だいたい3千人〜4千人くらいの規模ですね。日本全国でも30万人〜40万人くらいですね。錦鯉の愛好家と同じくらいの人数です。

斉藤 その中で女性の割合ってどれくらいなのですか。

田屋 うちのチームは、だいたい2割くらいが女性です。これは、多いほうだと思います。

斉藤 光田さん、女性のチームを作りたいという思いはありますか。

光田 そういうのはないですね。ただ純粹にサバゲーが楽しければ関係ないですね。

斉藤 なるほど。あとは何かありますか。

寺西 玉の問題もありますね。自分たちは土にかえるから大丈夫ですと言っているにもかかわらず人には大丈夫なのかと言われますね。富山県の場合は、特に田んぼが多いので、田んぼの真ん中に場所を設けるのは難しいかもしれませんね。

田屋 逆に言えば、ひとつどこかにあれば良いきっかけになるとは思いますね。あとは、北陸3県になかなか大きなチームがないのもつらいですね。人数が多ければいいというわけではないけれど、発信力が違いますよね。

斉藤 あと富山県って冬に雪が降るじゃないですか。屋内の施設も必要になりますよね。いまはラテテルだけですね。

田屋 そうですね。でもそのラテテルの閉鎖が決まっているので、これから冬の場合は無くなりますね。

斉藤 富田君、何かありませんか。

富田 サバゲーの大会誘致など、富山では可能なのですか。

田屋 サバゲーの大会自体開くことは難しいかもしれませんが、それは、玉があたったかは自己申告制なので、自己申告しない人が出てきたら成立しなくなるからです。

富田 そうなんですか。自己申告制なんですね。

小八木 ヒットの仕方などをルール付けできればできるかもしれませんね。あと、審判みたいな人が何人か付けて監視できれば可能かもしれませんね。

寺西 そうですね。その他として自分の友達が敬遠している理由としては、痛いから嫌だと言いますね。

富田 実際痛いのですか。

田屋 痛いですが、よっぽど至近距離で撃たれたり、変なところに当たらない限りはそこまで痛く無いんです。そのために、ゴーグルの着用などを義務付けていますし、服装も肌が露出し過ぎないように気をつけています。

向井 あとはダイエット効果もあると思いますよ。なんせ動くので体力は使いますからね。

寺西 サバゲーを通して絆もうまれると思います。チームで戦うので、その中から自然と生まれるように思います。

斉藤 絆ですか。それは今まで考えていませんでした。でも確かにそれはあるかもしれませんね。今、富山県でサバゲーをやろうと思ったら、窓口はどうなりますか。

田屋 やっぱりネットですね。ネットで告知しています。

斉藤 ここにいるメンバーもそうですね。

田屋 そうですね。あとは横のつながりで口コミですかね。

斉藤 あとはやっぱり場所の問題ですか。

田屋 そうですね。砺波市・南砺市でどうにもならない土地があればすぐに教えてもらいたいくらいですね。

向井 今サバゲーを経験している人が議員になっていけば話は早いのですがね。活発に活動している地域では、どうやって行政などと協力しているのか情報を得ることも必要になってきますね。

斉藤 この辺りにはサバゲーのお店とかあるのですか。

田屋 富山県には無いですね。金沢にはあります。

斉藤 そうですね。それでは最後にこれだけは言いたいという人はいますか。

田屋 では私から、みんなにとって「サバゲーとは？」を話してもらえますか。

中嶋 普段の生活では無い楽しみですね。あとは、人との新しい交流の場ですね。

向井 僕は、こういうのになりたいという自己表現の場ですね。服装や戦い方など自分の好きなようにやれるところがいいですね。

小八木 サバゲーといってもすごく奥が深いので、いろいろなことを考えられるのが楽しいですね。特にイメーজトレーニングなど楽しいですね。

坂本 自分は、サバゲーをやっていればいつもより格好良くなれると思います。あと曰ごろの運動不足やストレス発散ですね。

斉藤 変身願望に似ていますね。

寺西 自分を高める1つの手段ですかね。参加していつもとは違う空気や雰囲気を感じられることです。あとは、人とのつながりですね。

光田 世界観が広がりました。ヒットさせるときの快感や、潜んでいるときのスリル感ですね。

田屋 一言でいえば和ですね。しかも日本人が考える和ですね。

斉藤 ありがとうございます。こういった皆さんの意見が世間に広まれば風当たりも違ってきますよね。

富田 私は、てつきり撃って相手を倒すことが楽しみなのかなと思っていましたが、皆さんの話を聞いて、そうではなく人とのつながりを非常に大切にしていることがわかりました。ありがとうございました。

斉藤 ありがとうございました。大変盛り上がってきましたが、時間となりましたのでこれで終了とさせていただきます。

求む！俺たちのフィールド

ロードバイク愛好家

山下 ではちょっとかたい感じで始めますが、本日は日曜日のお休みの中、2016と
なみ野フェス市民小会議に参加していただきありがとうございます。司会を務めさせて
いただきます山下翔太といいます。よろしくお願いします。

私からまず簡単に自己紹介したいと思います。私は旧平村の出身で、実際に私自身も
自転車には乗りますので、同じ仲間だと思って話していただけたいと思います。ロード
バイクなんですけど、大学のときからなので7、8年乗っているんですけど、自転車は
KUTOTAのメカカーです。

清登 (野原さんと) 一緒や。

野原 一緒。

清登 うちでも扱ってる(笑)

山下 またわからないことも結構あるので、良ければ詳しいこと話できたらいいなとい
う風に思っています。順番に簡単に自己紹介お願いします。

清登 うちには2店舗あるんですけど、スポーツ車を扱っているのは砺波市の油田の国道
沿い156のロードサイクルのお店、清登です。

野原 店名はちなみにサイクルセンター清登といいます。

山下 サイクルセンター清登(メモしながら)。

清登 受付のほうにはサイクル清登って書かれてた(笑)。

山下 すみません、センター抜けてました。

清登 まあここにおられる方もうちに何回か足を運んでいただいているお客さんで。

野原 よく知っているんです(笑)。

山下 じゃあ3人ともよく知っておられるんですね。

清登 はい。

山下 はい、ありがとうございます。では(野原さん)お願いします。

野原 私は野原といいます、自転車歴はたぶん4人の中で一番浅いんじゃないかなと、
2012年からだから、まだ4年くらいで一番弱いんじゃないかなと。

清登、伊藤 いやいやいやいや(笑)。

伊藤 そんなことない。

清登 たぶん一番強いです(笑)。

伊藤 歴の長さよりも中身の濃さで半端ないよ(清登笑)。

野原 いや、最近は全然乗ってなくて。

清登 あっそうなんですか。

野原 最初フアンライドという感じで、最初始めたのはまったく楽しく走って
いうところから始めて、次の年は長い距離乗りたいていうのがあって、1日に2
00kmとか走って、その次の年から速さを追い求めるようになって、今年の春
先ぐらいいまでは速さを求める感じでやってたんですけど、最近は逆でまたその
まったり系に戻ってきて、朝練とかもせずにはほんと1人で・・・。

清登 自分のペースで・・・。

野原 そうそうそう、だから1週間に150kmから300kmくらいをまっ
たり・・・。

清登 ああでも充分やと思いますけどねえ(笑)。

野原 まったり乗っている感じです。

清登 朝練のときはだって巡航35〜40(km/h)くらいで走ってたん
ですよ？

伊藤 走ってる走ってる。

野原 いやいや全然全然もつですよ。

清登 もつと！？もつと出して？

野原 もつともつと。

清登 まあ庄川から来るがと、こつち(砺波)から行くがとまた別やからね。

野原 イチコ口(156)50kmオーバーとかで。

山下 すこい！

伊藤 早朝をね。

清登 車より速い(笑)

野原 井波の上野石油ってわかる？

山下 上野石油さんは・・・

野原 岩屋の。

山下 ああ岩屋のほうにありますね。

野原 獅子の子落としがあるすぐ近くの。

清登 昔熊飼つつたらしいよ(笑)。

野原 あのスタンドからスタートして、すぐにローソンあるやん。

山下 はいはい、ありますね。

野原 スタートしてローソンのところで45km超えてる。で五鹿屋のあたりを50kmとか55kmくらいで、どかーんって(笑)。

山下 156路肩広いからばあーって走りやすいですもんね。

清登 でもそれを維持するのは相当しんどいですよ。

山下 確かに。

野原 55(km)で限界。60(km)になるとついていけない。

清登 充分充分。

伊藤 ずっとでもそれを巡廻していける足を今持つてるから。もう2、3年前では考えられない。

野原 2、3年前伊藤さんが初めて僕と一緒に走ったときに、伊藤さん35kmくらいで走って、僕それついていけないって(笑)。そんなことありましたね。

伊藤 そのときと比べたらね、全然ねレベルの上がり方が・・・。

清登 おかしいよね(笑)。

野原 むしろ原点復帰でファンライドのほうに。

清登 まああの走ったつたら自分速さあるけど、今度周りの気付かんかったものが見えないですか？

野原 そうですね。

清登 まあそのいろんなスピードによっていろんな発見もあるけど。

野原 こういふ感じで乗っています。野原といいます。

山下 はい、ありがとうございます。では(伊藤さん)お願いします。

伊藤 はい、伊藤です。もともと富山の人間ではなくて、5年くらい経つかない、埼玉から来たんです。埼玉といえば日本でも知られる自転車王国って言われているくらいですね。その反面事故率も高いと、もう全国でワースト。

清登 特に平野ですから、川が緩やかでその堤防沿いと、ほらセヌ発着場とか、よく埼玉のそんなところだとよく自転車乗りの人が・・・。僕もプリジストン行っちゃったから、埼玉でプリジストン。

伊藤 よくね、荒川とかねあそこロードですって走っていて、そのとき高校から自転車始めていたんですけど、そのときの部活で、浦和工業高校だったんですけど、今ちょうど女子の選手で浦高出身の子が世界で頑張っている。ちょっと名前度忘れしたんですけど(笑)。ちょっとここで出せないのが申し訳ない。

野原 歴は一番長い。

山下 もう高校のときから？

伊藤 高校で部活で3年続けて、卒業してからは一旦自転車から離れたんですよ。仕事の関係で北陸入った始めが福井だったんですよ。そのときにまた自転車再開することになって、ロードバイクもそうだし、そこからマウンテンバイク、オフロードなんかもやるようになりましたし。

清登 もう引越してきて、うちの店の隣の会社に勤められたつたんで、ちよくちよく来ていただいて、ちよく僕も8年9年ぐらいですが、自転車業に入って、スポーツ車東京の方とかで勉強してきて、その時東京で流行っていたので、砺波のほうにもフィードバックできたいいなと思ってスポーツ車扱い始めたんですけど。そのときに彼(伊藤)来てくれたんで、いろいろ自分が実際経験してなかったことも、経験しておられますから、いろんなことを教えてもらったりしました。

伊藤 富山入りしてね、最初に見かけたお店がまたまね・・・。

清登 埼玉も行ったつたんで、富山県も山とか非常に環境が自転車乗るのに適している、逆に東京とかの方が非常にロードバイクって乗りやすい乗り物だね。信号待ちとか街角、直進がずとやっぱあるっていうのと、坂とか環境も整ってますから、良いんじゃないかという感じだね。その頃に砺波市の個人で自転車探して乗っておられる方も結構集まってきたらいて、T-waveっていうチームを作ったりとかして皆さん所属して(笑)。

伊藤 チーム立ち上げてね。(清登)タツロウくんも今店長やってるけど、その前はお父さんがいて、その頃からの付き合いっていうのもあるんです。今ちょっとそのお父さん亡くなられて。息子さん、タツロウ君が店長継いで。

清登 徐々に富山県、主に砺波地方もそうですけど、ロードバイクの人口増えてきて、庄川とか郊外の方は結構見慣れているんですけど、意外と本町とか街中の方はロードバイクとかあんまり横走っていくとか見慣れていない感じを受けますね。ちよつとウェア着てコンビ二入るのも街中だと恥ずかしいですね(笑)。

伊藤 あんまりそういう場面に会うことが少ないから。

清登 慣れてなさそうな感じだね。郊外型の乗り物なのかなと。

山下 車少ないところとか信号少ないところの方が走りやすいですよ？

清登 そうですね、中央農道とか砺波で言う走りやすいですね。

伊藤 逆に車側からしてみても自転車たくさん走られると、車からしても走りづらい。

清登 町の中だとしてもね、渋滞起こすからね。路肩がそれ用にとってあればいいんですけど、そうそう無いですからね。

伊藤 もともと自転車車が車道を通るような道づくりしてないでしょう。

清登 逆に埼玉行ったらとき車道の真ん中走っても別に怒られないとかあるんで、地域柄なのかなと。結構(車の)スピード出しますからね、砺波平野の人間は(笑)。

伊藤 けどね、埼玉住んでたときも気付いてたんだけども、やっぱりねマナーが悪い。

山下 自転車側の？

伊藤 自転車側が絡んでいる交通事故の件数が日本全国でもワーストナンバーワンですよ、埼玉は。その原因もいろいろ調べてみるとやっぱり自転車のマナーが悪い。

清登 それは何でかって言ったら小売店、売るときの問題だよ。ネット販売だったら、店だったり、別にその時分って自転車屋さんじゃなくて服屋さんかスポーツ車売ってたりしましたから。専門知識が無いお店屋さんで買うとね。で、うちは今スポーツPAっていう全国規模で自転車のルールブックみたいなのを無料配布したりとかはして。うちで買ったお客さんで言えば守っていただいているのかなと思いますけども。

山下 まずルールを守っていただいて、交通安全に注意して走ってもらわんなという事です。

清登 そこは自分ももうちょっと頑張らなければいけないなあと思っていますけどね。

伊藤 最近だとネットで手軽に手に入る時代じゃないですか。そんなルールブックがあることすら知らないで乗っている人たちが。

清登 あと保安部品も心配ですよ。自分でいじれる人と知らんと買う人もおるからね。すごくよく調べて買う人だったらそんなことめったにないやろうけど。

伊藤 ブレーキもそうでしょうけど、組み立てなんかね、そのノウハウ持たんで自分で組んじゃって人もいるわけでしょ、でそれが不調でお店に入ってきてというところもあるんですよ？

清登 あります。よくあります。効いてないところ、一応そういうのは保安部品だけはいく見ときますけどね。うちに持ってきてくださる人はまだいいですよ。持って来ない人なんかはどうなっているのかなあって。ちよっとした下りでも、トン単位で力がホイールのブレーキアーチの部分にかかりますから。そのブレーキのゴム船、シユウっていうんですけど、そのシユウ部分の締め付けるボルトのトルクって6ニュートンっていうめちゃくちゃちやっちゃい力なんです。このかけ方次第でブレーキシユウが回転したりとかしてかからないですよ。それぐらいだから危ないんですけど、ロックがかったから空中浮いて回転してみたりとかありますからねえ。まあそういう危険性あるんで、だからネットで車買うかいう話ですよ(笑)。

山下 怖くて買えないですよ。

伊藤 ましてやどこで作ったんかわかんようなものもありますからね。ここどうやって繋いだんみたいな。

清登 詐欺も結構はやって、高級なんで特に中国系のサイトとか(笑)。被害もうちにちよくちよく聞いたりもするんですけど。

伊藤 フレーム1本1本つないで溶接とかしているところじゃないですか？その溶接が甘かったりとか、そういうのが原因で。

清登 めっちゃ軽いよ、みたいな。自転車用のカーボンの作り方じゃなくてペラペラの、だいたいカーボン22万円スタートやしたら、18万くらいにして、結構いい感じの値段つけて、でも実際買ってみると乗った瞬間折れる。保険も補償も何も無い。

伊藤 カーボン成形するのに出来が良い悪いってそういうばらつきがあるよね。でそのばらつきの良いほうだけをブランドに乗っけてお店に出したりとかしてるから、それは保障できたりするから良いけど。

清登 メーカーの保障がこのネット社会では少し薄いのかなという気は僕商売として常々思います。

伊藤 逆に精度が悪く出来ちゃってるやつ、本来捨てなきゃいけないやつをあえてそれを無名で売り出している業者もあるっていうから。

清登 台湾で結構自転車作っているんだけど、台湾のカーボン工場で金型というか形だけにはしてくれるんですよ、カーボン繊維をつないで。だから自作しようと思えば作れるわけで(笑)。

伊藤 ただ保障はしないよって。

清登 あと海外持ち出しもほんまはあかんはずですよ。カーボンって結構特殊な技術なんで、カーボン繊維自体をアメリカに持ち込んだりすると逮捕されます。カーボンファイバー状態ですよ、完成品ではないですけども、巻いた状態で。洗車とかにも使ってますから。

野原 こんな流れで良いの？

山下 こんな感じで雑談してもらって。この会議結論とか出さんです。ただこう思い思いに話してもらって。

伊藤 これ45分で足りる？

山下 こんな感じならすぐ終わるかもしれないですけど、モノによっては話が無くなったときにこっから振りますけど。例えば自転車始めたきつかけはとかそういう質問。

野原 良いね、そういうのどんどん振ってけば良いんじゃない。

清登 だいぶカーボンの話で（笑）。

野原 マニアック過ぎて、ちよっと軌道修正して（笑）。

清登 僕、言おうとしてみたことこんなことじゃなかったんやけど（笑）。

野原 そういう質問を振ってあげれば良いけど、だんだん専門的になっちゃって。

伊藤 だんだんディープに行きますよ。

山下 僕から簡単に話すると、大学で始めたんですけど、高校時代は旧平の方はスキー部でクロカンとかアルペンやっている人が多くて、結構ロードバイク乗っている人が多くて、カッコいいなと思って、大学は実際自転車部なんですけど、サイクリングクラブって言って、自転車で旅行するサークルだったんです。

清登 どっちかというところとロングライドみたいな感じ？

山下 ロングライドです。荷物つけて、自転車で旅行するっていうサークルです。

伊藤 大学生で日本一周とか？

清登 東京から（うちの店にも）結構来ます。

山下 そういうきっかけで始めて、卒業したら今は自転車だけなんですけど、たまたま職場の人と、トライアスロンの大会にリレーで出たんです。泳ぐ人とチャリ乗る人と走る人ってあるんですよ。かなり面白くなって自分もやってみたいなと思って、今トライアスロンも少しやっているんですけど、そんな感じで今ハマっているような感じです。

清登 あれ機材スポーツだから、トライアスロンだとウェアとかかなり（お金が）かかりますよね。

山下 かかりますね。

伊藤 参加費だけでも結構するでしょ？

山下 参加費とか遠方でやっている大会もあるんで、お金はかかるんですけど、始めてしまえば、だいたい物が揃えば、ちよっとは落ち着いてはいるんですけど。きっかけとしてはそんな感じで、始めたような感じです。

清登 さんは自転車屋さんということもありますけど、ご自身は乗られたり、自転車始めたきっかけって？

清登 埼玉のときは結構乗ってましたけど、今は忙しくて、店のサイクリングではお客さんと一緒に走りますけど。一番走ってないと思います、この中では（笑）。どっちかというところとイジる方専門なんです。

山下 イジる方ですね。わかりました。野原さんはどういうきっかけで？

野原 僕はメタボですね。メタボ対策。

山下 ダイエットで？

伊藤 あんまりイメージわかんね。

清登 最初クロスバイク乗ってたね。

野原 今より体重15kgくらい重かったから。

清登 ウソ、あってもやせたもんね。

野原 おなかも出とったし。

清登 もともと細かったもん（笑）。

伊藤 細かったイメージじゃないもん。

野原 やっぱその頃の「*スリム*」の写真見たら俺腹ポコンと出てたもん。うわ、恥ずかしいなと思って、それでやるうかなと。メタボ対策が第一で、それがあつたんですけど、今はどっちかというところ、僕40（歳）超えているんですけど、この歳になってくると仕事してても疲れるんですよ。疲れないですか？

伊藤 30過ぎたらうんぬんかんぬんですもんね。

清登 今年30になりましたけど疲れます（笑）。

野原 すげー疲れるなと思って。それで体力つけたいと。やせるのはもう大体いいかなと思って、どっちかというところ今は体力づくり。体力をつける。スタミナをつける。そっちのほうになって、自転車乗らないよりも乗っているほうが調子がいい。

清登 まったり（走る）っていうのもどっちかというところと有酸素運動的なってことですよ。

野原 そうそう。だから疲れて、あー今日は疲れたなあって思っても、じゃあ夜ちよっと2時間くらいローラー回そうとか、それで大分こう改善される。今はどっちかというところ、体力づくりと疲労抜き。あと酒抜き。飲んだ次の日も結構まったり2、3時間外走ったりすると、すっきりする。

清登 向かい酒ならぬ向かい自転車（笑）。

伊藤 走ったら疲れるんじゃないかってみんなよく言うけど、逆なんですよね。疲れる原因ってむしろ何にもしないことなんです。

野原 疲労物質がたまった状態だから、それよりは洗い流してやるってね。

清登 だからまあ市長も乗ろうぜって言うといってください（笑）。最近すごいですね。氷見市、射水市で自転車主観のイベントやって、市長、県知事クラスが来て、こっこの呉西地区の高岡、砺波、南砺もなんかやんないのかなあって。砺波の夏野市長はやるやんないながら、なかなか踏み切れんみたいですよ（笑）。

野原 個人個人でやればいい。

清登 別にイベントやらなくても良いんだけど、自転車乗る言うてなかなかやらないから。

野原 自転車は個人スポーツだから市あげてやるとかじゃなくて気付かせるというか、自転車の良さを気付いてもらうような、そんなことしたら良いなと。だって気付いたらみんな乗るじゃん。ジョギングとかランニングとか盛んにやってるけど、みんな苦行みたいな顔してやってるじゃん。楽しそうにやってないじゃない。

清登 自転車は楽しい感じで。疲れないですからね。

野原 何時間も乗ってられるじゃん。自転車の良さに気付いてもらう。

清登 やっぱ野原さん的にはこの砺波地方でサイクリングイベント、大きい大会やるとなると、あんまり良い印象受けませんか？

野原 いや、やるならもう年に1回ツールド津曲みたいな感じで、ツールドとなみ野みたいな、どかと1個。

清登 さっき射水って言いましたけど、まだやってないですよ。動物園あるじゃないですかファミリパーク、あそこで来年あたりから考えてるみたいです。太閤山かどうかあそこらへん。

野原 グランフォンドってあるじゃん。グランフォンドの運営に少し関わった側面からすると、まだまだ体制が不完全だから。

清登 県内のやり方は少しゆるい感じがしますけどね。

野原 絶対やめたほうがいいよ。今まで奇跡的にうまくいっているけど。

清登 事故いっぱいやってますけどね。

伊藤 全国的にみてわかるんですけど、それでもよく続いてますよ富山は。福井もう終わっちゃいましたもん。

清登 県外はメカニクカーというものをまずつけません。チーム参加条件で、チーム内で自転車いじれる人、集団で走っていて誰かバンクしたら直してねみたいな、富山県の場合は後からついていって親切にも直してあげるという感じになってますからね(笑)。

野原 グランフォンドが大きすぎると思ってる、やるならネオセンくらい。あれくらい身の丈にあったほうが。

清登 人材も足りんでし。

野原 でかい大会すればいいってもんじゃなくて、やるならプロを入れて、プロの運営体制をとってやらないと、今は完全に素人のお手盛りでやってるから。

伊藤 プロが上になってやってるイベントっちゃあるでしょ、富山のほうで。

清登 湾岸？

伊藤 湾岸じゃなくていつも富山の競輪場のところでやってるでしょ、サイクルフェスタかなんかトラックフェスタか。あれみたいにその1箇所、小規模にこつこつやっていけるそんなんがあるといんじやないかって思いますけど。

清登 僕、こうも言ったけどもつとこうます市のほうで乗っていたけど、市役所なりで乗って頂く人口が増えてはじめてやと思うんで。おいおいの話ですこれは。性急にやれと言っているわけではないです(笑)。

山下 イベントもそうなんですけど、どこを走れば良いかとかお勧めのサイクリングコースはどこかとか。

野原 常に考えている。

清登 湾岸ライドを富山県でやって湾岸沿いのサイクリングコースみたいなパンフレットはリーフで作ってたいが発行してみたいですね。そういうのがこつこつでもあっていいかなと思うんですけど。

山下 湾岸サイクリングみたいに、青いブルーラインみたいなが引いて、こういうコースでみたいな。

清登 こころへのサイクリング(コース)一応あるんですよ。県が市が知らないですけど、国土交通の方で自転車用の道路みたいな、途中で切れたりしてますからね(笑)。

野原 危ない。

山下 自転車道ですよ。結構止まれも多いです。

野原 大通りに青い線引いてあるじゃない。あんなとこ走りたくない。

清登 草もぼーぼーだし(笑)。

山下 管理はしっかり出来てないですね。

野原 俺最近ね走っているのは旧道。旧道を走って、だいたいね自分の好きなコース、自宅出町にあるんですけど、出町から埴生のほうに向かってく、石動の。わかる？埴生八幡宮。埴生から南砺市の人母、あそこまで真っ直ぐ旧道が(ある)これ最高。

山下 全然車も通らない？

野原 全然車も通らんし、歴史的な風景、右手に山、左手に平野。ちょうどその間の。アップダウンもある。足にもくるし、全然車通んないし、信号は数えるほどしかないし、だからもう淡々と走れる。そこから304入って、小森谷のほうか、トンネル抜けて平桜から小矢部のインターの方まで下りて、そこから南砺方向へ福野の方向に向かっている、また上って、そこからカントリー、ゴルフ場の間を抜けて、そこから福野の安居寺、安居の方をずっと福光まで、田中のほうから宗守抜けて、まっすぐ砺波に帰ってくる。これで50km。50kmで2時間。

山下 良いですね。

伊藤 それは信号があったりとか、障害物があったりとかそういうのじゃない？

野原 なるべくそれを避けるようにして、俺最近ねガーミンでコース作るの好きなの。

山下 そういうアプリか何か？

野原 そう。

清登 ガーミンだけじゃなくてルートラボとかでも作れるけどね。

野原 なんでもいいんだけど。

伊藤 最近そういうアプリとかが増えてきているから。

野原 これ（ガーミン）で77kmのコースとか、160kmとか、130kmとか。

清登 それをアップしたらガーミン仲間が見れるってことけ？

野原 誰でも見れるし、自分でガーミン入れて、楽しよう。

清登 これは別アプリで作ってガーミンで見れるってこと？

伊藤 そういうのもある。

野原 ガーミンでログインしてウェブ上で作る。

清登 ガーミンのウェブ上にもそういうのはあるんだ。

野原 ルートラボみたいなもので、俺マック使うからルートラボ使えないのよ。

清登 なるほどね（笑）。

山下 マックじゃルートラボ使えんがですか？

野原 使にくいというかこっち（ガーミン）の方が相性良いから。ちゃんと出るのよ表示で、あと5km走ったら右折だぞとか、そこまでちゃんとがんばろうと思って。そこまで心拍このくらいで行こうとか、がんばれるじゃん。これを軌道修正しながら、この旧道良くなかったとか、この信号一個避けようとかつって、ちまちま作るのが最近好き。

山下 より走りやすいコースをいろんなとこ走ってみて作って。

清登 そんなだけ遂行してるんやったらフィードバックしてリーフ作ったりしたら（笑）。

野原 リーフ作ったらそうなんちゃうから。

清登 人いっぱい来ちゃうから？

野原 いやいやなんちゃうっていうか、そういう推奨するから、推奨するようになるから、どっちかっていうとみんなに気付いて走ってほしい。僕歴史もやっているんで、歴史を感じられる道がさらに良い。

清登 城端のほうとかも良いよね。

野原 蓑谷のほうとか？縄が池とか、あそこだこっち（砺波）からいくと80kmコースになっちゃうから。

清登 ちよっと遠いですよ。

野原 あと津幡のほうに抜ける道。小矢部の末友から津幡のほうに横に抜ける道があって、そこは全く車通んない。

清登 結構行ける人が限られてくるよね。そこまでのところは。僕常々思っているんだけど、何で城端線自転車乗っけれんの（笑）。

山下 電車でですね。

野原 俺も本当にそう思う。

清登 北陸本線はいけて、城端線はいけない。

山下 北陸本線は乗せられる？

清登 乗せられるけど、週末限定やったかな。

野原 やるかやらないかだけどもん。

清登 一回うちからも提言してるんだけど市のほうに。なかなか重い腰をあげてくれないとか。車両増やさんなあかんとか、逆で今乗車人口増やしたいならやれよって思うんだけど（笑）。

野原 それはね、やろうと思ったらすぐできる。何でやんないかっていうと、砺波駅なんて橋梁じゃん。ロードバイクを一回下ろして、かついで階段上んなきやいけないでしょ。けつまづいて、転げ落ちたりしたら、そういうリスクも考えないといけない。

清登 エレベーターは乗れないんだ、あれ。

伊藤 乗れんことはない。

野原 エレベーターある？

清登 ありますよ。

山下 あったような気がします。

清登 ただ乗るなら一人限定になっちゃう。下から上がってきたら入れ違いは面倒かと。

野原 俺も何回も城端線にいいアイデアないかって言われて、何度も提言してるよ。それに向こうの言い分はJRはそういうのなかなか許可しないんだって。しまなみ海道のあのあたりは、私鉄だから南海鉄道のそれだから許可するみたいなのを言ってる。うそつけて思って調べたら普通にJRでやっているところはたくさんある。

清登 北陸本線第一やってますもんね。高岡、富山間は。

野原 最近、上市とか頑張ってるじゃん。

清登 黒部のほうまでもやってるし。

野原 上市では富山駅で30000円の子ケツトみたいな買ったなら、自転車乗つけて地鉄で上市までいって、その半券とか使ってランチ食べたとか。

清登 せっかくこう城端から砺波まで、子供歌舞伎とか歴史の町並みとかもいっぱいあるのに、城端線に乗ってそれができないのは損だと思うね。逆にそれを自転車で回れて言っても無理やから(笑)。

野原 俺は単純に砺波平野とこの一帯ってめちゃめちゃその自転車には適しと思う。山行こうと思えば行けるし、五箇山に行つてすばらしい景色がある。で平野走ろうと思ったら、桜が池のほうからぐーっと平野一望できてすばらしいじゃない。こんなところって全然無いんじゃないかって。

清登 砺波の人に県外の人がかかいいとこないって聞いても、なーんいいとこないって言う、せっかくあるのにはと思うね。

野原 自転車乗る環境としては最高にすばらしいから。

伊藤 気付かない人が多いでしょ。そういうところがあるっていうの。

清登 ただ、だからその乗れないことによるものなのか、気軽さがちょっと足りないかなって。30kmくらいだったら誰でも行けると思うんだけど。

山下 距離が30kmくらいってことですよ。

清登 そうそうそう。ロードバイクで。まあクロスバイクでも行けると思うんだけど。

野原 しまなみ海道だって10年前は何も言ってなかったんだから。そこからあれだけやったわけだから。単にそのプロモーションの仕方っていうか、それだけの問題だよ。

伊藤 道の駅とかあるでしょ。庄川のところがウッドプラザとか、サイクルステーションができたんだとか、桜ヶ池にもそれと同じサイクルスタンド。

清登 できたの？

伊藤 うん。

野原 真似して作った。

清登 作ったんだ。

伊藤 あるある。道の駅に各駅にそういうのを設置しとけば、ロードバイクとかも行き来しやすいだろうっていうのはある。

野原 それだけで庄川のアそこもね人増える。

伊藤 実際ね結果はあれで出せてるから、すごい。

野原 ちよつとのことなんですよ。少しの投資で。

清登 まず金かけんところからやってたらしいと思う。イベントっていったら結構お金かかるし、人件費なり保険なりかかるから、そういうところに行き着いたんであれば、そういうJR線だとか、公共施設でもちよつとしか気遣いってものが要なんじゃないかなとは思いますがね。

伊藤 イベント立ち上げる以前の話。

清登 そうそうそこからだよ。若干やっぱ広島、しまなみ？しまなみで町おこしで知事が市長も再選したわけですよ。みんな真似したいという部分はあるみたいだから(笑)。

野原 で俺電話して聞いたんだよ、担当者に。

清登 そうなんです、すごいですね(笑)。

野原 聞いたの。どうやってやってんのって。そしたらね、全然やってない、やってないっていうのは俺はもうものすごい莫大なプロモーションをしてね、電通かなんか使ってやってんのかなって思ったわけ。そしたら全然違って、しかも予算も年間100万円とかそんなしかなかったってなくて、そんだけしかやってない。

清登 砺波市のなんだっけ、きらきらミツシオンだっけ、800万くらい使ってるっしょ(笑)。

伊藤 そんなに！？

野原 要はその1000万円の投資で、何で成功したのって聞いたの、そしたら他の店が賛同してくれたんだって。他の店がじゃあうちサイクルステーションしましよとか、協力してくれたからうちスタンド置くとか、ポンプ貸し出すとかその程度でよくて、投資はすごく少なくて、それをうまく循環していた。

伊藤 官民協働ってやつですか。

野原 その見方っていうか発想を刺激を与えてあげて、そういう風になったと。だから砺波平野ってすぐポテンシャルあると思うんだけど。

清登 ポテンシャルはあるね。絶対あるね。

野原 あると思うけど、俺が今走っている旧道をほかの人に走らせたくないみたい。

一同 (笑)

清登 大丈夫、たぶんその距離いけないと思う。ほとんどの人は。半分ぐらいだよ。

野原 ただね教えてあげたいと思う、こんな良い道があるとか。

清登 ある程度乗っている人なら全然行けると思うがけれど、初めて乗る人はなかなか行きづらいと思う。

野原 ゆっくり行けば結構いけると思う。休憩しながら行けばこんなところにおいしいもんがあるんだとか。

清登 半日かけていけば、それなら良いよね。

伊藤 始めて走る人にとっては、50kmとか80kmとか別に関係ない。

清登 けつ痛くなっても無理っていう人もおると思うんだけどな。

野原 俺も50km脚つったもん、最初本当に。

清登 結構でも僕も朝のサイクリングで30kmはいいんですけど、50km超えてから仕事やるとちょっとしんどいですね。

伊藤 誰だってしんどいですよ。

一同 (笑)

野原 ほかに質問は？

山下 ほかに話に戻りますけど、さっき途中になりましたけど、伊藤さんは高校のときになんで自転車をも部活入れたきつかけとがありますか？

伊藤 走るのが好きだったというのがただ単純な理由です。中学は陸上で走る競技してましたし、その前の小学のときは少年野球なんかやってたりして、結構走塁とかっていろいろやってたんですよ。球投げるのと捕るのは苦手だったけど(笑)。足を使うという点に関しては、上半身よりもそっちのほうが長けていたというただ単純な理由ですわ。でもまあ高校も陸上もそういうのなんかあったら続けてみようかなと思ったらそこで自転車の練習も上もそういうのなんかあったら続けてみようかなと思って。今まで乗ってきた自転車と違うしこれと思って。

山下 それを見て始めてみようかなという感じで？

伊藤 うん、ですね。練習はきつかったですけどね。

山下 高校やったらトラックとか？

伊藤 そうですね、埼玉は県内で大宮競輪場があって一周500mするところをメインで県大会とか記録会とかって結構やってました。

山下 ちなみに話がまたそれるんですけど、今漫画で弱虫ペダルってあるじゃないですか、ロードのコースって外をがーって走ってるじゃないですか、実際高校生ってあんなコースで大会やってるんですか？

伊藤 まだ見たことが無いからかもしれないですけど、あるんですよ。ただ漫画に載っているような観客があんなにいるような状況ではないんですけども、例えば国体とか近くでいったら2018年に福井国体あると思うんですが。そのときに近くになるから見られると思うんですけど。

清登 実際取材したのはツアーオブジャパンだね。

伊藤 でしよう、やっぱりね。正直漫画でいうほど華やかではない。特に自分なんかはそうでした。マイナー中のマイナーでしたから、その当時。

清登 山頂であんな風に観客出てこない(笑)。

山下 ツールドフランスとかだったらわーと出てくる。

清登 あれは伝統ですね。コースはみ出してきた。

野原 あんなのが日本でもう少しだけ広まらないかなって。僕ら毎日ブルエタやってるじゃん。ブルエタを毎日見てるんだけど、あんなすごい面白いスポーツはなかなか無いじゃん。でも多分主張人口ってすごく少ないですけど。

伊藤 けどやっぱり本国では見てるんだろなって。見てるといいうか多分現地で見てる人たちのほうが多いんじゃないかなって、そんな気はする。やっぱりヨーロッパはそういう自転車レースの歴史がめっちゃ長いですからね、100年超えていますからね。

野原 Jプロツアーとかあるじゃん。Jプロツアーとか見ると寂しくなるよね。どっかそこらへんの農道とかでやってる感じで、あれーとかって思うのね。

清登 結局日本発祥のスポーツっていったら格闘技とかしている人多いんですけど、ほとんどヨーロッパからのスポーツが、スキーもそうだし、サッカーもそうだし、野球はまた別ですけど、一番新しく入ってきて流行っているのは自転車かなと。

伊藤 ようやくなんだよね。ヨーロッパからしてみたらまだ日本で子供、赤子みたいなものでしょ、年数でいったらですね。

野原 先進国でこんなに自転車普及してないっていったら日本くらいでしょ。

清登 でもね逆に思うんだけど、小学校で自転車教室あるじゃない。で、乗れる人口ってたぶん先進国で一番多いんだよ、自転車自体を、男女ともに。

野原 ただね、ママチャリ文化っていうか、ママチャリが正義だみたいな。

伊藤 原因はわかりますよ、高度経済成長期でしょ。

野原 オランダみたいにとりあえず10万くらいの自転車買って大事に乗るっていう。日本って1万なり2万で買えるじゃないですか。あれをちよっと発想変えないと。

清登 僕自転車屋始めた頃ってママチャリの商売しとったらね、値段の話ししかしないの(笑)。乗ることの話一切しない(笑)。

伊藤 自転車の話だけじゃないですよ、いろんな業界みんな。高いか安いとその2択しかないっていう。

清登 あれは良くないなあと思う。

伊藤 高いには高いなのちゃんとした理由があるから、それを理解しないで・・・。

清登 ヨーロッパのほうでは自転車メカニックってめっちゃ尊敬される職業なんだよね。弁護士とか医者みたいな感じだし。日本だとうですかみたいな(笑)。(この職業に) なったときは社会的地位上げたいなとは思ってたけど。

山下 そしたらだいたい時間も経ってきたんですけど、この質問、例えば自転車に乗ってヒヤツとしたりとか、車に乗ってても自転車おってヒヤツとした場面って結構あると思うんですけど、それを改善っていうことはなかなか難しいかもしれないですけど、どうしたら・・・。

清登 自転車は前照灯、尾灯は必ず点灯するっていう夕方、薄暮以降は。

野原 僕は真昼間でもやってる。そうじゃないと危ないから。

山下 より安全に車にすぐわかってもらえるようにしたほうが。

野原 ドライバーのマナーっていうか思いやりっていうか、自転車のすれすれをすごいスピードで抜かしていく人とかいるじゃない。

清登 たまに幅寄せしてきたりするやつとかおっからね。ちよつと引っかっただけでえらい事故になりますからね。ああいうのはよくないかなと。

伊藤 いまだに解決していないのはただ単純な理由なのにそれに勘違いしている人が多い。自転車は車両でしょ、そういう認識が日本にまだ浸透してていない。ずっとだからママチャリ時代から歩道だけを走っているようなイメージ。本当はいけないのに、そういう交通ルールが全然浸透しててないっていうのがある。それありきで道作っちゃったものだから。

野原 余計ややこしくなっちゃってんだろね。あと恐いのはお年寄りの自転車。恐くないっす？斜めから出てきたり、出てこねえなと思っていたら、左右確認せずに出てきたり。

清登 それもそうだしこっち行く道路とこっち行く道路があって、真ん中走ったりしてるからね(笑)。

伊藤 こんなこと言ったら本当に申し訳ないんですけど、車乗っててもそうなんです。我が道を行く感じだ。

野原 あと俺最近思っているのが、朝方とか夕方とか走っているとね、その時間っておいちやんたたちが自転車乗って近所の人に会うわけだ、路肩で近所の人と喋ってるの。あーどもも、じゃあなって言ってるわけ、そんときが一番危ない。気持ちがある人にもむかつくから。どももっていつとるときにスーッと斜めに渡っていくから。これ危ねえぞって。

清登 じいちゃん、ばあちゃんは大敵やぞ、軽トラ乗ってても恐いからね。

山下 恐いですよね、車乗っていても。

清登 自転車側もそれをわかって乗らないと。いくら軽トラ遅いからって右側から抜こうとしたら危ないよ(笑)。そういうことは。

野原 あと何をやりたいかって聞いたら？自転車で何をやりたいか。

山下 自転車ですることですか？

野原 うん、自分こんなことやりたいとか。何でもいいけど。こんなことやってみたいとか。

山下 何かありますか。こんなことやってみたってことですよ。

野原 うん。なんかない？

伊藤 さっきイベントうんぬんって話しましたが、一個ちよつとちつちやいいイベントをやってみたっていうそういう希望はある。

野原 どういう？

伊藤 ヒルクライム。

清登 タイム夢の平とかあそこらへんでいいんじゃない？

野原 短いよ。

清登 もうちよつと長いやつ？

野原 長い、20キロくらいのやつ。

山下 20キロくらいの？

伊藤 そんな長い距離のコースって。

清登 南砺市商工会でこの前やってたよね、ヒルクライム。

山下 小矢部の稲葉山は小矢部さんでやってて。

野原 おれははつきり言って短と思う。今年の5月に信州高山村っていうヒルクライムに参加したの。

伊藤 行きましたね、つぶやいてましたね。

野原 高山村っていう村が人口三千人くらいの村なんですけど、その村が村おこしのために、何かやれないかあって、笠岳っていう山があって、そこまで20キロ登りがあるの。

清登 車道的には何の？

野原 林道。ここらへんでいうと夢の平のあんな感じ。でももうちよつときつかな傾斜は。

清登 じゃあ結構ハード目な？

野原 ハード目。スタートして500mで15%の坂があつて。

清登 きつない、それ（笑）。

伊藤 それはちょっと初心者には。

野原 でもね、参加者はあんまり知られてないから130人くらいしかいなくて、すごい個人まりとした感じなんだけど。

清登 でも逆によく集まったね。

野原 うん。ただ参加料は安いんだよ。三千円くらいで昼飯とか。

清登 スポーツエントリーかなんかで？

野原 そう。

清登 だからそんなに集めれたんだ。

野原 でもね、手作り感があつて、走ってもすごく満足する。だって20キロの登りって達成感もあるじゃない。走っても1時間とか1時間半かかるじゃん。達成感もあるし、おもしろい感じがすいから。信州高山ってわりと辺りなところがあるから、温泉街もあるわけ。みんな温泉泊まって、東京とかね。

伊藤 南砺だったらいっぱいあるから、温泉が。

野原 そういうことだったらできるな。最近富山ヒルクライムとか3キロとか5キロくらいのコースはよくあるじゃん。

伊藤 ありますね、しかも集まってる場所からスタート地点までやたらに長いとかね。

野原 それって結局うちの大会でね。

清登 無駄が多いし、よそから来た人したら集合場所からんとかね。

野原 そう、だからやるなら高山村ぐらいの感じの本気の、ここらへんだったら夕霧峠とか、そんなのをやればいいのかなと。

清登 それだったら人件費も割と少なくしてできるよな。

野原 林道とかが多いから交通規制もかけやすい。

伊藤 富山シリーズって規制あんまかけてないでしょ。

清登 かけてない、全然かけてないよ。だから結構危ない。

伊藤 レースとかのタイムトライアル系って基本道路規制かけて行うんですよね。1本何かそういうのができたらなあ。

清登 横をトラック走っていくだけで、タイムだいぶ変わるからね（笑）。

野原 そういう大会やりましょうよ。

伊藤 なんかやりたいですよ。でもその20キロって設定、どうしよう。

野原 15キロとかでもいいんだよ。

伊藤 利賀とかあのへんとかかな。

野原 利賀はね、登り6キロしかないんだよ。

山下 どこですか、利賀の？

野原 利賀は小牧ダムから一里塚、あそこまで6キロしかない。

山下 なかなかちよこちよこいるんなところに登るところがあるけど、長い距離を走るっていったら、なかなか無いがですよ。

野原 平までも156から上がってもそんなにずっと登り続けるってことはない。

山下 城端からトンネルまでも確か9キロくらいじゃなかったかな。

野原 そんなにも無い。

山下 意外と長いこと登つとるような氣して、距離にしたらそんなに。

清登 五箇山？

山下 とか自転車乗つとて登つとつたら、意外と距離いってないなあってそういう。清登 五箇山までは前が見えないのが長く感じる要因だね。距離じゃなくて曲がってもまだ先見えんがかみたいな。

野原 それもそうなんだけど、夕霧峠とかの林道走るのが良いのにな。五箇山の304とかって、道でかいじゃん。そしたらあそこだったらいくら漕いでも登つてない感じするじゃん。林道だったら景色が変わっていくから、登り甲斐はあるっていうかね。

清登 あれ（304）は心折りに来る坂ですよ。どっかつていうと（笑）。でも夕霧もきついでしょ。

野原 夕霧は逆に短くてきついじゃん。最後の橋のとこだけ、あれね20%くらいあるじゃん。

山下 橋のとこ？

野原 夕霧峠の手前。

山下 石川側？富山側？

野原 富山側。

清登 20%とか走る坂じゃないでしょ(笑)

野原 最後にコンクリートの橋があってそれでゴール。頂上のすぐ手前の。

伊藤 一緒に走っていた人いわくこんなに登るところじゃないと(笑)。

野原 でもねそんなところはいろいろあって、そういうのを広げていくっていう。みんなきつい坂好きじゃない。庄川のやまぶき荘ってあるじゃない。やまぶき荘から登ったとこにZ坂ってあるんだけど。やまぶき荘から鉢伏山に登っていく。

山下 夢の平の裏のところですよね。

野原 Z坂って最初の第一カーブが19%か20%くらいある。

山下 集落あるとでしたっけ？

野原 ないない、スターディナイトっていうペンションから少しあがったとこ。

山下 そっちから上がる？湯谷のほうからでなくて？

野原 じゃない。

山下 やまぶき荘の方から上がる？

清登 あとそれを行ったとしてやった後、町のほうにも還付してもらわんとあかんから、何か夜高とか歌舞伎とかそんながの前後にやったらいいと思うんだけど。

野原 それか思いっきりファンライドみたいな、歴史観光ファンライドとか。

清登 祭りがぶつとったらテンション変わりますよ。なんかイベント自転車の。

野原 ファンライドやってる途中で鮎の塩焼き食べられるとかさ。大門そうめん食べられるとか。

清登 そういう連携もちよっと考えてやったら町おこしにも貢献できるんじゃないかなあと。車の迷惑な乗り物だけではないですよと(笑)。実際3000人くらい集めたら全国規模で来ますからね。

山下 そろそろ時間になりましたので、こんな感じでまとめず終わる感じでいきたいと思います。アンケートだけ書いていってもらいたいのです。

野原 なんか要望でも出す？

山下 なんでも自由にこれ(アンケート)に書いていってもらってもいいですし。

清登 JCのほうからは出すの？なんか。

山下 今回のいろんな会議の内容をまとめて、まとめて提言なりこういう意見がありましたっていうのを、資するっていうふううう。

清登 野原さんすでに言ってますもんね。城端線。

野原 言ってる。

清登 これこの提言で言ってもまた一緒なのかな。

野原 一緒。わかんない。こういうことを言うことが大事なの。いろんなところでね。

伊藤 願わくは市長にも直接来て話を聞いてもらいたいっていうのもあります。

清登 どこの市長かにもよるんじゃない。城端線いうても長いから。

伊藤 結局、結構時間が足りなかったなっていう(笑)。

山下 そうですよ。

野原 上辺だけの話でね、時間が足りないってね。

清登 1日でも話しとれるやろ(笑)。

野原 自転車持ってきてさ、どんだけこだわっているとか、ここにこだわっているとか。

伊藤 乗ってこれば良かったなって。

山下 自転車来たら話尽きんやろうなって。

清登 自転車のカーボンだけでも1日ぐらい話しとれる(笑)。

野原 オススメのパーツとか。

伊藤 最近出てきましたよねデュラエース。

清登 最近やと無線の電動とかね。

伊藤 まさかあそこらから出てくると思わなかった、スラムから。

清登 ただちょっと削れるね、寿命微妙やね。

伊藤 無線技術とかそんな無線だったんじゃないのとか。ずっとだからワイヤー機械式でやってきたのに、ここにきてええって。

清登 一応発電所の近く通っても混線とかは無かったみたい。

伊藤 やっぱ特殊な周波数帯なんだ。

清登 めっちゃ楽やよ。電動はね。今電動じゃない？

野原 電動じゃない。機械式。

清登 坂で回転数落ちた状態でもちゃんと変速するよ。それはすごい楽。事前に（変速）しとけばいいんだけど。やっぱどうしても欲張りでスピード乗った状態で変速したいっていうのがあるから。登り始めの。

野原 海外のサイト見てたら、KUOTAのコムエア、一番上のやつ。ハイエンドクラスのコムエア、電動デュラ、30万ジャスト。完成車だよ。

清登 なんて？

伊藤 そんな値段を落とす理由が思い当たらないなあって。

清登 日本に入ってくるときには関税でもかかっているの？

野原 わかんないけど、たまたまね。

清登 日本だと50万、60万コースだよ。

野原 もっと上もつと上。90何万、60%オフ。

清登 しかも結構ヨーロッパでの最前線で戦った試作機じゃなくてそこから流行遅れた段階で日本に入ってくるからね、だから馬鹿にされるんだよ（笑）。

野原 2016年モデルで本当にポチりそうになったよ。サイズも56で俺と一緒にや

清登 それ新車でしょ？

野原 新車。

伊藤 押せばいいのに。

野原 電動デュラを手に入れるだけでもいいじゃん。

清登 それって電デュラ用のフレームってことじゃない？

野原 違う違う。そういうのがこんなに安いんだって。

伊藤 押せばいいのに。

清登 うち来期ビアンキの一番上のモデル契約して。レパルトコルサ。

野原 130何万のやつだよ。

清登 一応うちにはオルトレの最新型カウンターベル入ったやつ、1台フレームがかかるがと。あと納品する予定なんだけど。

伊藤 あんまそれ口外せんほうがいいんじゃない。

清登 なんて？

伊藤 ねらわれやすいよ、ビアンキって。

清登 ああそういうこと（笑）。

伊藤 よく盗まれるよ。

清登 ウェブに載せないほうがいいの？ホームページに。

伊藤 あまり載せないほうがいいっていうのも、お店に置いとくんでしょ？

野原 危ないよ、口コミだな口コミ。

清登 一応防犯はしてるけど。

伊藤 ビアンキ扱ってますっていう事実だけにしないで、こんなの扱ってますよっていうくらいにしないと具体的なことまで載せないほうがいいよ。

清登 ホームページだと都会のほうからでも来やすいから。

野原 希望としては試乗会。大規模試乗会みたいな。

清登 牛岳のやつ？

伊藤 あったね、牛岳ね。

野原 あれはちょっと行きづらいから。西部体育センターくらいかどっかで。

伊藤 小矢部のところかでもやってなかったですかね。クロスランドのところで。

清登 やってた、第1回目は。たぶん来年はうちも手伝うと思うけど。

伊藤 あの辺走りやすいから、試乗会すると。

清登 人集めてってやるとせいぜい15人20人くらいしか来ないからさ。

野原 いや来る、来るよ。

清登 そうかな？一応一回やったときそんなもんだったわ。

野原 あーそう、いろんな車種？

清登 いろんな車種で。

野原 ビアンキとかトレックとか何でもいけど。いろんな車種乗れるっていう。

伊藤 ブランド1つ決めとけばいいんでしょ？ショップはショップでいろんなブランド扱っているけども、1つのブランドに絞ってやればいいんじゃないかな。

野原 乗り比べたいなど。

清登 それはあるね、確かにね。しかもサイズがね、野原さんも身長高いでしょ？

野原 180くらい。

清登 展示会行ったら無いもん(笑)。

野原 全然違うけど俺ね昨年ハワイ行つたの。ハワイに行つてレンタサイクル借りに行つたの。ハワイのレンタサイクルってハイエンドモデル全部。

清登 それレンタルサイクル?(笑)

野原 日本のレンタサイクルってしょぼいじゃない。

清登 一応氷見のほうはジャイアント置いてあつたね。でもそれでもアルミだけだね。

野原 でもねハワイ行つたらありとあらゆるモデルがあるわけ。

清登 そうなの? サークル店はたまに聞くけど、ハワイの。

野原 エスワークスとか全部の。パーマックスとかルーベとかベンジロンとか。

伊藤 すっぱーいいな。

清登 それは観光が主な産業だから成り立っているのかもね。

野原 でも1日8千円とか、9千円でベンジの最新モデルが乗れるわけ。

伊藤 てかねちゃんとそのブランドのことを理解していないとできないよ、そんなこと。

清登 こけんなんよ(笑)。

野原 俺まさかそんなのあると思わなくて、シューズさ普通のスニーカーで行つたわけ。

清登 えっ、ビンディングなつたの?

野原 ビンディングなんだよ。お前なんでビンディング持つてこないんだつて言われて。

伊藤 それが一歩進んだ国の常識。

野原 ちゃんとフィッティングもしてくれんの、全部。こんなに違うんだと思つて。

清登 日本はよくおもてなしおもてなしっていうけど、そういったところはケチくさいね。

野原 向こうもホノルルマラソンとかセンチュリーライドとかもあるしね。

清登 意識も高いちゃね。

野原 ちゃんとピンきりで入門モデルもちゃんとあるのよ。

清登 さすがに保険のなんか書かせられるんじゃないの?

野原 そう、そういう事故つた場合に備えて、最初に何万かデポジット払う。ちゃんと無事に返したらそれは全部返ってくるんだけど。ちゃんとね出発前に細かく写真撮んのね、お店が。乗つて帰ってきたらそれが傷ついてないかとか一点一点確認して。

伊藤 そういうことが、そうすれば万が一何かあつたとしても、傷がついたりしてもコストがかからなくて済むってことだ。

野原 そこまで徹底してたらやっぱりもう1回行つたときにもっといいの乗ろうとか。

清登 リピーターも増えるでしょうね。

伊藤 それはやっぱいいですね。

野原 日本語通じなくても全然ちよろつといける。

清登 えっ、でもハワイ日本語通じるでしょ?

野原 ロードバイクの店は全く通じなくて、全部あれ(ジエスチャー)だけど、それでもわかるっていうか。

清登 逆にうちも外人のお客さん見に来るから。なんとなくねジエスチャーで通じる。デイスワンしか言つてない(笑)。

野原 そういうのやつたらお客さん来るやろうなつて思つたね。

清登 あとカーボンとアルミしか言つてねえ(笑)。

野原 砺波地方の宿泊施設つてわりと特徴が無いところが多いから。だからしまなみみたいに自転車、部屋まで持つていけるとかさ。

清登 でも少ないよね、泊まれるとこ。アバくらいしかないよね。

野原 ロイヤルホテル。

清登 ロイヤルホテルもあるか。ちょっと郊外だけどね。

野原 アミューのホテルとかもあるじゃない。何の変哲も無いビジネスホテルじゃん。でも実は部屋まで自転車持つてけて、ポンプとか工具とか。

清登 ショッキングなことにさ、南砺地方の祭りイベント、チューリップフェアもあるし、来てさ泊まるの全部高岡とかだからね。あれはどうなんかなあとは思ふね。

山下 この辺に無いんですかね。

清登 と思われている。

伊藤 宿泊施設ね。

野原 無いね。七尾とか行っちゃう。

伊藤 全国的に足りないんじゃないかなって気はするね。

清登 北陸新幹線できて金沢は常に予約状態。高岡で皆さん取られるみたいやけど。

伊藤 今ただでさえ越中おわらで人いっぱいきてってね。こっちにまで泊まるお客さんいたりするぐらいだし。

野原 越中おわらって行きにくいじゃん。交通機関行きにくいじゃん。だからおわらライドみたいな。

伊藤 自転車のほうが絶対楽あれ。

野原 砺波からスタートして、夜さ必ず電気を2つか3つ持って来いと。

清登 それは店側がやるべきかもしれんな。

野原 でも面白くない？だって見たこと無いでしょ、おわら。俺は無いのよ。

伊藤 俺も見に行きたい。

野原 ナイトライドでおわら見に行く。そんなんとかさ。

伊藤 ショップが絡んで一路集まってやったりするのもいいかも。

野原 八尾だったらす、わりと近いけど坂越えていくからさ、走り甲斐もあるし。

清登 従業員やめちゃったからなー、おったらできたかもな。だから結構今しんどいんですよ。そこまで余力ないかな今は。

野原 じゃあ石崎さんが退職したら。

伊藤 あと何年？

清登 パンク修理やとけってすげー命令しづらいんだけど（笑）

野原 もう数年やろ？

清登 石崎さんのこと怒れるが飯田さんだけやと思うんやけど。

伊藤 アオノさんは？

野原 飲み屋でしか会わない。

清登 アオノさんはやりたいやりたいって言うけど、怖い。めっちゃ怖い（笑）

野原 まだ若手のね、なんもわからんやつのほうが。

伊藤 1つきっかけでなんかできたら。

野原 金沢かどつかで寛平のナイトライドってやってたでしょ。寛平と一緒に走るみたい。あのぐらいのゆるさ。

伊藤 イベントだからってガチガチにせんでもいいって話ですよ。

清登 イベントでそんなゆるかったんですか？

野原 ゆるい。ただ参加料高い。

清登 そうなんだ。ゆるいほうが好きやな。人それぞれかもしれないけど。僕の今のタイミングでは個人でゆるく走るレベルなんかなと。

野原 ゆるいのでもいいよ。そのほうがみんなやってくれるしさ。あとある程度のレベルになったらそれはもう一人でやってください。自分の好きなようにやって感じになるからさ。

清登 ペース合わせねえから（笑）

野原 どっちかという入門者に合わせるような感じのイベント。

清登 そっちのほうが参加しやすい。

野原 前やとったファンライドとかさ、土曜の朝に。あれ素晴らしかったな、今でも復活してほしいな。朝6時に砺波スタートして。

清登 あれ石崎さんがやとったの？

野原 そうそう。

清登 ちょっと忙しそうやったからね。

野原 6時にスタートしてパンが焼ける頃に店行ってさ。

清登 それいいよね。

野原 朝パン食べて、帰ってきて8時に解散みたい。

伊藤 ちゃんと朝やってる店を探してやね。

清登 俺もだから日常サイクリング早く帰ってきたら、飯食いにきてえなとか、行ったらおもしろえなとか。

野原 俺今1人でやってる。

清登 庄川のほう？さっき言っとったコースか？メインは。

野原 最近さっきのコース。か津幡のほうまで行って、俱利伽羅から下りてくる。

清登 なんたっけ？庄川のほうで太田のほうのパン屋さん、だいぶ人気あるみたい。

野原 ビット。

清登 そうそう。ビット。

野原 でもビットさんねハード系のパンなんだよ。レストランで出てくるかたいパンとか。あんまりドライドしてるときは喉渇くじゃん。かたいパンって食いにくいじゃん。だからほちゃほちゃの高岡のべべとか。

伊藤 福岡のほうでしたっけ？

野原 ちょっと福岡よりのほう。あれはもう最高。たらこスバゲッティが詰まったパンとか。すごい美味しいの、本当に。すごい美味しい。で7時にオープンするんやけど、その時点でお店いっぱい。

清登 自転車乗りやっぱ多いでしょ？

野原 多い多い。7時にオープンするからそれに合わせて行って。

清登 南砺方面にはそういうパン屋さん多いんですか？

山下 南砺のパン屋は城端の大窪に、お店の名前度忘れしたんですけど、パン屋さんあります。でもあんまり行ったことないですね。

清登 結構自転車乗り集まる感じなんですか？

山下 いやー、あんまり行ったことないから。

野原 桜ヶ池にもあるね。

山下 桜ヶ池にもパン屋さんありますね。

伊藤 あとは羽馬パンかあ。

山下 そうですそうです、平まで来てもらえれば。

野原 俺必ず帰省のときにさ羽馬パンで補給して、あんドーナツ補給して。

伊藤 あそこうまいあんドーナツ。

山下 人気ありますね。

野原 俺、一回ねポケットにあんドーナツ入れたの。うち帰ったらべちゃべちゃだったの。

一同 (笑)

清登 平のスキー部（うちの店に）よう来るわ。

山下 自転車ですか？

清登 そう。女の子でもよく来るね。

山下 乗っとる子いますね。

清登 女性のライダー増えました。

山下 全国的に増えてますよね。

野原 砺波地方で乗ってたらすごい気持ち良いもん。どこに行くにしても。

伊藤 いい環境ですよ。きついコースはあるさあるけど、行けんこともない。

山下 そうですね。山をまず越えてもらえば。

伊藤 山を楽しむには自転車です。オンでもオフでも。

清登 また良かったらお店のほうにも顔出してください。

山下 またお邪魔します。

清登 さっきの黒田さんおられたけど、ちょっと入ってこられた、あの方はうちの店結構来てくださって。

山下 そうなんですか。

野原 終わりかな？

山下 はい、ありがとうございます。

城端線サイクルトレイン

となみ野でサイクルイベント開催



青ポロシャツ司会：山下から時計回りに伊藤、野原、清登



猟友会

島田 今日猟友会という枠で皆さんお声かけさせてもらったところ、南砺市猟友会の方が今日クレー射撃大会が予定されていてだいがそっちへ行かれるってことがあってちょっと間が悪かったということもありましたがお二人に御参加頂きましてありがとうございます。今日司会を務めさせて頂きます私南砺市井波出身の猟友会にも所属しております島田と申しますとなみ青年会議所所属しています宜しくお願い致します。

小西 私砺波庄川町の小西と申します。どうぞ宜しくお願い致します。

島田 猟友会では無いよね

小西 猟友会では無い、書記として

島田 使うほうで

小西 素材を

島田 素材をね。ということと自己紹介、ご存じかと思うんですが簡単にして頂いて進めていきたいと思います。

河合 はい福野の河合です。猟友会は去年から去年免許取って去年が初シーズンでやっとなります。まだまだ新米なので色々教えて頂けたらと思います

島田 ご年齢は

河合 三十七歳です。独身です。

島田 ありがとうございます。

山本 はい、自分砺波市猟友会の山本と言います。自分は猟歴は五年ほどですかね。普通に大物は確実に捕えた事が無いんですけど、どっちかという鳥専門でまわってるそんな感じです。

島田 ご年齢は

山本 四十二歳です。

島田 ありがとうございます。本日の時間の方ですが四十五分長くて一時四十五分までお時間を取れば、その前に終わったら終わったかなということに進めたいと思います。こういう会議と言いましても特段そのこれについて事は無くて本当に自由に情報交換であったりこういう事についてはどう思うという事の中からポイントになることを拾い出して

いってそれを次へ繋げてくという様な内容ですので、そういう意味ではちょっと自由にお話をしていければ良いかなと思っておりますが、先ず私も猟友会入らして頂いてたぶん山本さんと一緒に免許を取ったような気がしますね。



山本 自分何月やったかな9月取りに行ったと思うがけれど

島田 たぶん一緒に試験受けたと僕そんな記憶があります。

山本 それ以外でもどっかでようあつとる同業者やから

島田 えっ森林組合

山本 そうです。

島田 におられましたよね

山本 八尾の森林組合

島田 そうだそうだそうや

山本 実はそうです

島田 婦負森林組合におられましたね、今もいらっしゃるんですか。

山本 今もチエンソー大会に出なんもんで上野君に一生懸命なるとんがいちゃ。

島田 なるほど、まさに本当に共通点があるように私も林業やってる中で山の現状みたときに、今富山県はそこまで問題が無いといつも鹿野問題っていうのは各県の林やうちでは大きな問題になっていてその苗木を食べてしまうという問題が先ず大きな問題としてあって富山県でも将来的にはそういう問題もあるし熊が里山に出てくるとか人家に出てくるとかという問題も、山に人が入らなくなったのも一つの問題っていうか背景としてあるとすると、我々林業者がしりょうに係るっていう事も必要なんじゃないかなという事がきっかけで免許取ろうというふうになったので、なんか猟をしたいとか獲物を捕りたいって事よりも林業の延長上にやるべき責任なのかなと思ってやらせてもらったということもあって五年前に取ったんですけど猟に行くといつも年に一・二回で、お声かけ頂いてやっとなるような状況でなかかび猟友会でかつ井波支部は一人なんですな

山本 えっ今一人

島田 今一人なんですよ。まさかの、えーなもんで殆ど駆除とかも出れないし今福光の支部の方が井波のエリアをカバーしたいという事をお聞きしてたりするもんですから、まあ私は本当にそういう意味でちょっとほんとの猟友会では無い、山の延長上で猟友会というものをとらえている様な立場なのであんまり猟について偉そうな事言えないんですけどきつかけってどんなきつかけで取れたかっていうのをちょっとお聞き出来ればなと思うんですが河合さんどうですか。

河合 僕はほんまに遊びでという趣味の延長線上みたいなの、やってみたくて取った感がありますね。まっ農業やってて食べるもの作つとる。とりあえず野菜や米は食えるけど肉はそこも一緒にやりたいなという思いでとりあえず軽い気持ちというかほんまに興味を広げるのに取ったというような意味です。

島田 まあその近くにそういう知り合いの人もおられましたか？

河合 近くには居なかったですけど親父の仕事仲間うち造園業やってるんですけどその方であつと鉄砲なり刀なりナイフも自分で作ったりとかそういう人を知ってたんであんま身近ではないですけどそういう職業を趣味にしてやってらっしゃる人が周りに居ないことが無かったの。

島田 趣味の延長的な。

河合 そうですね。

島田 山本さんは

山本 自分は五年ほど前に熊が里山を一時にぎわしてたそんな時くらいにみると年寄しかおらんと、こらまずいなと若い人おるかなと思つて取り合えず入つてみよつた感じで、地域守つていうついでみたいな感じなんので、どつちかというところ最終的には自分からこつ山積極的に入ろうつていう、最初はそうゆう方向にもなるとなくなつてきたんやけどどつちかという受けで立つ側いうイメージでオリかけたりワナかけたりそういう研修も行つてるんで担い手研修

島田 あつ国の事業で

山本 ええそれ始まつていてオリかけて鎖網かけて捕獲したりしとる

島田 実地研修をしとられる。そもそも仕事柄取れとかつて言われたわけでもないし

山本 そうですね。実際林業の研修の中でワナ猟取得というカリキュラムがあつて難しいから半分ほど落ちていて。

島田 その時はもう婦負にいらつしゃつたんですか

山本 森林組合入るまではもたんで森林組合入つたと同時に取つた。

島田 あーそうなんです。仕事もちよつと

山本 似たような仕事しとるし

島田 私と似たような動機ちや動機の

山本 今となれば鹿が増えてくるのも死活問題であるので

島田 そうですね。

山本 まだ少ないしまだ具体的に見とるけど

島田 居るみたいですけどねバンバン利賀村でも

山本 イノシシはしょつちゅう見るがいちや八尾の山やとイノシシ普通に山あるいとなら調査しとつたらバサバサつて親子来たわ

島田 それでも今おつしやられたように猟友会でもその国の予算で担い手のそういう育成事業それ知つとられます

河合 知つてますけどたぶんある程度経験のある駆除

山本 三年くらいから免許取つてその大物イノシシやら鹿、熊のぼうたことある経験ある人から順番に入つてくつと言つた研修制度がある。

河合 そもそも駆除隊に三千円やらで入つてないと駄目。

島田 そういう事で今その猟を国の方もやっぱり人がおらんいうことで、国の予算を導入し始めてきて人を育てんな言つとるんですけど、実際に猟に出られてる年に何回出とられるのがあれですけどそのなんか問題点とかこれはちよつと問題やなとかこうしたらちよつと良くなるんじゃないと実際猟に出られとつての課題とか感じられるとこあれば。

山本 砺波市は積極的に今イノシシの被害被害畑や田んぼ荒らされる、積極的に捕獲出とるんで、去年も百二十とか百三十の捕獲しとる。今年もイノシシだけで砺波で。檻も二十何基かけとるんで今年も百近くきとるんでないかたぶん。結構積極的には取り組んで、まあイノシシは豚と一緒に五頭六頭つて産まはるから一頭につき増えるので、どだけ捕まえた所で減ることちやもう無いですし、とりあえずは電気柵、山に電柵はつてふせいどるがいけど最近のイノシシはちよつと頭いいもんで岐阜県やつたと思うがいけど電気柵つてイノシシの鼻、皮膚以外の皮膚露出しとる所に接触せんと電気柵の意味がないもんで、だから人間は素手で触ると効くけど手袋すると効かんとかさうゆう状態やもんで、ということはいノシシ肌露出しとるのんて鼻と目だけながいちゃ、そしたらイノシシ頭いいもんでバックして入つてくる、そういうような映像あつた。だから向こうも当然頭使つてくるんで電気柵ばかりいうわけにもいかん。

島田 よはその農作物を狙つてくるイノシシに対しての対策がそのイノシシも進化してくし。

山本 イノシシ飛ばん思たら1m2m位飛びますんで

島田 じゃその捕られるワナの技術的な問題も進化してかんなんいうこともあるし人員その人的にはどんなもんですか。

山本 人的には実際、檻仕掛けたりワナ仕掛けたり捕るのはやつぱりあのどつちかと言つと60代後半から

河合 免許とりにつとる人がほとんどで

山本 そんな感じやろ。最初から檻の捕獲だけ目的としていつとる人がほとんどなんです。

河合 地域の営農法人とか組合とか

島田 農業の人達が自分で取りに行く

山本 役所の出先の人とかさういう人が取りに行く、むしろ河合さんみたい趣味でいう人はまれですね。

河合 かなり珍しいと思います。

山本 重要になれば完全に趣味の世界からどうしても欲しいって人が何人か必ず受けるんですけど、だから趣味で取る人本当に少ないと思うよ。まっどっちかと言うと完全に被害対策のために

島田 ですよね。というのは私もそんな認識です。まっそういう意味で河合さん今趣味でやっとならされてどうですかそのなんか現状から

河合 そうですねえ、やっぱ始めるのに結構お金必要であつたし始めてからも色んな装備とか買わねえでそれがいいと一緒で連れてつてくれんし結構初期投資が大きくて、遊びで始めるのには負担が大きいというか。

山本 取つてしまえば何とか取るまでが大変で、取つてしまえば後は何とかなく年に3回ほど教室行かん何けど許可書取りにいかんなんし検査受けなんし

河合 若い人今所得的にも今そんなに高くない人が増えとるって状態でやっぱ若い人にはやりづらい、入って来づらい産業と言うか産業でもないですけど部類なんかと思いますけど

島田 それはあえてそういう人達が入りにくく、まあ統なんていうのもそんなに簡単に取らせれんじやないですか、そもそめね猟自体も同じように色んなそういうハードルが結構高いなあとは思いますが。実際どうですか。趣味でその猟をやつてそれを趣味を仕事にできるっていう可能性ってあるもんですか。

河合 無いでしょうね。やっぱ本業があつてその片手間と言うか遊びでやつとる程度なので本格的にそれをやつて飯食つてこうとしたらかなり厳しいと思います。

山本 実際まあ静岡県とか山梨県は捕獲専門にやつとる業者つておるんですよ。役所から業務請負みたいな感じでお金もらつて

島田 駆除隊みたいな民間の

山本 そう民間の駆除隊のその業務委託でノルマ付でやるやつやちや。そういうのはよくつかあるみたいやわ。富山県もそういう風な方向で行こうとしとるんでないかなという感じもある。趣味で取る以外の職業としての狩猟と言うか捕獲事業にと考えるとそでないかなと県についてはそんな感じでやつてくれればいいなと結局檻はどうぞどうぞ出すがいけど管理できる人が少ないとか管理廻りきれんとか、やみくもに掛けるとか捕れもせんとか何年もほつておつてあるとか結構あるんですよ。効率悪いもんでそれやつたらそのある程度捕れる技術持ったもん集めてNPO法人を起ち上げてやりたいなあみたいな感じの話は聞いてます。

島田 今もお聞きしとつたら何となくイメージで言うのは農業っていうのもおんなじで水の管理とか田んぼの見回りとかその業務みたいな感じで猟も見回ったりパトロールしてつていう業務がどつかからの予算が行政なりが出しやあそういう仕事で農業もしながらたやそういうものを併用して業務委託を受けてやつていくっていうのが公のそういう仕事としては可能性としてはあるのかなと捕れると捕れんはちよつと別な話ですけどそんなんは何となくありますね。

山本 まだ何処にも話出とらんいうか出とらん、そういう風な感じでないかなという思いではある。二アンス的にはそんな形で今の話し・・・

島田 おそらく今担い手の研修もそういう人材をその中から、皆が皆なる必要なくて特定の人が地域の中で

山本 何人か集まつてその人を頭に

河合 それをなんかもつと若い入つて直ぐの人達ぐらいにも別枠でそういう指導する場があつたら良いかなと思います。

山本 冬にいちよう猟友会各支部の猟友会で必ず新人研修いかれた。まだ

河合 行つてないです。

島田 えっ本当ですか。ワナですか。

山本 なんワナいうか何でもやけど重要で砺波は去年入つた人がおつたから研修みたいがを各支部でしなさいってなつとるんで

河合 一緒には支部で連れてつてもらつた

山本 そうそうそれがたぶん研修やわ

島田 猟場へ

河合 そうです。

山本 解禁日とかにここはこうやってとかここはこういう感じでとか習つたと思ふんで、そうゆうのは必ずやつてるんで

島田 そうですね確かにその入つてやり始めての、よわ、三つ子の魂百までじゃないけど、最初のうちにやっぱ教えてもらつて行ければね。なんていうかその後は自分でやるけど、しっかりした結構お爺ちゃんみたいな人に教えられるもまた解りにくいしね。

小西 サマコンで。そこでは僕らの会員の方が発表されていたんですけど、その指導と猟とあと食肉加工をみたいなのを一元化してビジネスにしたいという風で僕らの団体も協力してとか色んな融資を貰うように皆で応援しようみたいなのをまあ発表されて一例としてあつたんですけどそういう様な

島田 肉ね肉の量とかね、どうしとられます

山本 あの自家消費

島田 自家消費、加工は

山本 あつとくに全部自分らで

島田 捌いて

山本 現地でばらして

河合 指導員とか、支部任せとかじゃ島田さん所みたいに一人じゃあ

島田 一人だけじゃどうしようもならないですし。若い人も必ず必要にはなってますよな。

山本 ただその年齢構成的には明らかに上の方が広いがいちゃね。若い人ほど少ない。だいたい先ず最初に取り始める年齢が高いから

河合 定年してから

山本 定年してからならちよつこやってみつかないかと感じの人が

島田 今からそういうのはだんだん厳しなってますわね年齢的に。後何年くらいで人はおらんようになりそうですか猟友会のあれで言うたら。

山本 今は猟友会自体は上の人は八十代の人が結構おいでますから、そのへんから四・五十代前半の人もものすごく多ないかな

島田 そういう事はあと二十年したらガクツと

山本 まっ實際そう七十代から上は殆どワナの見回りが関の山やわ

島田 そうですね。もつとるだけで、そんなこと言うたら二十年後三十年後我々が六十位になったときには如何するかっていうイノシシだらけやよな。

小西 僕らの会で発表会が夏にあつたんですけど、そこで猟の話が少し

島田 それ何の？

島田 バック・パッキングは

山本 後はどうぞどうぞって感じで後は自己責任でお願いって渡す。

島田 イノシシ、鹿も 熊は取れますか。

山本 熊はね、今年の冬はあんまり誰も捕れてない捕れた言う人おらんだから一頭ぐらいとれたんかなあ

島田 ぶっちゃけこれはちよつと載せるか載せれんかあれですけどイノシシって言うたら一頭幾ら位で売れるんですか。

山本 えっとね一頭えー幾らやったかな

島田 捕ったらハンターの手元に幾ら

山本 参考までに今岐阜県でカモシカ駆除でとんがいちゃ日本カモシカ被害ひどいがいちゃ。一頭5万円カモシカで一頭五万円

島田 それは食用に出来んから

山本 出来んからとやっぱ個体数調整で数減らさんと富山県ももうしばらく増えてきて

島田 どこでも見ますからね

河合 安居とかでも

山本 個体数調整が始まるんがでないかと。その豚幾らやったかな

島田 イノシシでどうですかね1頭二、三十万しませんがイノシシ

山本 そんなにせん

島田 あっほんまですか

山本 二から三万位のせかいやと思いますよ

島田 二万三万

小西 一キロですか

島田 一頭イノシシで

山本 ちなみに50キロのイノシシとつても1〜3は内臓やし顔も結構重たいですからそんなに肉は無い。結局そのイノシシの肉って市場に流通しとらんから基準が無いんですよ。

島田 店によりけり

山本 そうそう店の言うた値段で全く市場にでる事がないんで、やからある人は安いしある人はとても高かったということもある

島田 鳥はどうですか

山本 鳥わねえ鳥はもう殆ど自分で食べる分で一生懸命やね、それだけ程しか捕らんし。福井の方で鴨一羽三千円やったかな真鴨一羽三千円で料亭とかに卸している人がある。鴨は網で捕るがいけど張り網で弾残ったらいかんし肉痛まんからとり合えず張り網で一羽三千円やったと思うがいちゃ確か。三千円やけどそのくず米が一袋三千円でこうてもろた。一回で一羽しか捕れだら赤字やちゃ手間賃無いということやから

島田 なかなか難しい、河合さんどうですか

河合 自家消費だけ

山本 網とか鳥やったら網で取らんと肉痛むんで完全に趣味の世界やから。

島田 やっぱそこらへんの趣味の世界と業務とその間のビジネス的な感覚で出来る範囲がもの凄いやつぱり狭いって言う印象はお話聞いてとってもありますしお値段聞いてても厳しい

島田 そうそう消え行く産業ばかり、けど動物だけは増えてつとるからね。

山本 やつらは関係無いからこつちの都合と関係無いでし

島田 イノシシの惑星みたいになるかもしれないほんまにゆめつづりの温泉入つとるがイノシシばっかになるかも

小西 それは困ります。

島田 困るやろ頼んちゃ。まあそんな事で時間もあと五分なんですけどなんとなくだけど共通がみえとる事いうかしてきやいいがなんないかい、年齢的にも同じような年代なんですその取り組みに対してもやっぱ似てる部分ていうのは、共通点感じられたんですけど後はその年配の人達の考え方てのもまあどんな風に思つとられとるんかなあつていうのも実際あんまり私も年配の猟師の人とお話する機会ないもんですからねそういう文化の継承じゃないですけどおられたとかなんかそんながも聞ける場所いう文化の継承じゃない部分もあるとおもうんですよ。

山本 まっ人に言われん事いっぱいやっておいでたろうし

島田 そうそう良い事悪い事言えん事もあるからそうゆうような場もあつても良いかなと思うし南砺市・砺波市っていうのはとなみ野っていうのは猟場もあるし射撃場もあるし非常に条件は良いエリアですよね。川もあるし自然もあるしそういう意味では非常に取り組みにマッチするといつかやり易いエリアなんじゃないかなと思ひながらだから若い人達がどうやれば猟に開心持つて貰えるかっていう事を次の世代の人は考えて行かんなんなあと猟友会自体がねちよとと体質が古いから

河合 猟友会の平均年齢でも六十何歳やから

島田 相当高齢化してるから

山本 砺波はわりかし若い人多いんで、今日日本当は来て欲しかったがいけど女の子一人おつて三十四か五位やなかったかなその人はあの実家は金沢の山奥ねんちや家の前をイノシシが行ったたりしてと捕れんもんかとか何とかしたいなと思つて免許取つたてはってだから肉食べたいって言うからならあげつちやいうてあげたりしたんやけど解体もあつたからちよととやってみるって言つたら自分でもやつたしやっぱなかなかそういう積極的にかうやってやってみよつて人がおればちよとときかけさえあれば取り込んでしまえるし、まあうちらの場合はどつちかと言うと被害を何とかせんなんっていう直近の課題があるんで。

島田 いずれ皆それぞれ目の前の問題としてたぶん徐々に徐々にこうなつてくんじゃないかなと思ひますけどね。まあその頃にはもう遅いつていう

河合 早い段階で若い人達が何らかの形でこう声あげてその年配の方達の技術であつたり知識であつてたりを取り込める場作りをもっと作つていかないと

島田 それは今しか出来んよな

河合 たぶん教えたいって思ひといでる人達をうまい事聞き出してあげるとか、世代の間を取りまとめる様な取り組みをやつて頂きたい。

島田 なるほどねありがとうございます。今いろいろと短い時間でしたけど今のこつちのお話、三人四人のお話ですけども書記もしていただいてるんでまた今度報告書みたいな形で取り纏めてまたこつちの機会があれば猟友会という一つの切り口で色々な場てこんな話がたぶん市民の皆さんも問題意識は鳥獣被害にもつていらつしやるんでそういう意識を少しづつでもちよとと広くもつて頂けるきつかけなればいいと思ひますし今言われた若い人がやりたいっていうポイントでもいかならいい人達が声上がった時にさつと取り入れて一緒にやれるようなネットワークみたいなものも構築しながら行政側にも纏まってやっぱ協力を働きかけて行けるような事を今のうち年配の人もおる今の間に少しづつやれる人がやつていかなきゃいけないなと改めて確認できた会だつたのかと思ひますしこつちの市民会議という非常にいいなと改めた会議ですけどまあ専門的な分野の人が集まるんで是非いい意味では非常に発展性もあるこのグループの形かなとも思ひますんで是非いい機会にしまして今後もしも来て頂いてほんと大変恐縮でありますけどまたこれを良い機会にしまして是非また宜しくしたいなあと思つております。ありあとうございます。

イノシシの惑星を 阻止する英雄



鉄道愛好家

司会 本日はお休みのところ市民小会議にご参加くださり、ありがとうございます。まず、お話を伺う前に、簡単に自己紹介をお願いいたします。

宮田 福野高校の宮田です。よろしく申し上げます。

城宝 福野高校の城宝です。よろしく申し上げます。

古瀬 南砺の城端線を活かす会のお話をしております古瀬です。よろしく願いいたします。

木本 古瀬さんと共に南砺の城端線を活かす会をやっておりますし、お隣の村田さんと加越線を調べたりといったように、鉄道のことが好きな人間です。よろしく願いいたします。

村田 ガチガチの『鉄』です。今は「べるもんだ」一色で、本日の朝も「べるもんだ」に手を振ってきました。よろしく申し上げます。

善光 高岡の善光と申します。交通政策を中心に調査や研究を行っております。よろしく申し上げます。

司会 オブザーバーにお二人来ていただいております。

宮本 砺波市役所企画調整課の宮本と申します。鉄軌道関係の担当をしております。行政の立場から皆様のお話を聞ければいいと思います。

加藤 南砺市役所の公共交通を担当しております加藤と申します。よろしく申し上げます。

司会 テーマ「エンジョイ城端線」これからの鉄ライフ」ということで、もう少し掘り下げて観光列車「べるもんだ」の活用についてお話しただきたいと思っております。

村田 JR西日本では、観光化を進めているところに観光列車を運行しています。北陸新幹線が開通するということで、城端線・氷見線には「べるもんだ」を走らせることになりました。

メインは氷見線であり、城端線は付属のような感じがします。今日も城端線を見ていましたが満席ではありませんでした。一方、氷見線は乗車率100%。今後、城端線も力を入れていかないと、季節列車として運行されなくなってしまう、ということも起こりうるのではないかと恐れています。ですので、城端線を盛り上げていかなければならないと思っています。

せっかくJRが走らせてくれたのだから、お客さんを喜ばせるために個人的に案山子などを田んぼに立てたり、「べるもんだ」に手を振ったりしています。最近では地域の方も参加するようになりました。

司会 昨年10月から運行が開始されたんですね。

村田 氷見線も乗ってみました。車両は一緒です。乗り心地も一緒です。ところが、中の設備が違うので、いい感じに思えます。ましてや海のある氷見線は最高でした。

城宝 やっぱり海は強いですね。

村田 海には勝てないですね。海を見ながら寿司を食べるのがいい。

城宝 寿司を食べられるのですか。

村田 寿司を事前に注文しておくで二千円で食べられます。城端線で田んぼ見ながら寿司を食べてもねえ。

と言いつつも、城端線で指定券を発売する列車をJR西日本が走らせてくれたことに、個人的には感動しています。まさかこのような列車が城端線走ることになるとは夢にも思っていませんでした。

村田 だからこそ、「べるもんだ」を今後も活かしていきたいです。

城端線は来年で百二十周年を迎えます。そのことも踏まえながら、何かをやりたいかなければと思い、いろいろなところに働きかけています。

城宝 高岡方面から城端方面だけなのですか。「べるもんだ」はどこから走っているのですか。

村田 新高岡駅から氷見方面を走るプランが土曜日に、高岡から新高岡を通って城端方面へ走るプランが日曜日にあります。

城宝 一回乗ると城端駅まで乗れるんですか。

村田 切符によって乗れる区間は違います。それと指定券（五二〇円）を買わなければなりません。

善光 自分の好きな区間に乗れますから是非乗ってみてください。

村田 空席があると思うので、例えば福野駅でみどりの窓口で五二〇円を払えばすぐに乗れますよ。

善光 学校の帰りに福野駅に立ち寄って、次の日曜日に高岡駅まで「べるもんだ」の切符をくださいと言えば、切符を売ってくれますよ。指定券さえ買えば、定期券でも乗れます。

城宝 そうなんですか。そういう情報があると、いいと思います。「べるもんだ」って走っているな、でも、遠い存在だと思っていました。大人の乗り物だなど、もっと身近な存在になるようになればいいですね。

村田 城端線は大概は高岡行は空席があります。

古瀬 団体の予約は常に断られているらしい。そして、一か月前ぐらいになると予約が一気に取り消されることがあります。

善光 意外と前日に買えることがあります。

古瀬 そうなのですが、一般の方の旅行の計画が立てにくくなるのです。あのやり方は問題だと思います。

司会 旅行会社が切符を抑えているのですか。

村田 一週間位前になると手放すのです。

司会 なるほど、旅行会社の団体ツアーの申し込みが少なかったら、手放すということですね。

古瀬 数人の旅行で申し込もうとすると、空きがないということが多いそうです。ところが、当日は空いているということが起きています。JRと旅行会社でもう少し工夫してもらうことができないものではないでしょうか。

善光 JRもそのようにしたほうが全体的に収益が大きいのです。旅行会社からキャンセルがあったとしても、旅行会社を中心にしたほうがいいと考えています。司会 その結果、ガラガラなのですね。

村田 でも、氷見線はいつ見ても満員です。一日前、一週間前にネットで予約状況を見ていてもほとんど一杯です。

古瀬 氷見線と城端線に「べるもんだ」を走らせるときに、城端線は何を売りにしてPRすればいいのかわからない時があります。

ある時に城端線の写真のコンテストがあったので、一眼レフのカメラを持って写真を撮り続けたことがあります。そのとき一番良いと思った景色が、東石黒から城端の間です。そこから見る、医王山や八乙女山の景色がものすごく綺麗なのです。

善光 のんびりと旅行したい人には、ひたすら田園風景を走る城端線が人気です。お酒をちびちびやりながら、お寿司をつまみながら、田園風景を見ながら、城端に行くのが意外とうけています。

千葉県の田舎にある小さな鉄道会社があります。沿線には何も無いというのを売りにしているのです。「ここには何も無いがあります」というポスターを作ったらお客さんが押し寄せたそうです。

城宝 鉄道ファンには二つあると聞いたことがあります。乗りたい人と撮りたい人の二つ。「べるもんだ」は、どちらがアピールポイントなのでしょうが。

村田 食べることがアピールポイントですね。富山県に何しに行くかといえば、魚を食べに行くことがメインでしょう。「べるもんだ」のお寿司は確かに美味しいです。二千円で五貫、それだけの値打ちがあります。

地元の人は高いから食べないけれど、一万円かけても二万円かけても都会の人は来ると思っています。旅行とはそういうものです。

善光 高岡駅を出てお寿司が出てくるまで約十分かかります。戸出駅ぐらになつたらお寿司が出てきます。お酒をちびちびやりながら、二駅に一貫、お寿司を食べ歩いていきます。のんびりとした非日常を味わいに来ておられるのです。それが城端線の付加価値なんですね。

古瀬 福野駅では毎月第一と第三日曜日に駅で手を振っています。ずっと続けていますが、実はその活動がしんどくなっています。

「べるもんだ」は39人乗りなのですが、3割ぐらいが城端駅から世界遺産バスに乗って合掌造り集落へ向かっています。1割ぐらいいは城端周辺の散策や金沢へ向かっています。残りの方は、そのまま高岡へ折り返すようです。南砺市全体のことを考えたら、観光客が城端駅を降りて合掌造り集落にだけ向かうというのが気になります。城端線の途中には福野もあれば福光もあるわけで、例えば福野駅に降りてもらって、電動自転車を使って自転車道を通って井波の瑞泉寺に向かってもらい、帰りに福野に寄ってもらえばいいですね。できれば、福野で昼ご飯を食べてもらおう。福光でも同じようなこと考えられます。

古瀬 せっかく南砺市内を走るのだから、各駅で降りてもらいたいです。地域の観光と密着した形で観光客に利用してもらいたいです。ただ、城端駅まで行って高岡駅まで帰ってしまう電車に手を振っている活動をしていても空しい思いがしてきます。

善光 基本的に途中で降りる方はほとんどいませんね。

城宝 今、聞こえていると思ったんですけど、やはり途中で降りられる方はいないのですよね。

古瀬 福野駅はゼロです。

村田 やはり終着駅まで行きたいなのでしょうね。

善光 氷見線・城端線で唯一途中駅で降りるといったら、雨晴駅だけです。

城端まで乗り通してもらっていいのだけれど、帰りに戻られるお客さんを福野駅で降ろさせたり、福光駅で降ろさせたりといった仕掛けがあればいいですね。

司会 お客さんに降りてもらえる仕掛けが必要なのですね。

古瀬 高岡でツアープランナーをやっている方がおられるのですが、その方は現在、氷見でインバウンドを対象とした取り組みをやっておられます。実はその方に、南砺でもできないか話を持ち掛けています。



村田 彫刻が好きだとか棟方志功が好きだという人は途中下車しますね。

善光 ただ、途中下車しても次の足がないんですよ。

城宝 自分は電車が通ってないところ、井波とか庄川が結構好きなんです。そのようなところでも、「べるもんた」以外の第二の交通手段を使って訪れることができるのいいのかなと思います。

村田 福野からバスはあるけれども・・・

城宝 本数は少ないですよ。

村田 わざわざ列車を降りて、目的地に向かうとなるとよっぽど興味がないとダメでしょうね。

城宝 他の交通手段との接続が良くなるように、ダイヤ改正を行ったらどうなんですかね。

古瀬 多分無理があると思います。観光は観光として考えないと、通常の循環バス・市営バスに引っかけると大変なことになると思います。

善光 それでも氷見は、市場から氷見駅はかなり離れているけれど、氷見線全列車にバスが接続しています。やり方次第では、南砺市・砺波市でもできないことはないと思います。単に連携不足じゃないでしょうか。

古瀬 それとPR不足ですね。

城宝 鉄道愛好家の皆様の前で言うのも恐縮なのですが、移動手段が鉄道だけになると、ちよつと厳しい面がありますよね。

村田 ただ、鉄道だけ乗りに来る人もおられます。

城宝 なぜなら、JR西日本の北で走っている国鉄型の車両が城端線だからです。
城宝 どういうことですか。

村田 昔の車両があるということです。

司会 JR西日本管内の最北なんです。それを目当てに訪れる方がおられるということですね。

村田 ここ以外に古い車両といえば山口県にあります。JR西日本管内では両端に古い車両が追いやられているという感じなんです。管内の大阪本社周辺は新型車両ばかりです。

城宝 城端線の車両が新しいものになったら、寂しい感じがしますか。

村田 ファンからすればそうですね。

城宝 自分は電車通学ではないですが、電車通学だしたら新しい車両が良かったりするのかなと思います。

村田 本当に城端線の車両は他と比べても汚いですね。間違いない。
JR東日本の車両のほうが断然綺麗です。どのローカル線でも綺麗です。

古瀬 個人的には、城端線の車両は大事にしたいと思っているのですが、今の城端線の色やラッピングがあまり好きではありません。ごちゃごちゃしておらず、あっさりとした図柄が合うような気がします。

善光 結局、国鉄の時の塗装が一番人気がありますよね。全国で昔の国鉄時代の色に戻すパターンが増えているんですよ。

司会 国鉄色は田園風景にもマッチしているんですね。

善光 ラッピング車両もいんだけど、デザインのセンスが最低だと思います。

村田 何が描いてあるのか分からないんですよ。五箇山のラッピングは分かりますが、ラッピングは全部で4種類あるんですよ。

城宝 オレンジの車両は何ですか。

村田 あれが国鉄色に復活したものです。それと高岡色という赤色に白ラインがある車両があります。

木本 ワインレッドに白の帯が入っている車両が一両だけ現存しています。

ここで、これまでのお話について二つ補足いたします。沿線には何も無いという鉄道のお話があったと思いますが、これは千葉県の「いすみ鉄道」のことですね。いすみ鉄道に走っている汽車で「べるもんた」と良く似たものがあるんです。「レストラン キハ」という名前の観光列車です。二両編成で、そのうちの二両が実は城端線を行っていたのですよ。城端線に走っていたその車両を廃車にしようとした時に、「いすみ鉄道」がその車両を譲り受けて、改造したんですよ。城端線・氷見線に縁のある会社ですので、そこから学ぶことも多いのかなと思います。

もう一つ、「べるもんた」は途中下車する人が少ないというお話がありました。先程、井波とか庄川が好きだというお話もありましたが、実はその井波・庄川を繋いでいたのが加越線なんです。福野で結着して、津沢、石動まで繋がっていたのです。四十四年前まであったんですよ。

善光 自転車道を知ってますか。

城宝 サイクリングロードですね。

村田 それが鉄道の跡なのです。

城宝 ほーっ。あれが。

木本 今はバスが替わりに走っています。石動から庄川まで加越能バスが一日八往復走っています。

加越線が走っていたときはどれだけ本数が走っていたかというと、三十分に一本ぐらい走っているんですよ。正確に言うところ一日29往復しているのです。夜間ですと、石動駅から午後10時4分に出発する汽車が庄川駅に午後10時47分に着いていました。福野には午後10時20分頃到着なので、遠くに行ったり、お酒を飲んだりした方にとつて便利だったのだと思います。ちなみに、今のバスは午後六時とか七時でなくなります。

加越線から学ぶことも一杯あるのではないかと思います。城端線が今、どうなっているのかという話の中で、身近に無くなった鉄道があるのです。その鉄道がどんな鉄道で、どういう目的で、どういう人たちが利用していたのかを考えることで、城端線を考える色々なヒントが出てくるのではないかと思います。

当時、加越線があったときに、福野駅は乗り換えの駅なので、ものすごい街だったんですよ。古瀬さんはご存じかもしれませんが、ホーム中に人が溢れている時代があったんですよ。

村田 加越線でも人が乗り換えするし、城端線でも人が乗り換えするし、人々の行き来がすごかったんです。

古瀬 高岡駅よりも乗り換えで福野駅が繁盛していた時代があるんです。

城宝 信じられないですね。

村田 その時代は城端線は七両編成。加越線は通勤時間帯は二両編成でした。今の時代では考えられないですね。

城宝 十分に一本ということは、今の城端線よりも倍以上走っていたんですね。

善光 今の高校生は城端線をどう思っていますか。そこが今日の議論の核心だと思っています。

宮田 行事とかあったときに、事前にJ・Rに連絡しておいたらその日だけ車両を増やすことができないのでしょうか。

村田 できます。ただし、時間帯にもよります。高山線ではよく行われています。例えば高校が午前中で終わるので、臨時を走らせることがあります。

城宝 福野高校には春に一年生の校歌応援歌練習というのがあって、それが朝七時集合なんです。一両編成の列車に一年生が乗り込まなくちゃならないのです。

善光 朝は基本的に車両がないんです。新幹線に接続する朝一番の砺波を発車する列車を作ったがために、四両の車両が三両になったり、朝一番遅い城端発が一両なんです。もう車両がないんです。

古瀬 城端発の午前7時48分、あれが一両なんです。

善光 朝以外の時間帯なら教育委員会とかから言えば増やしてもらえます。

村田 試験があるとき実際増やしていますよね。

善光 基本的に一台は予備車としてとっておく必要があるんです。

古瀬 城端発の午前7時48分は一両なのだけれども、これはどうしても増車することができないんですかね。

木本 今の状態では厳しいですね。

善光 それをするときは、氷見線の朝の始発をやめるとか・・・。

村田 氷見線を3両から2両にすればいいのでは。

司会 車両の数が足りないから、やり繰りするのが大変なのですね。

古瀬 もっと太平洋側からでも車両を持って来ればいいのか。

善光 今のお話しは会社の事情であって、高校生とかの利用者の目線で考える必要があると思います。

村田 今度、山口の三江線が廃止になるんです。キハ120系が余って出てくるので、それを走らせるのは可能かと。

それと、福光が福野の折り返しができるようにするとか。

司会 朝は常時込み合っているんですか。

村田 1両編成はすぐく込み合っています。

司会 城端行も高岡行も込み合っているのですか。

古瀬 高岡行が込み合っています。

宮田 4月上旬だけは乗れない人も出てきます。砺波駅で乗ろうとしたけども乗れず、次の便で来てくれと言われることがあるんです。

善光 唯一の解決方法は、沿線の行政で資金を出し合って車両を貸すということだと思っています。

村田 もう一両「べるもんだ」を作ってもらえばいいですね。それは通勤通学に使えるような簡易的なもの、ロングシートにして踊りを踊れるスペースを設けるようにすればいいと思います。



古瀬 車両を改良してほしいと要望しております。ロングシートにしてもらえば混雑時にも対応できます。

宮田 朝はそのほうがいいですね。

善光 大体1・5倍は乗れるんです。

本本 ロングシートのお話でしたが、ボックスシートだけが走っていたかというところじゃないんですよ。昭和四十年代から五十年代の半ばぐらいまでロングシートの車両があったのです。

観光客を呼び込むために当時の国鉄が城端線を「フラワールイン」と呼びだしたんです。砺波駅ならチューリップ、福光駅ならしゃくなげといったように、いつ訪れても花が咲いているというところで、常に花が咲いている線「常花線」と宣伝している時代があったのです。「フラワールインはうきうきライン。ようこそ城端線へ」という看板が城端駅に付いているのです。当時は通勤・通学の利用者で一杯だったのが、時代の流れで観光客にも乗ってもらおうということになったんです。

どういうやり方があるだろうと考えたところ、クロスシート（ボックスシート）とロングシートが一緒になっている、セミクロスシートが採用されたんですよ。しかし、これらを両立させることはなかなか難しいようです。

では、両立させる方法がないかというところ、鉄道会社も考えてまして、例えば近鉄では、日中の人の少ない時間帯はクロスシートで、乗客が多い朝は椅子を回転させロングシートになるようなやり方をしています。このように具体的な話としてJR等に見ていただければよいと思います。

村田 一両編成の列車でロングシートになったところがあります。岡山地区はなっています。

善光 高校生の皆様も数年後には自動車の免許を取るでしょうし、免許を取ったらどうなると思いますか。

城宝 たぶん乗らないです。

宮田 免許を取ったら乗らないです。

善光 なぜですか。

城宝 車は自由じゃないですか。商業施設まで行ける。そういうえば、夏休みに一度も列車に乗っていないです。

善光 ただ、社会人になって、勤務先が富山市になったとします。富山市に行ったところがあると分かると思いますが、富山市内は大渋滞です。そうなること、果たして車は自由が利く乗り物なのか、列車のほうが良いのではないかとこのことを考えて、さらに、将来どういうふうになるのか、城端線は高校生に喜ばれ、観光客にも喜ばれ、社会人にも喜ばれるようになるのかをもう少し考えてほしいです。

城宝 研修旅行で東京に行ったとき、品川駅は物凄い人ばかりでした。電車にこんなに詰め込まれるのかと驚きました。

古瀬 一般の通勤客の動きはどうでしたか。物凄い早かったですよ。

城宝 早かったです。

古瀬 実は、昨年このヘリオスでシンポジウムを開いたときに、高校生のパネラーから「マナーを良くしよう」という意見があったのです。この辺で住んでいる高校生的にもマナーが悪いと自覚している方がおられるのです。高校生ばかりとは言いませんが、城端線に乗っている方の動きが遅いです。ドアが開いても、早く乗らない。降りない。

古瀬 今年は城端線のマナーを推進する活動をしようと思っています。当然、高校生の皆様にも協力してもらいたいと思っています。

本本 高校生の皆さんを弁護する訳ではないですが、昔は六両編成の一番後ろの車両で喫煙していた高校生もいたんです。

村田 一番後ろの車両はそういうところだったんです。車掌も見え振りをしていたかもしれませんね。

本本 今時の高校生のマナーが悪いと言われますが、そう言っている方々はその当時どうだったんだと言いたいですね。

都会の人たちがマナーが良いのかといったら決してそうは思いません。女性専用車両で化粧をしている方が果たしてマナーが良いと言えるのでしょうかね。

善光 北陸本線の通勤時間帯に乗ってみると、いかにマナーが良いのかが分かるんです。混雑してないときは荷物を座席に置かもしれないけれど、半分以上お客さんが埋まった時点で、荷物を棚に上げるか、膝の上の置いていますね。ある程度混雑してきたら、入り口で立ち止まったりしないですね。

城端線で高校生のマナーが悪いというのは、混雑していても荷物を棚に上げないこと、車両の中のほうに詰めないこと、駅のどこにでも座り込むことの主に三つです。

司会 話が尽きないところですが、予定していた時刻となりましたので、市民小会議を締めます。皆様ありがとうございました。

加賀線から学ぶこともあるのではないかな

く社会人になつても野球をやっている理由く

春山 高校野球で燃え尽きた感があった。その後はやる気が無かったが、職場のチームのメンバーに誘われた。やってみたら楽しかった。

黒田 野球が好きだから。色々な人とのつながりができて友達ができる。年上の人も年下の人も、つながりができる。社会人のクラブチームは存続が難しくして子供が来て、その子が男の子で野球を始めたらずいぶん中心の野球でいなくなつた。長く続いている福光バツファローズさんとかは下へ下へと繋いでいく世代交代がうまくいかな。

江田 自分も高校野球で燃え尽きた。社会人になって誘われてまた始めた。人とのつながりも増える。また、普段はあまり体動かすことがないので、野球のおかげでよい運動ができていかな。

中嶋 高校野球が終わって、すぐにコマツNTCに入社したので、野球をやるのが当たり前だった。結局会社を辞めて、城端のチームに入ることになった。若い頃はガンガン練習して、自分ももっと試合で活躍したいと思っていたが、今は自分より若い選手に楽しく、どんどん練習してもらいたいし、自分の子供の野球の世話もやるようになった。なぜ野球をしているのかはつきりわからなくなってきていて、だんだん慣れで野球をやっている感じになっている。

野球が好きだから

チームの平均年齢について

春山 砺波市は年齢が高い。

黒田 40代が多い。平均年齢も40代。市役所は採用が減ってきているのに、さらに野球経験者と言えば、ほとんどいない。今は成績で採用する。昔は野球で採用とかあったのかどうかはわからないが、消防の採用とかもある。昔は履歴書に野球経験とかがあれば、引っ張っていた時代もあったと聞いている。だから、20年前、つまり、今40代の人が20代のころ、市役所チームは強かった。官公庁の大会は30代が中心。立ち上げのメンバーは当時22歳だった。それから戦力を上げていくために、当時強くなってきた砺波工業高校の選手を毎年引っ張ってくるようにした。ただ、今は平均年齢は高いです。

江田 会社のチームでやっているの。僕と同年代でやっている感じ。平均は20代かな。

中嶋 城星クラブは若いす。25、26才ぐらい。若いす。1番上でも31才です。(自分で笑。)今、低迷してます。笑。去年強かつたんですけど。調子に乗ったかな?

競技人口は減ってきている？

江田 減ってきている。小学校をみればわかる。多いチームはそれなりにいるが、それでも昔ほど多くない。昔はスボ少のなかでも1学年で2チームぐらいできた。

小幡 自分が小学生の時、小3まで野球クラブがあったが、小4の時に野球クラブが人不足で突然無くなった。仕方なくサッカークラブに入って4年から6年まで3年間サッカー部にいた経験がある。

黒田 最近はその数も少ないし、スボ少の加入率も少ない。スボ少の加入率は昔は50%ぐらいだったけど、今は20〜30%程度。入らない理由は、昔と違って、子供の送迎や、お茶当番などがあるから。また、そのスポーツが好きな親なら良いけど、そうじゃない親は大会があると1日潰れるし、どこにも行けず好きな親なら理由で子供がやりたいと言っても入れさせたい親もあるらしい。同じように中学野球、高校野球も減ってきており、その年の3年生が抜けたら残った1・2年生だけではチームにならない。

小幡 全国の高校野球見てても、すでに合同チームがいっぱいある。富山県の県予選でも連合チームも始めてきている。泊高校と上市高校だったかな。

〃 砺波市・南砺市のチーム数について

南砺市
↓
約15千
|
△

黒田「どこの市も減ってきている。野球人口減ってきてるのか。その辺がわからない。昔は朝刊野球とかにたくさんチームが参加していた。野球連盟の登録料が収入源なのでそれも減ってきていると思う。」

小幡 登録料はいくらですか。

黒田 1チーム当たり1万円、選手1人につき2千円ぐらいだったかな。市によっても違う。県の登録料もかかる。砺波工業高校の若い選手を引っ張ってくるのに登録料を立て替えたりもしました。



みなさんの練習とホームグラウンドの施設について

春山 市役所チームはチューリップスタジアムの横の河川敷で練習しています。週1
土曜日の朝が練習なのですが、あまり集まっていけないのが現状です。人があんまり
集まらず、誰も来なくて帰ったこともある。笑

黒田 市役所の強い時代は週3回、4回練習やっていた。スタジアムで練習していた
事もあった。ナイター付けた。二ニューブラックは一切練習しない！やればもっと強
くなるんですけど。笑。1回、3月のシーズンインの前に練習やろうぜ。って声か
けたんですが、その時あつまったのが5、6人でした。ならもう練習せんわ！ってな
りました。笑。やっぱみんな忙しいんですよ。仕事があったり、彼女とデートした
りとか。昔はCクラスだったのですね。試合数も多かった。毎週試合とか
でした。県大会とか、どんどん勝ち進んでいって、毎回ベスト4とかだった。決勝
が月曜日とかになるんですよ。でも月曜日どうしても仕事休めなくて。準決勝で勝って
しまっって、決勝戦棄権したらペナルティになるんですよ。

江田 していいんです。会社のチームって言っても、従業員のなかで所属しているの
が4人ぐらいなんで、キャッチボールぐらいしかできない。練習にならない。なか
か時間も取れないんで、じゃあ試合だけという風になっています。

中嶋 城端中学校のグラウンドが練習場所になってるんですが、練習はしていいで
す。人が集まらないで。もし集まればバッティング練習とか出来るんですが、集まっ
たとしても7人ぐらいとか。それだと、練習と言ってもノックとかぐらいの練習しか出
来ない。

く実際試合会場として使っている球場は、
南砺市は城南スタジアムと福光総合グラウ
ンドの2か所。

砺波市はチューリップスタジアム。実際
に使用してみても、使いやすい。使いにくい
とがありますか？

黒田 小学生の大会とかで使わせてほしい
な。たいがいどこかの学校のグラウンド
とかなので。チューリップスタジアムの電
光掲示板はすばらしい。自分の名前が表示
されるとチヨット嬉しい。なのに使われて
ないことが多いのはもったいない。プロ野
球の2軍の試合でも使われていないのはお
かしいです。建設費に300万円は
かかっているらしいですよ。最近小矢部球
場に出て、自分名前が表示されて、少し
うれしかった。小学生の試合とかで、もし
自分の名前とか表示されたら子供たちは嬉
しいと思う。高校の最後の大会で自分の名
前が入ってなかったら悲しいかな。せっか
くなので使ってほしい。ここは大事な部分
です。



くその他、市への要望

黒田 登録料払って試合に出て、頑張って優勝して県大会へ行く時、また登録料が
かかる。一応市代表で行くんだから、少しでも良いので登録料を市から補助してほ
しい。

小幡 補助金とかないんですか？

黒田 無いですね。勝てば勝つほどお金がかかる。名誉しかない。

春山 全国大会に行けたら市から補助が出ます。

黒田 Cクラスの全国大会に二ニューブラックが昔出た時には、補助金もらいました。
一人5000円。

小幡 砺波市役所はAクラスですか？

春山 Aクラスです。1チームしかない。無条件で行ける。今年から天皇杯はBで
出ている。ちょっとレベル落ちてきているので。

く個人的な質問ですが、プロ野球で今までで一番活躍したと思う助っ人外国人選手
と、日本人選手を教えてください。

助っ人外国人

日本人

金堂

ロベス(広島)

野村 緒方 大野(広島)

春山

ウィリアムズ(阪神)

金本(阪神)

黒田

バリス(阪神)

松井(巨人)

江田

ホージー(ヤクルト)

松井、山本昌、金本

中嶋

ガルベス(巨人)

野茂(近鉄)

小幡

ブラリアント

デストラーデ

プーマー

くみなさんの好きな野球ブランドを教えてください

春山 スパイクはSSK。扁平ぎみなので。

黒田 ナイキ デザインがカッコいい。

江田 ワールドベガサス あんまり知られてないから。

中嶋 昔はミズノプロ ↓ 今は安いやつならなんでも。

小幡 昔はローリングス すぐ壊れて駄目だ。 ↓ 今はミズノ。

く市民消会議参加者

小幡 (司会進行・jCチーム)

野球歴…中・高まで

金堂

(書記)

野球歴…なし

春山

(砺波市役所野球部) 23才

野球歴…小3〜高3まで

黒田

(ニューブラック) 42才

野球歴…小4〜高3まで

江田

(会社チーム)

野球歴…小4〜現在まで

中嶋

(城星クラブ) 31才

野球歴…小学校〜現在まで

子育て

司会 皆さん本日はお忙しい中、有難うございます。とнами野フェス2016小会議を始めさせていただきます。司会を務めます神能です。宜しく申し上げます。

書記 書記の藤井です。宜しく申し上げます。

司会 それでは簡単に自己紹介をお願いしたいと考えていたのですが皆さん知り合いという事なので大丈夫だと思しますので割愛します。それでは今回の趣旨説明をさせていただきます。今回の小会議ですけれども砺波広域圏にはいろんなジャンルがあるんですけどここでは子育てというジャンルで皆さんからいろんな視点でご意見を頂きたいなと思っています。時間としたら約50分をめぐって話し合いをして頂きたいと思います。また終了後にはお手元のアンケートにもご協力をお願いします。それでは始めさせていただきます。宜しく申し上げます。

テーマとしては子育てです。例えばこういう施設があればいいとか、こういったサポートがあればいいとか子育てについて困っている事や、あったらいい物やサービスなどを話し合っていたらいいと考えています。

まずは子育ての中で困っている事なんですけども私も子供が小学校2年生と1年生の子供がいるんですけども子供を育てていくうちに困るのが遊ぶ場所がなくなった。大きい子よりも小さい子が沢山いるんですけども大きな子供が遊ぶ場所が砺波南砺も含めてなくなったりと感じてます。環水公園みたいなある程度大きな子供達も遊べる場所があればいいのかなと思います。あとは病気になる時にお医者さんが遠いなと思う所と休みの日とかに救急に行けばいいと思うのですが近くでどこのお医者さんに行けばいいのかなどもっと解るシステムが大大的にあればすごく助かるなと思います。

書記 私は子供も高2と中1なのであまり手がかからない感じです。正直言ったら嫁にほとんど任せっぱなしでもう少し手伝っていかないとけないかなと感じたのは青年会議所に入ってから感じ始めてもう少ししっかりとやっていかなければと改めて感じさせられました。もうちょっと子供に興味を持って育ててやれば良かったかなと思うしもう少し小学校の時から子育てを手伝ってあげれば良かったと思うます。今頃になってそう思った心が芽生えてきたというのはいいと思いますがそういった感じは受けています。特に子育てに対して何が必要なのか解っていないので逆に聞きたいなと思ってます。

ママA それはJ・Cさんに対してですか？それとも両市に対してですか？どこに対してですか？

司会 いまのは砺波市、南砺市、J・Cも関係なく実際に子育てに困っている事。となみ野にあったらいい物とか子供が大人になった時に地元に戻ってきてほしいとかよくあると思うんですね。

書記 やっぱ難しいね。ちよっと子育てから外れて行っているような気がしますね。

ママB さっきの公園の話で言うとそんな大きな公園じゃなくて小さな公園でもいいんでちょっとあればいいですね。

ママC でも遊具って危ないとかいってどんどんなくなっていつてるじゃないですか。そうだったところにもう少しお金をかけているなところにも沢山作ってほしい。

ママB 出町とかに行くともまだあるけども田舎に行くとも全然ないから・・・。

ママD 家が1〜2件の敷地にこじんまりとしたのがあれば子供達だけで遊べるし、小学生の高学年の子達とも遊んだりとかできると思う。空いているところは沢山あるから沢山あればいいと思う。

書記 皆さん新しい住宅地ですか？それとも昔からある宅地に住んでいますか？

ママB みんな田んぼの真ん中の方。

書記 あーあ、そしたら・・・。新しい住宅地とかだと必ず公園とかあるじゃないですか。でもベンチくらいしかなくて鉄棒とかはないと思いますけど・・・。でもそれはあったらあったでいいと思いますけど、管理するのが大変なんです。私は新しい方の団地で公園が草ボーボーで誰も管理しないので・・・。小さい子供が安心して遊べるところってやっぱりほしいですね。あのへんだと遊ぶところは保育所になるんですか？

ママB 保育所は遊んでたらダメなところですよ。

書記 えっ、グラウンドとか入ったらダメなんですか？

ママB フェンスが閉めてあるので遊べないです。

書記 そっ、そうなんですか。

ママA 保育園の時間が終わって夕方、皆が帰る時とかに少し混じって遊ぶとかはできるけど休みの日とかは開けてくれないです。

ママB 児童館とかあるけど小学生しか入れないとか制限があって使いにくいんです。

司会 自分の所は保育園に入っても良かったけどな。ふつうにブランコとかやってたんで・・・。一概には言えないですけど地域によつては厳しいですね。

空地の公園が草ボーボーとかについてはどう思いますか？



ママA 管理については住民に任せてあるのか、行政に任せてあるのかどこで管理しているのかまでは解らないですけど・・・。

司会 そもそも管理者が解らないという事ですか。新しい振興住宅とかは基本自治会が管理しているんですかね？

書記 基本、その団地で管理しないといけないと思います。班ごとに分かれていて班長がやらないといけない。団地の子供達も大きくなっていくと遊ばなくなってきて誰も管理をしなくなってきているんじゃないかな。

司会 私の家の近くの空き地は遊具が無いので地域で砂遊び場を作ったりしています。あと災害時の集合場所として使用したりしています。やっぱり地域全体で子育てをしていく気持ちや、そうしたところから遊ぶ場所を提供することが大事だと感じます。

先ほどの児童館の話ですが近くに児童館とかも無いんですか？

ママB 周りには何も無い状態でただの空き地みたいな感じですよ。

書記 児童館に遊具みたいなものは無かったっけ？

司会 児童館にはなかったね。なんでないんやろ？

ママA 基本、中でみんな遊んでいなきゃならない。外で遊ばせるとみていなきゃならないので逆に外に出さないように中で遊ばせるようにしているのかもしれない。

司会 見る人がいればたとえば職員さんの人とかがいれば外にも遊具などもおけるという事ですかね。

ママC 職員さんは一人だけですよ。

司会 職員さんとか管理する人とかがもう少しいればまだ助かるという事ですね。

ママC 中と外を見れる人がいればいいかもしれない。いけば外にも出せるし、いなければ中で遊ばせるしかない。

司会 他にありますか？

ママD 今まで言われた事は確かにって思います。私は一番下の子が保育園児（男）で上二人が小学生（女）なんですけど、お姉ちゃんたちは児童館に行けるけど下の子はいけないので結局親もいけないといけない。みんなで遊べる感じになったら良いと思うし、だんだん大きくなってくると室内では飽きてしまう。体を使った遊びとか、ボール遊びとかもしたくなるみたいだけどそういった集合した場所が無いからつまらなくなってしまうので、もう少し体を使った遊びが出来る遊具などあったら良いと思うし、家から近くにあればもっといいなと思う。

ママE 出町とかは学校も結構大きくていろいろな部活があるけど、地方だと限られてしまったりしたいことを伸ばしてあげることができない。例えばバスケットとかサッカーといった校下が大きい所はあるけど私の所は無いんですよ。それで男の子だと野球とか、テニスとか、バレーみたいな感じになっている。最近はサッカーをやっている子が多くなってきていて中学校にサッカー部が無いから中学校に入ったら何部に入ろうか子供も迷っている。ちなみにサッカーの前はバスケットもやっていたけどバスケットも無いから伸ばしてあげたくても伸ばしてあげられないのでどうしたらいいのかが解らなくて困っている。

それと子供たちが皆スノーボードをやっているんですけど、学校でスキー学習があるのその時にあまりスキーをしてこなかったで「スノーボードを持って行ってもいいですか？」と聞いたら教える人がいないのでだめですと言われた。最終的にはスキーしかダメだし、スノーボードの技術も伸ばしてあげたいけどどうすればいいのかが解らない。真ん中の子なんかは夢があつてオリンピックに出たいとか言っているけれど何処で伸ばしてやればいいのかも解らなくて困っています。前に知り合いの子が小学校の時にバスケットをやっていた地元の中学校にバスケットが無いから遠くの出町中学校まで自転車をこいで通っていたという事は聞いたことがあるけどもそこまでしてはできないし・・・。

ママC 人数も少ないから人気がある部活はあまり作らなっている方針なのかな？

書記 確かにその中学校は昔からサッカーが無いですよ。

司会 今の話の中で井口の方はもっと人数が少ないみたいで、今の話じゃないけどバスケットがやりたい、スノーボードがやりたい、サッカーがやりたいという子は沢山いると思うけど場所も人も指導者もいないんじゃないかな。本当にやりたい人はクラブチームみたいところへ行っていると思いますが、学校の授業でやる部活なんかは子供たちが減っている現状で増やすことはできないし、親としてサポートしてあげたいけど中々やり方が解らないと思う。

書記 確かに。本当にやりたい子供たちはクラブチームなんかに入っていると思う。そうなると送り迎えとかで親の負担が増えていくんですよ。

司会 私の子供は剣道とか柔道をやっていましたんですけど、井波はすぐ剣道が強かったんですけど福野って実際剣道する子って少ないんですよ。たとえば6年生が抜けたら3人とかそういう状態なんです。サッカーは人気があつて確かに人が多い。どうしたら剣道の良さや柔道の良さってものを親子さんに伝えられるのかという部分で困っています。

話は変わりますが、野球をしているお子さんで保護者の方で野球の審判をやったりしているじゃないですか。そういったときにもっと協力してくれたら助かるなとかありますか？

ママA 今日野球の試合だったんですけど審判がいなくて結局保護者がやらなといけないんです。今5人しか野球部がいなくて今日は相手チームから人を借りてやる試合だったんですけど、こちらからお願いをしてこちら側の親が足らなくて審判が出来ないという始末です。休みの日でもそれぞれの親に事情がある事は解るが出来るだけ子供優先でいてほしいと思う。

司会 スポ少とか部活とかって親が送り迎えするのが当然みたいになってるけどなんでそうなったんですかね。

ママA 昔は子供が自転車で行ったり、全部自分でやっていましたよね。

書記 やっぱPTAとかで決めているんですかね？

ママB スポ少とかに入ると絶対配車当番とか回ってくるよね。

司会 配車当番？

ママB 試合とかがあると会場まで子供達を数人乗せて送り迎えをしないといけない事です。7人の子だったら2台に分かれて2人配車当番って感じですよ。大きい車を持っていないとできないので、持てないと2台車を出さないといけない人もいます。そうして感じで保護者の中で当番制にして回しているんです。

ママC 遠くになると高速を使ったりするんですけど、お母さん方は軽四に乗っている人が多いから結局旦那さん頼りになってしまう。特に大きい車を持っている旦那さん。

ママA そう。でも大きい車に乗っている旦那さんって熱心な人が多いよね。(笑)

ママB でも中にはお金出すからバスを使ってよって人もいます。

司会 保険とかってどうなっているんですかね。

ママC 入っていると思う。入る際に保護者は全部名前を書いてくれて言われています。たまにおじいちゃんを送り迎えする人がいればその人も名前を書いてほしいと言われます。

司会 それでも結構危ないですよ。

ママA 今の配車の話ですが上の子が野球で下の子がバレーだと配車が出来なくなるので無理なんですよ。上の子が野球をしていたら下の子にお前も野球に入れみたいになっちゃうんです。そういうことが無ければ好きな事をもっとさせれると思う。子供が好きな事を選ぶのではなく親の都合で入っているか若しくは、やらせてもらえない子供が沢山いると思う。

ママC そうやね。結局送り迎えとかの関係で子供に制限をかけているかもね。ユニホームとかも使えるしね(笑)

書記 私の子供も吹奏楽やったから大変やったよ。

ママB 吹奏楽は楽器とか買わないといけないんですか？

書記 いえ、学校の楽器を使ったりしているんですが、大会があると楽器を運ばないといけないんです。だから大きな車が必要になったりするので私も大きな車を買いました。(笑)

ママD 私の所はすごく近い所なのに自転車はダメと言われて送り迎えをしないといけないんです。前に他の学校で試合会場が近くなので自転車であって帰りに転んでしまったって怪我をしたみたいでそれ以降、自転車は禁止となりました。基本、顧問の先生の考え方だと思いますが。

ママA 必ずしも親が配車を出来る人ばかりじゃないのにな。

ママD そうなんです。やっぱりできない人もたまにいて毎回当番が回ってくるのにできないと断り続ける人もいます。そうするとなんで私達ばかりという感じの人がでてるんですよ。(笑)

全員 わかるー。(笑)

司会 時間もそろそろなんで最後に一言、皆さんに聞きたいんですけど子育てが落ち着いた時に何かやりたいこととかありますか？

ママD ん。まだまだ受験もあるし、高校出てからも大学とかもあると思うしねえー。

ママA そのころになったら絶対についていけないといけない事もなくなるだろうし・・・どうしよう。というか、今の質問という事ですか？

司会 旦那さんともいいですし、自分が何をしたいかってことです。

ママD 同じ趣味とかがあれば一緒に何かしたいですよ。子育てに協力的な旦那さんならいいんだけど・・・実際に子育てが終わって夫婦二人になったらどうなるのが怖い。

ママC 子育ては別に終わるものじゃないんじゃないかな。また別の子供の付き合い方が出てくるんじゃないかな・・・。

司会 そろそろ時間になりましたのでこれをもちまして終了したいと思います。有難うございました。

全員 有難うございました。

配車当番が回ってくる



司会 本日はとなみ野フエス2016市民小会議にご参加いただきありがとうございます。ざっくばらんに意見をを出していただき、今後のとなみ野の発展に繋げていければと思います。司会を務めます織田武男と申します。よろしく願いいたします。それではまず自己紹介をお願いします。

宮窪 庄川から来ました宮窪と申します。歴史の事で今熱を入れているのは地元の金屋石です。よろしく願います。

安達 南砺市上平から来ました安達と申します。好きな歴史上の人物は島津義弘、鹿
児島の戦国武将が好きです。最近興味を持っていることは浄土真宗と砺波の繋がりに
ついて興味を持っています。よろしくお願いします。

直井 「ようこそ福野夜高祭りへ」というホームページを運営している直井と申します。県外にいる人が自分の祭りを検索してひっかかるようなものを作っています。夜高祭り連絡協議会の記録係で写真を撮っています。30年間祭りにかかわっています。30年間の資料を持っているので若い人が知らない事を知っているので、若い人から年配まで祭りを広めていけなかつたと思っています。

野原 砺波市教育委員会の野原と言います。好きな歴史スボットはたくさんあるので決められません。仕事上、増山城を上げさせてもらいます。よろしく願います。

井口 砺波市役所企画調整課の井口と申します。歴史のことはあまり詳しくないのですが、地元は福光で、獅子舞に梅原と言う所で毎年春に参加しています。郷土芸能は南砺、砺波も残していかなければいけないと思うって自分なりに使命感を持ってやっています。よろしくお願いします。

司会 ありがとうございました。それではフリートークに移りたいと思いますが、みなさんのテーマがそれぞれ違うので、どうしましょう？

宮窪 皆さん金屋石ご存じないですか？

野原 南砺は必要だと思います。砺波は郷土資料館等があるので、古文書の現物も保管していいけど、南砺はそのような施設がないので、家で保管しているのも家がなくなれば廃棄されてしまつて、ヤフオクに載つていたりします。そういうのを止める手立てが南砺市にはないんです。それがよくても勿体ないと思います。砺波はアーカイブを作りたいたちとっていて、情報がなくなつてしまつても、ネット上に記録が残つていれば誰でもアクセスできるという思いで作っています。それがいいかは解りませんが、何か情報をストックしたりアクセスできるものがないのが南砺市は心配ですね。

宮窪 南砺市はないんですか？

野原 南砺市はないんです。五箇山に郷土館がありますが、単なる展示館のようになっていて研究機能というものはありません。五箇山文化研究所のようなものが南砺市には必要だと思います。

直井 北日本新聞で水記念公園の対岸の採掘場の紹介は読んだことはあります

宮窪 自分達川の歴史の中で金屋石と言う石を切り出した歴史があります。一番有名なのところは金沢城の糞用水の配管財として石が動使しておるといふ所です。活動して四十年目になりますが、それまではまったく活動していませんでした。今は採石はしてないのですが、石切り場をすっかりと日の当たる形で、47年間廃坑になつていたところを、木を切ったりして対岸から見えるようにしています。現在は切り出しをしていない金屋石ですが残っているものは基礎石などで地域にいっぱい残っています。多くは神社仏閣などの古いものや、60年以上前までの家の基礎石にも使われています。砺波、井波、福光、福野、戸出あたりまでの古い家に使われており、地主さんにとっては家を建て替える時に古い石は不要になりますが、私たちはそれをストックして何かに再利用できないかと思つています。新しいところは野原などのところで増山城を整備されていますが、又兵衛清水と言う湧水に水鉢を作りました。お話を伺い、金屋石で100年以上前に作られた古い火鉢を水鉢に再利用しました。新たに光を浴びて火鉢から水鉢に利用され愛されるという石はなかなか他にないのではないかと思ひます。

野原 素晴らしいのは金屋石のことは地元の方もよく分かった。そこに光を当てて活動されているので、行政の力を借りずに自分達だけで歴史にあまり興味を示さない若手を巻き込んでや、行政の力を借りずに自分達だけで歴史を歴史家と言うと自分の好きな事に自己完結してしまいがちだが、地域を上手く巻き込んで活動されているのが素晴らしい。資源になるのか解らなかつた物に光を当てて可能性を見出したという事は素晴らしいと思います。そういう事であんまりないのかなと。そう考えると南砺とかにはまだ見えてないものが沢山あるのかなと思います。第二の金屋石になりつつあるものがあるんじゃないかと思ひます。語る会に参加させてもらいましたが、普通そう言う会は50代以上のおじさんばかりなんですけど、若い人もいて活気があって楽しかったです。

宮窪 今年の春に青年会議所さんとタイアップして向山に江戸彼岸桜を石切り場の淵に植えに行ったんですけど、花を咲かせるのは最低でも5年間は面倒を見ていかなければいけないんですけど、若い青年会議所の人と繋がりを持って向山を愛する、という風に金屋石を通じてできればと思います。また金沢城の糞用水に使われている金屋石、国の史跡になっていて、全国で用水が史跡になっているのは3つしかないというものです。

宮窪 板谷兵四朗という方が異文化を作られました。異地区にある板谷神社もあります。ここに金屋石を飾ってありたりしています。地域の経済人の方と金屋石を学ぼうというような体験ツアーを組み増して板谷兵四朗さんの歴史やそれに繋がる金屋ルートを通じて銭谷五平が金屋石を運んだ人なのですが、銭谷五平記念館の館長さんと石、そして銭谷五平が金屋石の皆さん20名ほど参加していただきました。ルートを組みました。庄川町の経済人の皆さん60歳以上の方で皆さん初めて金屋石がこんな繋がりがあったのかと知って頂きました。60歳以上の現役を退かれた方が多かったのですが、若い世代だけでなく、先輩方にも感銘銘を受けてもらえましたのでもっと輪が広がっていくんじゃないかと思います。

野原 素晴らしいですね。押し付けるのではなくて、気づきを与える。例えば五箇山ってどこなところですか？と聞かれたときに、きちんと歴史を紹介できることって少ないですよ。宮窪さんのみたいに活動をしていたら、自分の地域を語れたりするんじゃないかな。安達さんは五箇山の事は詳しいと思います。

安達 いやいや私も知らないことだらけで、学生さんが合宿などで東京からいらつしやいますが、その方たちに五箇山の歴史を紹介する時に自分もあまりよく解っていないなと気づいて勉強をし始めたら、色んな歴史があるんだと。そういうきっかけがあって初めて気づくので、地域のことについて学べる機会を作っていければと思います。

司会 学べる機会とお話にありましたが、歴史的なものを子供たちに教えていきたいと言っていると思いますか？

安達 そうですね、将来的にはそういう機会があればいいと思います。

司会 イメージでもこういうものがあれば良いかとありますか？金屋石や他のことでも、形にしてみたいなと言うものはありますか？

直井 獅子舞や祭りの資料をインターネットで閲覧できたりできないかなと思って福野の図書館に資料を寄付しています。ストックを集められる場があればいいと思います。

直井 新聞の記事で青少年旅行村の駐車場の展示場をそういう風に活用するとありました。

安達 いや、でも何にもしてないですよ。合掌造りの模型とVTRを流しているだけです。

直井 下梨は役場があったり観光庁が連絡中で宿泊工事とか行政関係、上梨は村上家とか観光に力を入れる：

野原 砺波とか南砺で考えるんじゃないかと、となみ野全体で考えなくてはダメで砺波山村地域研究所とか郷土資料館とかとなみ野全部と考えています。なので民具にしても五箇山や南砺からもちろってます。元々は同じ砺波郡ですから南砺側にもそういう動きがあって連携できれば尚いいなと思います。発信も良いんだけど、基本的な地道なところが弱いのかなと。南砺市民大学で年間何回か講義していますが、南砺の人を相手にしていますが、南砺のことを全然知らないんです。これちよとまずいなと。砺波市って文化財いっぱいあるね、っていうんですよ。でも南砺の方が何倍もあるんです。それだけ南砺の人たちは自分たちの歴史とか文化財について認識していないのは損だなと思います。

井口 広すぎるんですよ（笑）
合併してしまつて把握できなくなったのかも。

宮窪 合併前は把握していた？

野原 平のタカラセンタロウさんとか個人に助けられていて自治体はなにもやってない。

井口 地元の研究している人が資料として持っていただけで、それが表に出てきていないってことはない？例えば今みたいに砺波市だったら学芸員さんがいるけど、南砺は学芸員がいない方が多い。

野原 いるいる。南砺はたくさんいる。井口村以外にいる。だからそういうことをやるうと思えばいくらでもできる。クリエータズプラザとかアニメに何千万もかけるくらいだったら、その予算でそんなもんぐらいいはできる。

安達 学芸員さんとか皆さん市の職員さん？何人ぐらいいるんですか？

野原 6〜7人いるんじゃないかな。

井口 みんな市民課とかから出向している？

野原 いや、みんな文化遺産課におるよ。元々それぞれの市町村におった学芸員さんが集まったっていう。もったいないな、と思う。砺波も全然ダメだけど。今は目に見えるところにはつかり予算が行ってしまつてその場しのぎになっている。ほんとはやらなきゃいけない地道なところが疎かになっていると思います。

宮窪 やつぱり結果が早くできるものにくつつけて、結果が後になるものは後回しになっている。結果がでやすいものは人集めや物事を進めやすいと思う人が多くなつてそうなるのかも。

野原 日本特有の現象だと思います。これだけ先進国で教育レベルも高いのに歴史を疎かにするのは日本特有で、でもそれは最近の話で本来はそうじゃなかった。

野原 例えばヨーロッパに行ったら街並みに歴史を感じるじゃないですか、でも日本は好き勝手に開発してしまつて街の景観や文化的な価値を疎かにしてしまつてるのは日本特有だと思えます。知識階層に行政を司るような人たちに歴史的な認識を持つてほしいですね。

直井 福光美術館の館長が前に、砺波のミュージアムは素晴らしいと。

野原 素晴らしいは…（笑）

直井 年配の人が昔の民具を見てそうだったな、と思えるようなのが南砺にもあれば。
安達 五箇山の民俗資料館はそういった感じに似ていますね。昔使っていた農作業の道具や煙硝を集めて展示していますね。

野原 集めているだけで、研究したり市民にフィードバックしていないと、単に集めているだけでは市民の理解は得られにくい。南砺市は特にやりやすいと思います。今は目に見える政策はどちらかというと上辺だけとか、そうじゃなくって地に足のついた行政をやるには、研究所を作つてそこがシンクタンクになって行政にアドバイスをする。そんな仕組みを作っていくのは南砺の自由な気風があるので可能だと思います。それなのにやらないのは勿体ないなと思う。田中市長の政策にも裏付けがあつてこんな政策をしているという事が伝わってくるのではないかな。今は夜高、麦や、アニメ、とそれぞれが繋がつてこなくて、深みがないのがもったいないですね。

司会 歴史はお祭りに直結してくると思うんですが、獅子舞についてはどうですか？

野原 獅子舞は何タイプ？

井口 タイプ？

野原 砺波型はムカデ獅子で竹を1人で。加賀型は頭がすごく大きくてあまんまり動かんやつ。

井口 福光の街の方は加賀型があるみたい。

野原 五箇山は氷見のメロディーに加賀獅子を取り入れている五箇山型ですよ。

安達 加賀と砺波と合わさったような感じですよ。

野原 氷見の大窪大工が合掌造りを作りにきていたから、氷見のメロディーが残っているんです。加賀の文化圏だから加賀の大獅子を取り入れたらしいです。

井口 氷見の獅子舞を初めて見たら全然違うのでびっくりしました。

宮窪 衝撃を受けますよね。

野原 利賀は平から来てるので平の獅子に似ていますね。富山県って全国で二番目に獅子舞が多いんです。一番は石川県。1170の獅子舞があるんです。これだけ色んな人がこだわって打ち込んでいるのに観光資源になっていないのは勿体ないですよ。青島の獅子が三楽園のお客さんに駐車場で獅子を披露したらとても喜ばれたらしいんです。喜ばれる資源があるのに、なにもやっていないのは勿体ないですよ。

司会 昔はやってたんですよ。お客さんの前でやったら祝儀をもらったり、万札で（笑）お客さんも喜んでましたよ。

野原 何年か前に獅子舞マップを作ったんです。なぜかというと、獅子の問い合わせが文化財の中で一番多いんですよ。

井口 それは県外から？

野原 県外、県内から。獅子舞好きな人って結構いるんです。最初はA4の紙で作っていたんですけど、ちゃんとした砺波の獅子舞マップを作りました。資源があるのに使いきれてないんです。観光協会とか新しいことをしようとしているけど、既にあるものを使っていけばいいのに。B級グルメとかじゃなくて。今あるものを掘り起こして観光化したほうがいいとお客さんが喜ぶんじゃないか。二人獅子のツアーとかムカデ獅子と比べてみるとか。

司会 競演会とかありますよね。今はやぐら大祭で獅子舞披露とかそういうのではありません？

野原 そういつのだと商店街の中でやって味気ないじゃないですか。競演会もいいですけど、その集落や神社で見る方がグッときますよ。砺波だと五谷の集落なんか車も通らない狭い道でみんなで行って獅子舞やります。そんなのを感じながら見る着地型の観光として取り入れていけばいいんじゃないかというふうな見せ方ができるので勿体ないと思います。砺波は冬以外の季節全部に獅子舞があるんです。真夏にもやっています。

井口 真夏にも？

野原 鷹栖は盆明けのめっちゃ暑い時期にやってくる。

だから冬は冬でいいけど、他のオールシーズン観光に使えるのに、それでも活用していないのは勿体ない。今回夜高祭りで都会の人を呼んでましたが、そういうのができれば。

宮窪 それにはやっぱり、各町内の獅子を取りまとめるものがないですよ。そんな話をするビジネスとか商売かって話になると違う方向になってしまうので、地域活性化というフレーズをキーワードにできれば。獅子は福野の夜高もそうですが神事、田祭りですから、見世物じゃないというふうな色んな人の思いがあります。その辺を上手く取りまとめればいいですよ。

野原 お宮さんに行ったらギャラリーがいっぱいいたら、重い頭を持つにも力がいらいますよね。

宮窪 やっぱ町内だけでなく色んな人に見てもらって力がたまりますよね。

安達 利賀の獅子舞はお宮さんに結構ギャラリーが来るんですが、砺波の獅子舞をみたら全然ギャラリーがないんですよ。お祭りなのになんで人が少ないんだろって感じでした。

司会 地元の人に氏子の意識が薄れてきているかもしれないですね。

安達 観光と上手く結びつけて、ギャラリーも増やしていけば、獅子舞の人たちもやる気がたまりますよね。

直井 ドライブしていたら獅子舞にすれ違ったりかあれば観光の人も楽しめますね。

野原 天気予報みたいに、獅子舞予報があればいいですね。今日はこら辺でやっているとかわかればいいですよ。

司会 実は獅子舞にGPSをつけようかって考えたことがあるんです。持って歩いてもらう。獅子舞の日程がかぶっているってことはあまりないので、町内ごとにGPSを使えば今日はどの町内の獅子舞がどの辺にいるとか。

それは砺波の業者さんで可能なんです。最初は夜高と同じことを考えていてどこに夜高がいるのか解らないってことがあったんで。スマホアプリでそういうのが作れたら面白いなと。

直井 福野は町内に何か所か看板を立ててどこにいるかわかるようにしています。リアルタイムではないですよ。

安達 福野は街が残ってますから探しながら街歩きをするのもいいんじゃないかと思えますね。

司会 それでは時間も迫ってきましたので、まとめではないですが、今後こんなこととしていきたいなというふうな思いがあればお願いします。

井口 仕事で人口減少問題を扱っていきまして、砺波は近隣に比べれば減少は少ないんですが、それでも少しずつ減ってきています。どうすればいいのかという話になると必ず地域の歴史、祭りを継承していきましよう、それによって若い人たちが地域に呼び戻しましようという話になるんです。それには賛成で、人口を増やすために今あるものを活かして、都会から人を呼び込むんじゃないかと、せめて地元の人帰ってこれるような地域づくりが大事なのかなと思います。金屋石とかの話をもっと地元の歴史を学ぶという事は後継者問題を打開するうえでも大事なんだと思いました。今日はありがとうございました。

直井 福野の夜高は庄川、砺波と比べて観光客向けではないが、そういう祭りなんだという事をアピールして神事だという事を周知することも観光資源としては特徴を紹介していきたいなと思いました。

安達 自分たちの地元の事で知らないことがまだまだたくさんあるので、もっと勉強していけたらいいなと思います。自分たちも含め若い人に伝えていけたらいいな。祭りが好きな人は地元に戻ってきてるんですよ、祭りの楽しさをもっと共有していければいいなと、何とか良い方法がないか模索していかなくやと思います。

宮窪 行燈の部分では四年後の東京オリンピックに向けていろいろやらせてもらっています。なかなか選手としては参加できないですが、四年後オリンピックに夜高が何かできないかと、この夢が実現することがもししたら地域の文化に夢と希望が一つになると思うので、四年間かけて盛り上がっていけば地域の元気に繋がっていくのではないかと思います。

野原 歴史スポーツをしっかりと見せられるようにしたいです。看板を立てるだけじゃなくて、スペインの巡礼者の道のように、ここは歴史的な場所でここに身を置くことが大事なんだとか、関連する宿に昔聖職者が止まったとか、そういったことは実現できる環境にあるので観光に組み合わせていきたいです。あとは個人個人ですけど、歴史的な行事をライフスタイルを取り入れてプラスすることがより人生が豊かになるんじゃないかなと思います。例えば高瀬神社で6月に夏越しの大祓があります。茅の輪をくぐって半年の穢れを払うんですが、若い人たちが全然きてないんです。僕はいつも行くんですが、そういったところに政治家とか企業の経営者が当たり前に参加して、また半年過ぎましようというふうな風に、それが当たり前前に生活に組み入れられていくのが個人の生活が豊かになるんじゃないかと思っています。

司会 ありがとうございます。このとなみ野フェスでは地域の融和というテーマで歴史や文化を融和した展示品に夜高などございますので、帰りがけに見ていただければと思います。本日はありがとうございます。

となみ野は歴史文化資源の宝庫！



バイク・ツーリング

潟沼 本日はとなみ野フェスの市民小会議ということで砺波・南砺の様々なジャンルの方々に参加して頂きました。本小会議のテーマは「ツーリング・バイク」ということで、皆様の視点から見てこのとなみ野に対し、こんなものになつたらいいいなーという意見をお願いします。堅くならず、自由に話していただければと思っておりますので、どうかよろしくお願いします。

A 現状としてとなみ野にないもの。未だにこの会議の趣旨がわかりにくいですね。

潟沼 本ならいろいろなツーリングチームやバイクチームに集まってもらい、あーでもないこーでもないで、こんなこと欲しいよね、こんなことやりたいよねってことを話してもらおう場です。

B ないですよ。チームが。砺波市と南砺市に。

潟沼 前もって考えていたところでは、となみ野に足りないのはバイク屋じゃないかと思うんですが。

B バイク屋さんを誰かがしなきゃいけないってこと？

潟沼 誘致してくれとか、大きな店とか本格的な都会の。石川にもあんまりないよね。オートバックスとか南海部品とかしつかりしたやつ。

B バイク屋さんいるかな。

潟沼 営利関係なく、なにかあれば便利だとかそういうのでいいと思うんですが、あまり難しい方向に話は持っていくと行きたくないですね。

A 喫茶店かな。

B わかりやすい例でいけば、細入村の道の駅とかめっちゃバイクの人いるじゃないですか。あんな場所だと面白いですよ。

潟沼 言われてみれば、バイクの人って細入村の道の駅とかどうして集まるんですかね？

A たしかになんで道の駅に集まるんですかね？

B あそこ場所いいよね。

C 通り道ですよ。

B 高山から帰ってくる人とか行く人とかあそこを過ぎるともうないから。

A バイク乗っていたら当たり前だけどタバコ吸えないし、飲み物飲めないし、必ず定期的にどこかよらなきゃいけないよね。車乗っているときはさほど道の駅にやらなかったけど、バイク乗っていると気になるし寄る。

B こんなところにあつたんだって見つけるし。砺波の道の駅は寄ることないけど。

一同 ないね。

B 福光の道の駅はまだよるけど。

A よるね。

潟沼 砺波の道の駅は目立たないよね。

A 目立たないものもあるし、このメンバーは砺波から出発するものもあるけど。知っている道の駅で一番地味かも。もっと普通山の中にぽつんとあるよね。

B ちよっとおいしそうなもの売ってって。砺波の道の駅も売ってるんだろって。

A 道の駅いったら意味なく普段買わない餅とか買うよね。

B 買うねー。

潟沼 砺波の道の駅は建物の前で販売とかしてないよね。

A してないね。砺波の道の駅を語るのが今日の趣旨ではないんだけど。でも道の駅のことはよく知ってる方だよ。いろんなところに寄るから。

B どうしても見えてしまうからね。

A バイクの数だって、俺たちは砺波から出発するから砺波の道の駅には止まらないけど、他の道の駅と比べると止まっているバイクの台数は砺波の道の駅って圧倒的に少ないよね。

B 何が違うのかな。場所なのかな？

A 国道156号線は走っているバイクの数少ないわけじゃないんだけどな。

潟沼 休憩ポイントじゃないからじゃない。

A 街中通るからね。

潟沼 休憩ポイントがコンビニになつてしまふじゃない。インターのところのセブンイレブンとかはバイクいっぱい止まってるよ。

A そういえばいるかもしれんね。

B バイクがたくさん集まる場所あれば面白いよね。

C じゃあインター付近になにかあれば。



A 道の駅移転。

B 無茶やな！

A でも無理かもしれないけど、あのインター近くのセブンイレブンのあたりにドーンとした道の駅あったら、かなり活用すると思うよ。

B 道の駅じゃなくても喫茶店とかでもいいんだけど、道の駅っぽいのもいいんじゃない。

A あと何かな？バイクの免許取る人増えていくようなことないかな？仲間を増やすっていうか。

潟沼 結構おられるんですよ。免許持ってる人。

B それをマラソン大会みたいに行政でツーリングとか企画したらどうかな。

A 休眠してる人いっぱいいるじゃない。昔乗ってたけどみたいな人いっぱいいるし。

B 個人的に誘えない人が、たとえば砺波市がツーリング企画したら寄ってきて、楽しいイベントになるんじゃないかな。

A 免許持っていない人は取ってほしいし、休眠してる人も巻き込んで大きな企画できないかな？

潟沼 大規模なツーリング参加したことある人います？あれってどうやってるの？一番最初集合してゴールある。走るだけだね。ゴール解散でおわり？

B 途中に昼食とか記念撮影とかして帰りは流れ解散かな。

潟沼 人数の把握したり、どうせ注文とか必要だし、ゆるい感じでいいけど何かしたいよね。

B 個人的には温泉に行きたいけど、そこまでのになるとね。

潟沼 そこまで深い企画だと大変じゃない？

A 我々は温泉に行くけど、その途中がツーリングってことで日を合わせればいいんじゃない？

B 交流しなければならぬ町とかないの？

潟沼 安城市

B 遠い。県内で仲良くしなきゃいけないところないの？

潟沼 ないと思うけど、県内ならどこでもいいんじゃないの？

B 県内のどこか広いところで、みんなで昼食会出来ればいいのか。

潟沼 ささら館とかが一番いいんじゃない？道的にも。何キロ位のところが目安だと思う？疲れないところ。

B 時間だと思う。ご飯食べて、朝10時集合ぐらいで…。結構行けてしまうな。11時くらいの方がいいかな？

A みんなで素麺食べに行く？あれ良かった。

C でもそこだと近くないですか？

潟沼 能登は？遠いかな？感覚でいったら？

一同 遠くない。

B 能登の道の駅なら大きいし。あんなところでご飯食べられたらいいよね。

潟沼 あその道の駅なら予約もなくていいでしょ。

B 予約必要でしょ。個人的に行くわけじゃないんだし。

A イメージとしては何台位で行く？

潟沼 50台はいるよね。

A 50台はいるよ。せっかく企画して行くのなら50から100は欲しいよね。

C 4000以上ですよ。

A 以上じゃなくていいと思うよ。こういう企画でやる意味合いでいったら「こよなくバイクを愛する人」なら250CCでもよくて、みんなでそれに合わせて走ればいいだけじゃない。

B 目的地は決まってるわけだし。面白そうやよね。やってみてよ。

A 面白いよね。こういう企画やらない限り会わない人いるだろうし。

潟沼 とんでもないバイクも眠っているかもしれないしね。

C 市内にハーレー乗っているおじさんとかいっぱいいますよね。

潟沼 いるいる。うちの横もいるし。シヨベルいるし。

A ただ、すぐおっさんのハーレー乗りって若干嫌やよね。イメージだけどうざい人が多そう。

B バイクが好きすぎるんですよ。

A それで若干ハーレー以外を見下してそう。

C 癖強そうですよ。

潟沼 50台かな。

B やっぱり50台から100台ぐらいじゃない？

潟沼 もっとゆるい感じでもいいんじゃない。

C 時期は？

A 時期は春か秋だね。

B 春か秋で、今から組んだとしたら早くても春だよな。

潟沼 予算はそんなにいらないよね。だから行政絡めなくても、バイク50台集まるんなら警察に話を通さないといけないかもしれないけど。

B それは行政を絡めたら一般の普段合わない人達も集まってくるから。広告つてるんじゃない。

潟沼 そうだよな。広告代だけでも出してもらえばいいよね。

B 出すでしょ。出ないかな？

潟沼 難しいでしょ。

C そんなに広告代って高いんですか？

A 高くもないけど。

B 数万円。

潟沼 最初は口コミとかからじゃない。ちょっとチラシ刷って。

A この企画のチラシはどこで撒けばいいのかな？

C 新聞に挟んだりとか？

B マラソン大会とかと一緒にじゃない？

A そうなると莫大な量になるよ。的を絞らないと、砺波・南砺全域で例えば北日本新聞に折り込みしたら。

潟沼 20万円位かな。砺波だけで10万円位だから。

A 長い期間設けて徐々に広めていくのなら、道の駅とかにいろんなところに置かせてもらって

C どうせならこんなちっちゃいやつじゃなくてポスターみたいなもの貼らせてもらえば

A それならそんなにかからないよね。それでライドオンが窓口になってもらって。

潟沼 行政にはメリットないよね。出て行っただけだから。企画への後援はしてくれると思うけど。

B 盛り上がってる感が出れば行政的にもいいんじゃない？

潟沼 経済効果的にはないよね。

B 交流事業になればいいんじゃない？都会のバイクチームと。

A 例えば近隣の県のバイクチームに声をかけていっぱい集まってきた交流したら、人が来るから行政が広告代くらいなら出してくれるかもしれないけど、でも俺たちは一滴もバイク乗れないよ。

潟沼 逆に来てくれたチームに呼んでもらって行けばいいんじゃない。とりあえず一回バイクミーティング行ってみましょう。大きい規模の行ったことないでしょ。

A メーカーとか関係ないやつあるの？

潟沼 たくさんあります。仙台のゼロワンとかイベントいっぱいあるし、千里浜でもハーレーのイベントしてるよね。

B 千里浜は旧車かな。

A それにうちの従業員もトライアンフでレースでてるわ。

B 旧車とかゼロヨンとかでやる？

潟沼 じゃなくとにかく見に行こう。仙台行きたいの。

B 砂浜とかなら格好つくけど。道だったらね。

潟沼 本気のやつ、サーキットで。

C そしたらサーキット造らないといけませんね。

B 砺波にサーキット造るの？

潟沼 そうじゃなくて、とにかく一回見に行こう。

A 砺波のさびれた陸上競技場をサーキットに改装すればいいんじゃない。

潟沼 面白いんじゃない。サーキットも人すごい入ってるみたいし。



B あれば入るやろね。

C 僕は琵琶湖も行ってみたいですね。外周をぐるっとバイクで回れるらしいんですよ。ところでルートは？

B ルートは基本的に高速道路使わないといけないと思う。台数が多いから、くねくねした道だと事故起きると思う。まっすぐな道使って、この辺りだと高速走って、ささる館行くとか。

C やばいですね。すぐ着きますよ。

A それで一応ルールだけ守ってもらって。250CCの人もあるんなら80キロ位で制限して、右側車線走らないようにして。ルール守っていれば、車の邪魔にもならないし、車の人たちもたくさんのバイクを抜いていたら爽快だと思うよ。で、結構な列になるよね。

一同 後ろから見たいよね。

潟沼 先頭って本当に面白くないからね。

B 先頭はツーリングじゃないからね。

C 景色いつもと一緒にですからね。

A あえてパーキングとか入りたいよね。みんなずらーっと入っていくんだから。

C 入れるの徳光とかしかないですよ。

B 徳光側にも連絡しておかないとだめだよ。

潟沼 連絡もそうだし、先行部隊が先に行って、待ってないと。

A せっかく企画するんなら砺波・南砺の人数限定がいいよね。

B それでも結構、人集まると思いますよ。

A 年齢はもちろん問わずだし。違法バイクは禁止。

潟沼 ちゃんとした人であれば。

A でもやっぱりどうやって企画を広めるかだね。

潟沼 やっぱり人から人じゃないんじゃないですか。

B ビラはいるよね。

A そしたら、来春やるんならもう日を決めないと。金かけないとなると、時間かけてじっくり攻めていくしかないから。

潟沼 あと、どこ行きたいかですよ。時間と。

A そんな問題ではないと思うよ。

B 行く場所はどこでもいけて集まって行くのが大切で。

A ただ、だれでもバイク好きな奴集まれ、よりもこの辺の人は砺波・南砺の人数定ってされてた方が参加しやすい。当てはまっている感あるから。地元の人たちでマラソン大会するような意味合いで。走るのがバイクなだけで。

C 目的地、めっちゃ難しいですよ。高速道路降りてからも走らなくちゃいけないし。

A そうだよ。高速近辺で、そこそこ広くて。

潟沼 千里浜じゃない。

A あの辺いいかもね。どうやって行く？

潟沼 森本インターからまっすぐ。降りてすぐ千里浜だし。あのあたり大きな食事できるところいっぱいあるし。

B そんな感じかね。出来ることといえば。

A となみでわかりやすい集合場所はどこ？1000台集まれる。

B チューリップ公園の駐車場。何にもなくて雰囲気がないけど。多分集まった時に集合写真を撮影しなくちゃいけないから。

A 最初に撮影だよ。砺波の道の駅は1000台無理かな。

潟沼 綺麗に並べばいけますよ。

C 誰か誘導の人いますよね。

A なんかもともな話になったね。

C なりましたね。

潟沼 終わりにしますか。いい時間になりました。

A じゃあ、あと話詰めておいてね。

先頭はツーリングじゃないからね

30代 男性

富田 本日は日曜日のお休みの中、となみ野フェス2016市民小会議にご参加いただきありがとうございます。私、本日の司会を務めさせていただく富田浩成と申します。年齢は35歳で、職業は水道工事の自営業をやっております。今日は私だけ未婚ということで、会話に入っていけない部分もあるかと思いますがご了承ください。それでは、みなさん自己紹介を一言ずつお願いします。

武田 武田隆志です。30代男性ということでよい意見が出せるのかなと思っています。宜しくをお願いします。

松村 32歳、松村暁です。南砺市法林寺に住んでいて、最近転職し、富山市へ通勤しています。宜しくをお願いします。

渡辺 30代男性、渡辺博之です。福光に住んでいて、自営業で木の器を作っています。宜しくをお願いします。

川幡 30代男性、川幡真源といます。砺波市に住んでいて、福野で働いています。お願いします。

井並 本日司会の富田の補佐ということで書記を務めさせていただく、となみ青年会議所の井並幹隆と申します。本職は南砺市役所で勤務しています。どうぞよろしくをお願いします。

富田 それでは進めさせていただきます。今回、市民小会議ということで砺波広域圏の様々なジャンルの方々に参加して頂きました。本会議では30代男性ということで、皆様の視点から見てこのとなみ野に対し、要望や問題点など様々な意見をちょうだいしたいと思っております。ですが、堅苦しくならず考えておられることを自由に話していただければと思っておりますので、どうかよろしくをお願いします。それでは会議を始めさせていただきます。

富田 私のほうで事前に聞いていたのは、皆さんが地元で就職され結婚し、子供があられるそう、このとなみ野に住んでいて良いと感じるところを一人ずつおっしゃってください。

武田 いいところは自然が多いところです。

富田 やっぱりそうなりますよね。

武田 自然しかないですが。

川幡 僕が考えていたのは、子育て世代には自分たちの両親が近くにいいところだと思っています。

松村 すぐ助けられています。

富田 子供を預かってもらえるということでしょうか。

松村 僕は両親と同居しているんですよ。なので、当たり前のように祖父、祖母がいて、子供の面倒を見てもらっています。僕も妻も共働きなので非常に助かっています。

川幡 もし、都会にいたら子育てできないと思います。

渡辺 今でもすごく大変なので、想像できません。

川幡 両親がいなかったらどうなるんだろうという風に考えてしまいます。何をやるにしても子供が第一優先になるということもあって。

渡辺 子供が優先になるので自然が沢山あって、どこにいても空いているのはいいですね。

川幡 それもいいね。

松村 空いているけど、目的地までの移動距離が長いよね。

武田 車は必須だよな。

松村 近くに集まっているわけじゃないからね。

渡辺 遊び場が近くに集まってくればいいのに。

川幡 砺波なら、富山も金沢も高速に乗ればすぐだから便利だよ。

渡辺 それでも、車がないと不便。

川幡 そうだね、結局車は必要だね。逆に福光だと子供とどこで遊んでいるの？

渡辺 仕事終わりに桜ヶ池に行くよ。

川幡 桜ヶ池はいいね。

渡辺 そうそう、保育園帰りにそのまま連れて行って、誰もいない公園で子供と二人遊んでるよ。俺はスケボーしたり、子供がストライダーするのを追いかけてたり。

川幡 自然が近くにあるから、そういう遊びができるよね。

渡辺 先日もあったけど、木が倒れてるとか、都会にいたらなかなか無いことだよ。

川幡 そうだね。最近、立山にジップラインが出来たけど、桜ヶ池以外で近くに山で遊べる所ってある？

松村 冬しかないよね。スキー場とかかな？

川幡 冬はいいよね。夏とか他にはないかな？

武田 立山登山とか？

川幡 でも、熊が出ると危ないから山は怖いよね。

渡辺 温泉があるよ。

川幡 そうだね、俺は子供とどこか行ける所がないかよく考えるよ。

渡辺 イオンしかないね。

川幡 ちよっと暑いとすぐイオンに行きたくなる。

渡辺 子供はイオンに育てられてる感じがする。みんなは行く？

川幡 毎日に行くよ。

渡辺 仕事帰りはイオンだね。

川幡 仕事帰りには行けないけど。

渡辺 僕は平日でも子供が行きたいって言うて行くよ。

松村 イオンに行ったらどこで遊ぶの？

武田 おもちゃコーナーに張り付いてしまっくんじゃない？

渡辺 そう、楽しいけど良くないなって思う。

武田 お金も掛かるしね。

川幡 そうだね、このままでいいのかって不安に駆られるよね。

渡辺 でも、俺らもベルに育てられたよね。福野は何かあった？

川幡 ビスデで遊んだよ。となみ野のいいところはそれぐらいしか思い浮かばないね。

富田 では、逆に不満に思うところは室内で遊べる場所が少ないことでしょうか。イオンは砺波市なので、南砺市であればそういった所も少ないですよ。

川幡 逆に子供が遊べる所ならどこにでも行くかもしれない。新しくなくても子供を自由にしておける場所なら、ちよっと行こうっていう気になる。

松村 時間がつぶせるしね。

川幡 あまりお金も使いたくないしね。

渡辺 大人の遊びってパチンコぐらいかな？

武田 そうだね、あとは個人の趣味の世界だよ。

松村 他の県の人たちは何をしているんだろうね。やっぱりパチンコかな？

武田 富山県はパチンコのCMが流れるのが多いらしいよ。

松村 らしいね。かなり多い方みたいね。

渡辺 県外の人には富山県のパチンコ店がお城みたいで驚くらしいよ。珍しいから行ってみたいって思うみたい。

川幡 パチンコの話はおいといて、自分が何をしたいか考えていたんだけど、休みの日は家でゆっくりしたい。俺は休みの日に外出したい気持ちもあるけど、何をしたいかはわかってないかな。

渡辺 そうだね、充実したのかな。どうすれば充実できるかわからないけど。

川幡 友達と毎日遊んだりすることは違うよね。

松村 予定も合わないしね。

渡辺 それに、30代男性がグループで遊んでいるのもおかしいよね。

川幡 確かに気持ち悪いかもね。

渡辺 周りから危ないことをしてるのかなと思われそうだしね。

川幡 それに奥さんや子供のことを頭におきながら遊んでいてもね。

松村 解放されないよね。

川幡 だから、自分だけ充実していても本当の充実感は味わえないかなと思う。

渡辺 家族も充実していて欲しいということ？

川幡 そうそう。

武田 みんなで何かできる所がいいよね。キャンプとか。

渡辺 キャンプができることは沢山あるよ。

富田 やっぱ自然が多いところなのでキャンプになるんですね。

渡辺 そう、キャンプしたいね。

川幡 キャンプしてみたいけど虫と熊は怖いよね。

渡辺 標高の低い河原とかなら大丈夫じゃない？

武田 河原は増水が怖いよね。

渡辺 あとは公園かな？

武田 イオンでキャンプとかどうかな？

屋上にキャンプ場があるといいね。

渡辺 屋上は暑いから一階がいいな。

川幡 結局イオンに行けてることだね。

松村 イオン一人勝ちだね。

富田 家庭があつて子供がおられると、家族で行けるような場所に行くんでしょうか？

武田 そうですね。



富田 休みがあっても、一人で行動することはありませんか。

武田 あんまりないですね。

川幡 子供が小さいからかもしれないです。もし子供をおじいちゃんとおばあちゃんに預けて自分がフリーになったら、その時みんな何をしたい？

武田 溜まってるDVDを見るくらいしか思い浮かばない。

渡辺 逆に何をしようって思うかも。やらなくちゃいけないことはあるけど、トイレ掃除から始めようかな。

川幡 とりあえず掃除、洗濯とかね。そのくらいしか思いつかない。

渡辺 普段掃除できないところ掃除してとか。

松村 真面目だね。

渡辺 換気扇の掃除とか気になってるけど、できてないところがいっぱいある。

川幡 排水溝とかね。

松村 みんな偉いね。

武田 主夫になった方がいいかも。

富田 でも、そんな時にどこか遊びに行ける場所があれば行きますか？

川幡 そんなですよ。結局一人なんで。

松村 一人で行きたい所で充実できるころってないですね。

武田 何しよかなって思います。

富田 みなさん趣味はお持ちですか。チャンスがあれば行きたい所とか。

渡辺 家庭を持つと趣味がなくなってしまうました。

川幡 趣味はやり始めたら、やり込んでしまっからね。

渡辺 趣味をやめたという感じ。

武田 趣味をスタートさせても熱中するほどの時間もないしね。

渡辺 最近カメラを始めようと思ったけど、撮りに行く時間もないし、写真のテーマも決まってる。

松村 仕事の作品を撮るとか？ホームページは作ったの？

渡辺 まだ作ってない。やらなきゃいけないことはたくさんあるのにできてない。それに、写真撮るためにカメラを持って外に出たら怪しいよね。

武田 怪しいね。職務質問されそう。

渡辺 都会なら人がいっぱいいるから目立たないけど、田舎だと目立つよね。

武田 僕はテニスをしていたけど、家庭を持つと時間が無くなって打ち込むものになくなった時に、仕事に打ち込むことで独立するきっかけになったよ。

一同 それはいいよね。

武田 時間はないけど、俺の場合は仕事の時間が趣味みたいな感じになったからよかったかな。

渡辺 僕も共働きだから、仕事に集中しようと思ってても17…00〜22…00までは育児タイムだから難しいよね。

武田 松村君の趣味は？

松村 趣味というか、またみんなでバンドやりたいな。みんなで何かに打ち込めたら充実する気がする。

富田 では、みなさん今は地元に住んでおられますが、学生時代は地元を離れていたのでしょうか。

武田 僕は富山県にいたんですけど、他のみんなは県外にいました。

富田 県外にいたみなさんは就職で戻ってこられたんですか。最初から戻ってくる予定だったとか。

川幡 そういったつもりはなかったんですが、いつかは戻ってこようと思っていました。

富田 他の同級生はどうでしょうか。戻ってきた人は多いですか。

川幡 僕の周りではかなり増え、県内にいる人のほうが多くなりました。子育てがしやすいからでしょうか？

富田 県外で結婚されて帰ってきた方が多いのでしょうか。

川幡 いえ、なんだかんだ地元の人と結婚した人が多いですね。仕事を辞めて帰ってきた人が多いので。

武田 要は水が合わないのかも。

川幡 田舎暮らしに慣れているからかもしれないですね。みんな地元に戻ってきた感情はあるようです。ただ、働き口が少ないので、帰ってきていない子もいます。

松村 地元にいるのを最近羨ましがられることが増えてきました。地元にいる友達が増えてきたからなのか、都会にしていると人間関係が希薄なのかも。

富田 みなさんは地区の行事などに参加されていますか。

川幡 俺は全然してないです。
アパート暮らしなのでそういったことに強制されることはないです。

富田 僕はアパートに住んだことがないのでわからないのですが、参加しなくていいものですか。

川幡 まずそういった話を聞かないので、スルーしちゃってます。

渡辺 アパートに住んでたら町内の話を聞くことがないよね。

川幡 町内会費は支払っていますが、大家さんがしてくれているのか参加してくださいという話はないですね。
ただ、アパートの掲示板にお知らせが貼ってあるので、
見ている人は確認しているのかもしれないです。

富田 他の方は青年団などに参加されていますか？

渡辺 参加しています。

武田 消防団に入っています。

富田 参加されている若い方の人数は多いですか。

渡辺 減少しているので存続の危機に直面しています。

富田 そうですね。私の住んでいる地区は、私が小さいころ50軒くらいだったんですが、小学校が近いこともあって団地がたくさんでき、150軒ほどに増えました。夜高がある地域なので、子供が小学校に上がるとつながりを求めて青年団に顔を出してくれませんが、引越してきたばかりの頃は声をかけてもなかなか参加してくれませんが、僕は地元にしかなんだことないので悪いものではないと思うのですが、やっぱり参加しづらいものなのでしょうか。

渡辺 慣れてくると近所の方と知り合いになれば、友達も増えるので住みやすくなりますよね。

松村 どうしても最初は時間がかかるよね。初めて一人で行っても知らない人ばかりでつまらないし、離れていく人もいました。僕の地区も初めは減っていったんですが、引越してくる人も多く、今の青年団長さんが積極的に声をかけた結果、ここの二年で青年団員がとも増えました。とてもいい流れだったんですけど、入ってみてやっぱり肌に合わないとかノリについていけない人もいて、どうしてもいいバランスになるのか難しいなと感じました。

富田 声をかけないことには増えないですね。

渡辺 若いときは嫌で嫌でしょうがなかったけど、年をとったら楽をさせてもらえるようになるかなと思って参加しています。



富田 地区の行事は年間を通してどのようなものがありますか？

渡辺 春祭りの獅子舞がメインで、あとは地域のイベントが少しあります。
春の獅子舞が一番大変なので、その時期になると町内の若い衆は憂鬱な顔をしています。

富田 分かります。

渡辺 四月に祭りがあるんですけど、三月くらいからみんな徐々に口数が減っていきます。

富田 そうですね。無くせばいいのか、無くさない方がいいのか。

渡辺 やりたい人が積極的にやればいいと思います。

富田 地区の先輩方は、やらないことになると反対されますか。

渡辺 厳しい人もいれば厳しくない人もいて、意見がバラバラなので結局答えはできません。

富田 やめたらやめたで反発があるので、やめるにやめられないですね。人でもないです。

渡辺 人は少ないのですが、なんとかまだ続いています。

富田 みなさんが住んでいる地区は人が減り続けているわけでもないのでしょうか。引越して来られる方もおられるのですか。

渡辺 減っている中で、青年会に入らずに隠れている人を見つけたというか。

富田 おられますね。

渡辺 僕たちは無理に入らなくてもいいと思うので、目につく人たちは明るく声をかけていけばいいと思います。

富田 そうですね。それをどこまでしていけばいいと思われそうですか。

渡辺 強制的に入団させるようなことはしたくないです。入りたくなったら入団すればいいのではと思っています。

富田 私も30歳手前ですが、若い子に入ってくれとは頼みにくいですが、入りづらさも分かります。でも、若いうちに入れば後々楽になるんですけどね。

渡辺 どちらが本人の為になるのかはわかりませんが、最近10代の若い子が入ってきたんです。高校卒業して就職したので入団したようなんですが、彼はこれから十数年ここで活動すると思うと可哀相に感じる部分もあります。その子たちはまだ後輩もできないまま、十数年いなくてはいいけないだろうし、雑務等もあるのです。

松村 若い子はやらされるんだね。

渡辺 雑巾がけとか可哀相なことはさせないけど、面倒だろうなと思う。昔ほど厳しくはないから大丈夫なのかもしれないけどね。

武田 俺のところは青年団がなくて、つながりがいいから同じ地区にどんな人が住んでるのかわからない。

渡辺 都会的だね。

武田 都会的というか小規模な地区だから人数が集まらない。つながりがいいのは寂しいことだと思う。

富田 行事ことは何もないのですか？

武田 ほぼないですね。

富田 そう言われると寂しいですね。あればあったで大変なんです。

武田 参加することといえば掃除とかくらいで、祭りだから獅子舞をするとかはないし。

渡辺 手を挙げて始めればいいんじゃない？

武田 無理です。

富田 井並さんの住んでいるところはとうですか？

井並 私は上平村出身なんですけど、現在は福野のアパートに5年住んでいます。ですが、地域の活動に参加したことは今まで一度もないです。

富田 声はかからないのですか。

井並 かからないですね。

川幡 アパートに住んでて声がかかるとは思っていないから、声がかかると逆に面倒だと思ってしまう。

富田 砺波にはアパートを建てない風潮があるようにも感じます。団地は多くあると思いますが。アパートの人に声をかけているのか分らないですね。

井並 地域にもよると思います。市の広報も、最近までアパートに届いていませんでした。

富田 そうなのですか。アパートの住人は地区の住人として認知されてないのですか。

井並 地区の自治体で配布しているはずなのですが、私のアパートには配布がありませんでした。

川幡 うちに来るよ。

松村 広報来たら読む？

川幡 一応読むよ。

井並 読んでください。

富田 アパートに住んでいる人の中には、声をかけられたくない方もおられるのかもしれないですね。

井並 私は福野に住んでいます。が、地元の上平の行事に頻繁に参加しているので、福野の行事もとなると大変だと感じます。

川幡 僕はどちらにも参加していません。でも、子供が小学生に上がって親同士の付き合いが出てきたら、地区の行事も必要なのかなと思うので、参加しようと思います。

渡辺 子供が大きくなると学校の行事があるよね。

川幡 そうなったら地区の行事も知り合いがいるので出やすくなると思います。

渡辺 行事で忙しくなるね。

松村 それでまた自分の時間が無くなっていくね。

富田 そこに行きつきますね。

松村 参加することで時間割かれるから、やりたくないという事とは別かもしれないけど。

富田 地区の行事には前向きではないということですか。

松村 自分がやりたいという気持ちでやっているものではないので、こんなことしていいのかなと思う気がする。

渡辺 何でこんなことしているんだろうとと思っているから。

富田 やらなければいけないという部分はありますね。地区の行事は楽しいことばかりでもないと思います。

渡辺 そういったことがあるから、都会から帰ってきたくないという人もいます。

武田 そこでまた一つ縦社会が加わってしまうからね。

川幡 人間関係もあるしね。

武田 参加しないと、その人たちは肩身が狭い思いをしますしね。

富田 どこに行っても居場所がなくなりますね。

渡辺 なんて暮らしぶりい地域なんだ。

川幡 マイナス方向へ話が進んでるよ。

松村 よくないね。

渡辺 なくした方がいい部分もあるかもね。

松村 早急に改善しないといけない点なのかも。

富田 子供に関することや、家族が喜ぶ納涼祭はいいですよ。練習など長期間にわたる催しは仕事にも影響がありますし、参加しづらくなりますよ。毎日行かなければいけないです。

渡辺 練習を休むと罰金もありますしね。

富田 それは昔からあるのですか。

渡辺 そうですね。全町会議で、どこでもあることだと聞きました。当日休むと大きな罰金があります。積み重なっていくと多額となるので、まずはそこから改善していこうとしています。

富田 そのお金はどうしているんですか。

渡辺 昔は飲み代になっていたんですけど、今の若い人たちはそんなに飲まないんです。獅子舞では昔と同じようなルートで回っているので花代をもらっても余るんです。今の若い人たちは優秀すぎるので余ったお金はどうすればいいのかと悩んでいます。

富田 若い人たちは練習が終わったら飲みに行かずに帰りますよね。

渡辺 そうなんです、昔はお金が足りなくなっていたのを罰金で補っていたようです。

松村 今は罰金を徴収しなくても資金は足りているんですね。

武田 結局、今は人が来ないから徴収しているだけになっていいたのでは？

富田 悪循環ですね。

渡辺 青年会費を支払って、罰金だということでもたまたま支払って、頑張ったのになんでお金を払っているんだろうと思いますよね。そうするともうこんな町に住みたくなかったという気持ちになってしまい、若い人が若いうちに引越していくこともよくあります。

川幡 辛い部分だね。

渡辺 厳しい方に怒られることもあります。

井並 練習に行く楽しみが、今の若い人にはあまり感じられないのじゃないかな。自分たちは練習終わってからの飲み会が本番のような感じで、それが楽しくて練習に行くんですけど。今の若い子たちはその感覚がないみたいですね。

武田 結局自分たちの時間が欲しいんですよね。

松村 終わった後に飲むなら自分たちでということですね。

井並 全く飲まないというわけではなく、自分たちの好きなグループで飲みたいんですよね。先輩方と飲みに行く機会を嫌うようですね。

渡辺 だから若い子に厳しいことは言っただけじゃないんですよ。

井並 ですが、いつまでも過保護みたいなものでもうでしょうか。

渡辺 今は先輩から楽しく誘い、「参加させてください。」と言わせるくらいでないといけないようです。昔は「飲みにくるやろ？」とか「飲みに来い！」と言われて、行く時代だったんですけどね。

富田 まだまだお話ししていただきたいのですが、お時間の方が来てしまいましたので最後に一言ずつ感想や希望などお願いいたします。

武田 今日はありがとうございました。こんな話でよかったのでしょうか。井戸端会議のようだったのですが、話をしていて今まで自分が思っていたことがに気づいた点もあり、いい機会だったと思いました。ありがとうございます。

松村 僕はもっと話したいなと思いました。みんな時間があるので難しいですが、時間の制約がない中でずっと話せるのもっと面白いだろうなと思います。貴重な経験をさせていただきありがとうございます。

渡辺 今日話をしたことが地域のためになればいいかなと思います。ありがとうございました。

川幡 今日はありがとうございました。普段見えていない地区の話などがいろいろ見えたので有意義な時間になりました。まだまだ話し足りないのですが、また参加したい会議だと思いました。ありがとうございます。

富田 本日はありがとうございました。

私は司会という立場での参加でしたが、皆さんのお話を聞いて、地域に住んでいるという面で、同じ悩みや考えを共感、共有することができ、大変意義があったと思います。

みなさん長時間の会議、お疲れ様でした。

一同 ありがとうございます。

もっと話したい。



ファッション文化

山崎 本日司会進行をさせて頂きます。山崎です。よろしく願いいたします。

南 書記担当の南と申します。どうぞよろしくお願いいたします。簿記ではありません。書記です(笑)

竹村 竹村です。富山市で服屋を経営しています。富山にお店はありますが、元は井波町の出身です。よろしく願いいたします。

太田 砺波市の油田駅近くで服屋をやっております。太田です。よろしくです。

山崎 今日は二名のご参加ということですが、ここで何か結論を出すというような場ではないので、ざつくばらんにお話ししていきましょう(笑)

山崎 業界的に今の時期ってお忙しいんですか？

太田 八月が一番暇ですね。ちょうど物の切り替え時期なんです。イオンとかフォーラスとか大手量販店さんがセールを行うのでその影響かはわかんないですけど。直販とか女性物を扱っているところと私達の業界はちよつと違うんで。ただ、そういった所がこの業界にも「デフレ」を起こしているんですよ。大手量販店が扱う服ってのは、自社でブランドを持っていますよね。その製造は発展途上国で安価に製造させて、国内でいろいろなタグを付け替えて販売するんです。いろんなブランドに切り替えて。そして各社でどんどん値を上げていく。けど売れないからまた値を下げてく。でな具合ですね。私達の業界って、シンプルに言う「デザインする人」「製造する人」「それを売る人」と三つ巴になっているんです。その三者にどういった配分で売上を分けるかって単純なことなんです。しかし、量販店ではそのバランスが著しく悪い。三者の配分が適正になっていないってことです。私達はいい物を提供したいという性分なんで、その悪い適正に影響されるってことが納得いかないんですよ。製造業や建設業もそうじゃないですか？そういった事が適正化していけば、まちづくりに影響していけるんじゃないかと思うんです。

南 いきなり大変重い話題になりましたね(笑) でも本当にごもっともだと思います。

「砺波は全国で一番クロックスを履いている人が多い地域だって」

太田 あと、お店を開業する方々に支援する補助金ってありますよね。高岡も砺波にもあると思うんですけど、中心市街地にしか支援しない感じじゃないですか。中心っていうと商店街とかになると思うんですけど、今もう飲み屋さんばかりじゃないですか。だから自ずと補助が飲み屋さんや食べ物屋さんにはばっかり行ってしまう。もちろん昼の営業が条件とはなっているんですけど、結果そういうことになってしまつて、飲食の人以外でも起業したい人はいるはずなんですけど、開業の場所は中心市街地に限らない考えているからなんです。というか町中以外でも人を引き付ける魅力あるお店にすれば問題ないと考えているし、もう郊外の良い所を一杯見つけているんです。よく、高岡の人とかから砺波の中心市街地は飲み屋さんで最近盛り上がっていると、儲かっているとかいう意見を耳にするんですけど、地元の人はもう分かっていますよ。いつも同じメンツで同じような人達が集ってただけってこと。

山崎 あゝ。そう言われれば・・・。そうですね。

太田 ファッションの事で言うと、私のお店は出張の方とか県外の方とかよく見えになるんですけど、そういった方々からよく聞くのが砺波の人たちってどうしてジャージとかサングラスで飲みに出てこれるんですか？っていうクエスチョンがあるらしく・・・。スナックとかバーとかでもそんな恰好で、「こんなダサイ人たちが居る街って初めて見た」とハッキリ言われてショックでした。こういった意識が根本的に変わっていかないと「街」の水準はいつまでたっても低いんだろって。というか、県外の人にそう思われているのって「まちづくり」に落とし込むと絶望的なんじゃないかなと思います。迎え入れる側であるお店がもっとおしゃれしないといけないんじゃないかな。富山行っても、高岡行ってもそういう姿勢になると個人的には思いますけどね。文化水準が低い地域ってのは、文化水準が上がらないんですよ。カッコつけることが良いっていつてわけじゃないって、もっと楽しいお金の使い方する事を地域が受け入れる環境にならないってこと。

太田 あと、もう一つ例で言うと、小矢部のアウトレットが出来て最初のころはスタッフに県外の人たちが多くいたんです。その人たちが言うには砺波は全国で一番クロックスを履いている人が多い地域だって。クロックスって子供が履いているイメージが強いらしくて、それがオシャレだっと思ってることが痛いつて。

一同 (笑)

竹村 それよく分かります。砺波の飲食店と違って、あのクロックスで普通に働いているじゃないですか。ユニフォーム的に。なんか他の地域と違ってあの靴にすごい市民権が与えられている所にすごい違和感を感じてますよ。ちょっとお客さんに失礼じゃないかって。

太田 あれはあれで良い商品なんだけど、その良さが然るべきところで履いて欲しいね。全シーズンで履かれてもなあ・・・。しっかり靴を選んでほしい・・・。

太田 あとファッションでまちづくりを考えるテーマに沿うと、作業着のままで遊びに行くのもやめた方がいいと思う。

山崎 ウチも建設会社なんで、作業着で長靴のまんまスナックとか行くのやめようってよく会社で言ってるんですよ(笑)

太田 パナソニックとかコマツとかって、スーツで出勤して作業着に着替えて、また帰る時にスーツに着替えるとかしてるじゃないですか。あれは「まち」のことを考えてのことだと思うし、企業も見てくれを考えないといけないのかもしれないね。

南 なるほど。

太田 ちょっとファッションの話とは違うかもしれないけど、砺波の町中ってなんで駐車場ぐらいい作らないんだろうね。富山市のコンパクトシティの構想はすごい共感できて、中心市街地をどういった形にしようか市民目線でも分かりやすいんだけど、砺波は全く何をしたいのか見えてこないよね。町中をもっと豊かにするように仕向けてくれたら、お金が無い学生とかが少しでもオシャレして街に繰り出したいってなったらいいのに。

太田 実は富山県のアッショ文化の水準って全国で中盤くらいなそうなんです。ソゾ・タウンっていうアッショの総合サイトがあって、それで県別で購入者の数と売上でランキングしてるんですよ。それで石川県よりも富山県の上位なんです。で、最下位って福岡県なんです。



竹村 え、そうなんすか。意外ですね。

太田 その原因ってのが、福岡県って地域のモノを盛り上げようって気概が強い街で、ネットで服を選ぶより地元で買おうって人が多いらしいんです。10年くらい前までは東京が中心となってファッショ文化って動いてたんですけど、福岡のここ近年はそういった動きと調子してないんです。また海外からも近いということとか、県民性とかもあるけど、地場から発信していくという動きが強いんですよ。だから今では福岡のインポートショップで出されたものが東京より送られて売られるっていう逆の現象が起きています。そういった街だから良いものが集まってくるし、より良いものが生まれるんです。だから、ネットでの水準では最下位なんです。ネットですべて売っているもの全部福岡にあるんだから。じゃあ街で買おうってなりまよ。ネットですべて売っているもの全部福岡にあるんだから。金沢も福岡まではいかないし、地場で頑張ってるから。ですんでソゾ・タウンが発するファッショ文化の水準のデータってちょっと間違ってるんです(笑)。だから、世間ではネットで服を買ってることがもう「ダサイ」方向に進みはじめてるんですよ。街的にも個人的にも。

太田 でも、私達の業界の事でこれから先のことをもう少し話をする、人工知能とどう向き合っていくことになるんだよね。AIが発達すると販売員がいなくなるといいうね。さっき話したネットでの販売とはちょっとニュアンスが違っていくけど、そういったAIの世界になるとショップとして生き残っていくためには「人間力」が逆に武器になるんだと思う。管理とか経理って部分では敵わないけど、人間が売るといふこと自体を強めていくことになるのかな。

竹村 そういった時代が来るんですね。

太田 そうだね。ドラえもんみたいな世界ではないと思うけど、そういったことを考えなくてはいけない時代になったんだね。でも、逆に不便を楽しむ時代になつていくことはいいのかもしれない。CDではなくアナログとかテープとかを楽しむ。ファッションも同じことで、大量生産よりも受注生産を望む、楽しむ人がもっと逆に増えるんじゃないかな。

山崎 では、やっぱり大衆の意識を変えなくてはならないってことですよ。

竹村 さっきの話ですけど、やっぱり街で商売している人がもっとオシャレに気を使ってくれば、結局オシャレな人が集まってくるんですよ。で、オシャレな人ってアグレッシブだったり、変な話お金を持っている人なんです。オシャレに気をつかうことで十分まちづくりって成り立つと思いますね。

